

# 5000 **D**500

メニューガイド



本書では、メニューについての詳細およびパソコンやプリ ンター、テレビとの接続や、使用できるアクセサリーなど の説明が記載されています。





# メニューガイド

初期設定一覧	9
▶ 再生メニュー:再生で使える便利な機能	19
削除	20
再生フォルダー設定	20
非表示設定	21
再生画面設定	22
画像コピー	23
撮影直後の画像確認	27
削除後の次再生画像	27
連続撮影後の再生画像	28
縦横位置情報の記録	29
縱位置自動回転	29
スライドショー	30
スマートフォンへの送信指定	31
🗅 静止画撮影メニュー:静止画撮影で使える便利な機能	32
静止画撮影メニューの管理	33
静止画撮影メニューの拡張	35
記録フォルダー設定	35
ファイル名設定	38
主スロットの選択	40
副スロットの機能	40
フラッシュ発光	41
撮像範囲設定	45
画質モード	46
画像サイズ	47
RAW 記録	48
ISO 感度設定	49
ホワイトバランス	50

ピクチャー	コントロール	51
カスタムピ	クチャーコントロール	51
色空間		52
アクティブ	D- ライティング	
長秒時ノイン	ズ低減	
高感度ノイン	ズ低減	
ヴィネット:	コントロール	
自動ゆがみ	甫正	
フリッカー(	氏減	
オートブラク	ケティングのセット	
多重露出		
HDR (ハイ	ダイナミックレンジ)	58
インターバル	レタイマー撮影	59
🖷 動画撮影メニュ・	ー:動画撮影で使える便利な機能…	60
動画撮影メ	ニューのリセット	61
ファイル名詞	設定	61
動画記録先.		61
<b>撮像範囲設</b> 2	定	61
画像サイズ	/ フレームレート	62
動画の画質.		62
ISO 感度設定	定	63
ホワイトバ	ランス	64
ピクチャー	コントロール	64
カスタムピ	クチャーコントロール	64
アクティブ	D- ライティング	64
高感度ノイ	<b>ブ/丘ンff</b>	65
	人14.减	
フリッカー	へ匹減 氐減	65
フリッカー( マイク感度.	へവ <i>风</i> 氐减	65 66
フリッカー( マイク感度) 録音帯域	人 LE 减	65 66 67
フリッカー( マイク感度) 録音帯域 風切り音低)	人 LE 加 氏 減 	
フリッカー マイク感度 録音帯域 風切り音低 微速度撮影	人 (L), , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	

	69
カスタムメニューの管理	72
a:オートフォーカス	73
a1:AF-C モード時の優先	73
a2:AF-S モード時の優先	74
a3:AF ロックオン	75
a4:3D- トラッキングの顔認識	76
a5:3D- トラッキングの捕捉領域	76
a6:AF 点数切り換え	76
a7:縦 / 横位置フォーカス切換	77
a8:半押し AF レンズ駆動	78
a9:AF エリアモードの限定	79
a10:AF モードの制限	79
a11:フォーカスポイント循環選択	80
a12:フォーカスポイント表示の設定	80
a13:AF 設定時のフォーカスリング操作	81
b:露出・測光	82
b1:ISO 感度設定ステップ幅	82
b2:露出設定ステップ幅	82
b3:露出・調光補正ステップ幅	82
b4:露出補正簡易設定	83
b5:マルチパターン測光	84
b6:中央部重点測光範囲	84
b7:基準露出レベルの調節	85
с:АЕ ロック・タイマー	86
c1:シャッターボタン AE ロック	86
c2:半押しタイマー	86
c3:セルフタイマー	87
c4:モニターのパワーオフ時間	87

d:撮影・記録・表示	
d1:低速連続撮影速度	
d2:連続撮影コマ数	
d3:ISO 感度表示	
d4:連動レリーズモード設定	
d5:露出ディレーモード	
d6:電子先幕シャッター	
d7:連番モード	
d8:ファインダー内格子線表示	91
d9:イルミネーター点灯	91
d10:光学手ブレ補正	92
e:フラッシュ・BKT 撮影	
e1:フラッシュ撮影同調速度	
e2:フラッシュ時シャッタースピード制限	
e3:フラッシュ使用時の露出補正	
e4:5 使用時の感度自動制御	
e5:モデリング発光	95
e6:BKT 変化要素(M モード)	
e7:BKT の順序	97
f:操作	
f1:カスタムボタンの機能	
f2:中央ボタンの機能	110
f3:シャッタースピードと絞り値のロック	
f4:コマンドダイヤルの設定	112
f5:マルチセレクターの半押し起動	116
f6:ボタンのホールド設定	116
f7:インジケーターの+ / -方向	116
f8:ライブビューボタンの設定	117
f9:🔆 スイッチの機能	117
f10:MB-D17のボタンの機能	
g:動画	121
q1:カスタムボタンの機能	

Ŷ	セットア	ップメニュー・	
•	ー ン ー ン ー ン ー ン	クランシーユー (中国)やすくする基本設定	125
	שיע אנו. – ת	- Kの初期化 (フォーマット)	125
	/J ====		120
		。 (Language)	120
	- 12均 王一	で クーの 昭 ろ さ	127
	т- т-	- クーのカラーカフタマイブ	170
	レー		120
	小中	*昭公小	129
			121
		1211	122
	14	へ 同報 チ 動設 た	122
	- 1 / クロ	、 ノビノリ ノリ ニノノ	133
	/ / /	· ニンノこノ , ノノ	12/
	面像		137
	画家	は、コハン「************************************	132
		~1 ± 1 F] + K	130
	雷子	- 辛驹定	147
	「「」」	1.1.2.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	1/12
	НП		143 143
	位置	·//	143 144
		2月刊 - コン (W/R) 設定	1/15
		ニコン (WR) の En ボタンの機能	146
	どうと		146
	スマ	ノートフォンと接続	147
	スマ	マートフォンへの自動送信	148
	Wi-	Fi	148
	Blue	etooth	149
	ネッ	マトワーク	149
	Eve	-Fi 送信機能	149
	認訂	マークの表示	151

MB-D17 電池設定	. 151
電池の使用順序	. 153
電池チェック	. 154
カードなし時レリーズ	. 155
カメラ設定の保存と読み込み	. 156
カメラの初期化	. 159
ファームウェアバージョン	. 159
→ 画像編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能	. 160
RAW 現像(パソコンを使わずに RAW 画像を	
JPEG 画像に変換する)	. 163
トリミング	. 165
リサイズ	. 166
D- ライティング	. 169
赤目補正	. 170
傾き補正	. 170
ゆがみ補正	. 171
アオリ効果	. 172
フィルター効果	. 173
モノトーン	. 174
画像合成	. 175
動画編集	. 179
編集前後の画像表示	. 179
🗄 マイメニュー / 🗐 最近設定した項目	. 181
🖯 マイメニュー:よく使うメニューを登録する	. 181
🗐 最近設定した項目:最近設定したメニューを	
たどる	. 186

メニューガイド

# 初期設定一覧

再生、静止画撮影、動画撮影、カスタム、セットアップの各メニューの 初期設定は次の通りです。

#### ■ 再生メニューの初期設定

再生メニュー項目	初期設定	
[ <b>再生フォルダー設定</b> ] (□ 20)	全てのフォルダー	
[ <b>撮影直後の画像確認</b> ] (□27)	しない	
[ <b>削除後の次再生画像</b> ] (□27)	後ろのコマ	
[連続撮影後の再生画像] (□28)	最後の画像	
[ <b>縦横位置情報の記録</b> ] (ロ29)	する	
[ <b>縦位置自動回転</b> ] (□29)	する	
[スライドショー] (□30)		
[再生画像の種類]	静止画と動画	
[インターバル設定]	2秒	

# ■静止画撮影メニューの初期設定

静止画撮影メニュー項目	初期設定	
[静止画撮影メニューの拡張] (□ 35)	しない	
[記録フォルダー設定](□135)		
[フォルダーグループ名変更]	ND500	
[フォルダー番号指定]	100	
[ファイル名設定] (□138)	DSC	
[ <b>主スロットの選択</b> ] (□□40)	XQDスロット	
[ <b>副スロットの機能</b> ] (□140)	順次記録	
[フラッシュ発光] (□141)		
[発光モード]	TTL調光	
[ワイヤレス設定]	しない	
[増灯発光モード]	グループ発光	
[ <b>撮像範囲設定</b> ] (□ 45)	DX (24×16)	
[ <b>画質モード</b> ] (□146)	NORMAL	
[ <b>画像サイズ</b> ] (印47)		
[JPEG/TIFF]	サイズL	
[RAW]	サイズL	
[RAW記録](山48)		
[圧縮方式]	ロスレス圧縮RAW	
[記録ビットモード]	14ビット記録	
[ <b>ISO感度設定</b> ](□149)		
[ISO感度]	100	
[感度自動制御]	しない	
[ <b>ホワイトバランス</b> ] (□50)	オート:	
	AUTOU日を優先する	
	A-B: 0、G-M: 0	
	5000K	
[フリセットマニュアル]	d-1	
[ <b>ピクチャーコントロール</b> ](印51)	スタンダード	
[ <b>色空間</b> ] (□52)	sRGB	
[アクティブD-ライティング](印52)	しない	

10 メニューガイド

静止画撮影メニュー項目	初期設定	
[ <b>長秒時ノイズ低減</b> ](□53)	しない	
[高感度ノイズ低減](□53)	標準	
[ヴィネットコントロール] (印54)	標準	
[自動ゆがみ補正](□255)	しない	
[フリッカー低減] (□256)		
[フリッカー低減機能]	無効	
[フリッカー検出の表示]	する	
「オートブラケティングのセット」(CD 56)	AE・フラッシュ	
	ブラケティング	
[多重露出] (□ 57) *		
[多重露出モード]	しない	
[コマ数]	2	
[合成モード]	加算平均	
[HDR (ハイダイナミックレンジ)] (ロ58)		
[HDRモード]	しない	
[露出差]	オート	
[スムージング]	標準	
[インターバルタイマー撮影] (ロ59)	設定解除	
[開始方法の設定]	即時スタート	
[撮影間隔]	1分	
[撮影回数×1回のコマ数]	0001×1	
[露出平滑化]	しない	

※ 多重露出撮影中は、1コマ目を撮影してから設定したコマ数分撮影し終えるまで 静止画撮影メニューはリセットできません。

# ■動画撮影メニューの初期設定

動画撮影メニュー項目	初期設定
[ファイル名設定](四61)	DSC
[ <b>動画記録先</b> ] (四61)	XQDスロット
[ <b>撮像範囲設定</b> ](□161)	DX
【 <b>画像サイズ/フレームレート</b> 】(□162)	1920×1080 60p
[動画の画質] (□162)	高画質
[ <b>ISO感度設定</b> ](□163)	
[Mモード時のISO感度設定]	100
[Mモード時の感度自動制御]	しない
[制御上限感度]	51200
[ホワイトバランス] (□164)	静止画の設定と同じ
[微調整值]	A-B: 0、G-M: 0
[色温度設定]	5000K
[プリセットマニュアル]	d-1
[ピクチャーコントロール] (印64)	静止画の設定と同じ
[アクティブD-ライティング] (皿64)	しない
[高感度ノイズ低減](□065)	標準
[ <b>フリッカー低減</b> ](印65)	オート
[マイク感度] (印66)	マイク感度 オート
[ <b>録音帯域</b> ] (□167)	広帯域
[ <b>風切り音低減</b> ] (□167)	しない
[ <b>微速度撮影</b> ] (□168)	設定解除
[撮影間隔]	5秒
[撮影時間]	25分
[露出平滑化]	する
[電子手ブレ補正](□168)	しない

# ■カスタムメニューの初期設定

	カスタムメニュー項目	初期設定	
a1	[AF-Cモード時の優先] (ロ73)	レリーズ	
a2	[AF-Sモード時の優先] (□ 74)	フォーカス	
a3	[AFロックオン] (ロ75)		
	[横切りへの反応]	3	
	[被写体の動き]	(標準)	
a4	[ <b>3D-トラッキングの顔認識</b> ] (ロ76)	しない	
a5	[ <b>3D-トラッキングの捕捉領域</b> ] (□ 76)	標準	
aб	[AF点数切り換え] (□ 76)	55点	
a7	[ <b>縦/横位置フォーカス切換</b> ](□□77)	しない	
a8	[ <b>半押しAFレンズ駆動</b> ] (□ 78)	する	
	[非合焦時のレリーズ]	許可	
a10	[AFモードの制限] (ロ79)	制限しない	
a11	[フォーカスポイント循環選択] (□ 80)	しない	
a12	[フォーカスポイント表示の設定] (□180)		
	[マニュアルフォーカス時の表示]	する	
	[ダイナミックAF時のアシスト表示]	する	
	[グループエリアAFモード時の表示]	四角表示	
	[フォーカスポイント照明]	オート	
a13	[AF設定時のフォーカスリング操作](□181)	有効	
b1	[ <b>ISO感度設定ステップ幅</b> ] (印82)	1/3段	
b2	[ <b>露出設定ステップ幅</b> ] (□ 82)	1/3段	
b3	[ <b>露出・調光補正ステップ幅</b> ] (□ 82)	1/3段	
b4	[ <b>露出補正簡易設定</b> ] (□ 83)	しない	
b5	[マルチパターン測光] (□184)	顔認識する	
b6	[ <b>中央部重点測光範囲</b> ] (□ 84)	\$0 mm	
b7	[基準露出レベルの調節] (□ 85)		
	[マルチパターン測光]	0	
	[中央部重点測光]	0	
	[スポット測光]	0	
	[ハイライト重点測光]	0	

カスタムメニュー項目		初期設定
с1	[シャッターボタンAEロック] (□186)	しない
c2	[ <b>半押しタイマー</b> ](□186)	6秒
c3	[ <b>セルフタイマー</b> ] (ロ87)	
	[時間]	10秒
	[撮影コマ数]	1コマ
	[連続撮影間隔]	0.5秒
c4	[モニターのパワーオフ時間](印87)	
	[画像の再生]	10秒
	[メニュー表示]	1分
	[インフォ画面表示]	10秒
	[撮影直後の画像確認]	4秒
	[ライブビュー表示]	10分
d1	[ <b>低速連続撮影速度</b> ] (□ 88)	5コマ/秒
d2	[連続撮影コマ数] (□288)	200
d3	[ISO感度表示] (印88)	しない
d4	[ <b>連動レリーズモード設定</b> ](□189)	連動する
d5	[ <b>露出ディレーモード</b> ] (□189)	しない
d6	[ <b>電子先幕シャッター</b> ] (印89)	無効
d7	[連番モード] (□ 90)	する
d8	[ファインダー内格子線表示](口91)	しない
d9	[イルミネーター点灯] (□191)	しない
d10	[光学手ブレ補正] (四92)	する
e1	[フラッシュ撮影同調速度] (□193)	1/250秒
e2	[フラッシュ時シャッタースピード制限]	1/60秒
	(\$\$\Phi 94)	170049
e3	[フラッシュ使用時の露出補正](口94)	全体を補正
e4	[\$使用時の感度自動制御] (□ 95)	被写体と背景
e5	[モデリング発光] (四95)	する
еб	「 <b>BKT変化要素 (Mモード)</b> ] (□ 96)	フラッシュ・
		シャッタースピード
e7	[ <b>BKTの順序</b> ] (ロ97)	$[0] \rightarrow [-] \rightarrow [+]$

カスタムメニュー項目		初期設定
f1	[ <b>カスタムボタンの機能</b> ] (□198)	·
	[プレビューボタン]	プレビュー
	[プレビューボタン+裏]	設定しない
	[Fn1ボタン]	設定しない
	[Fn1ボタン+ <b>雲</b> ]	撮像範囲選択
	[Fn2ボタン]	レーティング
	[AF-ONボタン]	AF-ON
	[サブセレクター]	フォーカスポイント選択
	[サブセレクター中央]	AE-L/AF-L
	[サブセレクター中央+3]	設定しない
	[BKTボタン+罢]	オートブラケティング
	[動画撮影ボタン+ 🚬]	設定しない
	[レンズのフォーカス作動ボタン]	AF-L
f2	[中央ボタンの機能] (□110)	
	「撮影モード」	フォーカスポイント
		中央リセット
	[再生モード]	拡大画面との切り換え
	[拡大画面との切り換え]	低倍率(50%)
	[ライブビュー]	フォーカスポイント
		中央リセット
t3 [シャッタースビードと絞り値のロック](□112)		J  2)
	「ジャッタースヒードのロック」	しない
<u> </u>		しない
†4	[コマンドタイヤルの設定](山112)	
		露出補止の設定時: <b>□、</b>
	「回転方向の変更」	シャッタースヒート/ 絞り値の設定時: <b>口</b>
		露出設定:しない
	[メインとサブの入れ換え]	AF設定:しない
	[絞り値の設定方法]	サブコマンドダイヤル
	[再生/メニュー画面で使用]	しない
	[サブコマンドダイヤルで画像送り]	10コマ

メニューガイド 15

カスタムメニュー項目	初期設定
[マルチセレクターの半押し起動](□116)	しない
[ボタンのホールド設定] (□116)	しない
[インジケーターの+/-方向] (□116)	<b>-</b> _iiîi.+
【 <b>ライブビューボタンの設定</b> 】(□117)	有効
[ <b>法スイッチの機能</b> ] (□117)	🔆の点灯/消灯
[MB-D17のボタンの機能] (□118)	
[Fnボタン]	AE-L(レリーズでリセット)
[Fnボタン+裏]	設定しない
[AF-ONボタン]	カメラのAF-ONボタンと同じ
「マルチャレクター」	カメラのマルチセレクターと
	同じ
上下左右機能入れ換え	しない
[カスタムボタンの機能] (□121)	
[プレビューボタン]	インデックスマーキング
[プレビューボタン+裏]	設定しない
[Fn1ボタン]	設定しない
[Fn1ボタン+素]	設定しない
[Fn2ボタン]	設定しない
[サブセレクター中央]	AE-L/AF-L
[サブセレクター中央+雲]	設定しない
[シャッターボタン]	静止画撮影
	カスタムメニュー項目 [マルチセレクターの半押し起動] (□116) [ボタンのホールド設定] (□116) [インジケーターの+/-方向] (□116) [ライブビューボタンの設定] (□117) [*スイッチの機能] (□117) [MB-D17のボタンの機能] (□118) [Fnボタン] [Fnボタン] [Fnボタン] [Fnボタン] [AF-ONボタン] [マルチセレクター] [ンレビューボタン] [ブレビューボタン] [ブレビューボタン] [ブレビューボタン] [Fn1ボタン] [Fn1ボタン] [Fn1ボタン] [Fn1ボタン] [Fn2ボタン] [サブセレクター中央] [ジャッターボタン]

# ■セットアップメニューの初期設定

セットアップメニュー項目	初期設定	
[地域と日時] (四127)		
[スマートフォンと同期]	しない	
[夏時間の設定]	しない	
[モニターの明るさ] (四127)		
[メニュー /再生]	0	
[ライブビュー]	0	
[モニターのカラーカスタマイズ] (印128)	A-B: 0、G-M: 0	
[インフォ画面の表示設定] (□130)	自動	
[イメージセンサークリーニング] (□133)	·	
[電源スイッチに連動]	電源ONとOFFで実行	
[電子音設定] (□ 142)		
[音量]	電子音なし	
[音の高さ]	低音	
[ <b>タッチ操作</b> ](□143)		
[タッチ操作の設定]	有効	
[1コマ送り時のフリック操作]	左→右	
[HDMI] (□143)		
〔出力解像度〕	オート	
[詳細設定]		
[出力レンジ]	オート	
[出力画面サイズ]	100%	
[ライブビュー時の情報表示]	しない	
[モニターの同時表示]	する	
[ <b>位置情報</b> ] (□144)		
[スマートフォンから取得]	しない	
[GPS機器設定]		
[半押しタイマー]	有効	
[衛星による日時合わせ]	する	

セットアップメニュー項目	初期設定
[ <b>リモコン (WR) 設定</b> ] (四145)	·
[LEDランプの点灯]	する
[リンクモード]	ペアリング
[リモコン (WR) のFnボタンの機能] (□146)	設定しない
[機内モード] (□146)	無効
[スマートフォンへの自動送信](□148)	しない
[Eye-Fi送信機能] (□149)	有効
[ <b>MB-D17電池設定</b> ](□151)	アルカリ単3形電池
[電池の使用順序] (□153)	MB-D17から
[ <b>カードなし時レリーズ</b> ] (印155)	レリーズ許可

# ▶ 再生メニュー:再生で使える便利な機能

MENUボタンを押して、タブのI▶アイコンを選ぶと、再生メニューが表示されます。



MENUボタン

再生メニューの項目は、次の通りです。

メニュー項目		メニュー項目	
削除	20	削除後の次再生画像	27
再生フォルダー設定	20	連続撮影後の再生画像	28
非表示設定	21	縦横位置情報の記録	29
再生画面設定	22	縦位置自動回転	29
画像コピー	23	スライドショー	30
撮影直後の画像確認	27	スマートフォンへの送信指定	31

🖉 関連ページ

「再生メニューの初期設定」(四9)

削除

MENUボタン → ● 再生メニュー

複数の画像を一括して削除できます。

	選択画像削除	選んだ画像を削除します。	
ALL	全画像削除	<ul> <li>(再生フォルダー設定) で設定したフォルダー内の全ての画像を削除します。</li> <li>メモリーカードを2枚使用している場合は、画像を削除するスロットを選択できます。</li> </ul>	削除       ***       ***       ***       ***       ***       ***       ***       ***       ***

# 再生フォルダー設定

MENUボタン → ▶ 再生メニュー

画像はメモリーカード内のフォルダーに保存されます。 画像の再生時に表示するフォルダーを設定します。

	D500で作成された全てのフォルダー内の画像を再生しま
(フォルダー	す。フォルダーグループ名は静止画撮影メニュー[記録フォ
グループ名)	ルダー設定]の[フォルダーグループ名変更](ロ35)で
	変更できます。
全てのフォルダー	メモリーカード内の全てのフォルダーの画像を再生します。
記録中のフェルダー	画像の記録に実際に使われているフォルダーの画像を再生
記録中のフォルター	します。

非表示設定

MENUボタン → ▶ 再生メニュ-

非表示設定した画像は、非表示設定画面以外では表示されません。



## 2 非表示にする画像を選ぶ

- マルチセレクターを操作して画像を選び、中央ボタンを押して設定します。
   設定すると≌が表示されます。もうー度中央ボタンを押すと、≌が消えます。
- 非表示にする画像全てに設定してくだ さい。



● (ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示します。)

# 3 設定を完了する

● 「ボタンを押して、設定を終了します。



®ボタン

#### ▶ 非表示設定についてのご注意

- メモリーカードを初期化すると、非表示設定した画像も削除されますのでご注意ください。
- プロテクトと非表示の両方を設定した画像の非表示設定を解除すると、プロテクト設定も解除されます。

#### 🖉 設定した非表示設定を一括で解除したいときは

[非表示設定] 画面で[一括解除] を選ぶと、[非表示設定] で設定した内容を 全て解除します。

# 再生画面設定

#### MENUボタン → ▶ 再生メニュー

標準表示画面で、選んだフォーカスポイントまたはピント合わせに使用 したフォーカスポイントを表示するかどうかを設定できます。また、1 コマ表示時の画像情報表示に、画像のみ表示、ハイライト表示、RGBヒ ストグラム表示、撮影情報表示、統合表示を追加します。

- ・追加したい項目を選び、マルチセレクターの③を押してチェックボックスをオン■にします。もう一度③を押すと、チェックボックスがオフ□になります。
- ∞ボタンを押すと、設定を完了します。

画像コピー

MENUボタン → ● 再生メニュー

メモリーカードを2枚使用しているときに、メモリーカード内の画像を もう一方のメモリーカードにコピーできます。

コピー元の選択	コピーしたい画像があるスロットを選びます。
コピー元画像の選択	コピーしたい画像を選びます。
コピー先フォルダーの	[ <b>コピー元の選択</b> ] で選ばなかったスロットにあるフォ
選択	ルダーを画像のコピー先として選びます。
コピー実行	コピーを実行します。

#### ■ 画像のコピー方法

[コピー元の選択]を選ぶ
 • [コピー元の選択] を選んでマルチセレクターの④を押すと、[コピー元の選択] 画面が表示されます。



画像コピー コピー元の選択

XODスロット

SDスロット

**2** コピーしたい画像があるスロットを 選ぶ

コピーしたい画像が入っているカードのスロットを選んで∞ボタンを押すと、
 [画像コピー] 画面に戻ります。

3 [コピー元画像の選択]を選ぶ

 [コピー元画像の選択]を選んで
 ● を押 すと、[コピー元画像の選択] 画面が表 示されます。



# 4 コピー元画像があるフォルダーを 選ぶ

 コピー元画像のあるフォルダーを選ん で⑦を押すと、[画像選択の初期状態] 画面が表示されます。

# 5 画像の選択方式を選ぶ

 コピー画像の選び方は、次の3通りが あります。





全画像非選択	フォルダー内の全ての画像が選ばれていない状態で表示され ます。 • コピーする画像を 1 枚ずつ自分で選びたい場合に適してい ます。
全画像選択	フォルダー内の全ての画像が選ばれた状態で表示されます。 • フォルダー内の全画像をコピーしたい場合に適しています。
プロテクト 画像選択	フォルダー内のプロテクトされている画像だけが選ばれた 状態で表示されます。

## 6 コピーする画像を選ぶ

- マルチセレクターで画像を選んで中央 ボタンを押すと、✓が表示されます。
   もう一度中央ボタンを押すと、✓が消 えます。
- ・
   ペボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。



コピーしたい全ての画像に✓を入れてから∞ボタンを押すと、
 [画像コピー] 画面に戻ります。

<ul> <li>【コピー先フォ 選ぶ</li> <li>〔コピー先フォ ③を押すと、〔</li> <li>択〕画面が表示</li> </ul>	■ 画像コピー ■ コピー元の選択 CDX00 コピー元画像の選択 100 コピー元目像の選択 101 コピーティルジーの選択 101 コピー実行	
8 コピー先フォル 選ぶ ● コピー先フォル ⑦を押します。	<b>レダーの選択方法を</b> ッダーの選択方法を選んで	<ul> <li>画像コビー</li> <li>コビー先フォルダーの選択</li> <li>フォルダー番号指定</li> <li>既存フォルダーから選択</li> </ul>
フォルダー 番号指定	コピー先のフォルダー番号 を入力して指定します (口36)。指定したフォル ダー番号のフォルダーがな い場合は、フォルダーを新 規作成します。	画像ンピー フォルダー番号指定 御陰 マ マ マ マ マ マ マ マ マ
既存フォルダー から選択	既存フォルダーの一覧表示 から、コピー先フォルダー を選びます。	■ 画像コピー 取存フォルダーから選択 101ND500 101ND500 102ND500 103ND500 ■ 103ND500

# 9 コピー先フォルダーを選ぶ

 それぞれの画面で、フォルダー番号を指定または選んで∞ボタン を押すと、コピー先フォルダーを設定して[画像コピー]画面に 戻ります。

# 10 [コピー実行]を選ぶ

 [コピー実行]を選んで∞ボタンを押す と、コピーの確認画面が表示されます。

# 11 [はい] を選ぶ

- [コピーしますか?] というメッセージ
   と、コピーする枚数が表示されます。
- [はい]を選んで◎ボタンを押すと、 コピーを実行します。
- コピーが終了したら、もう一度®ボタン を押してコピーを完了します。

#### ▶ 画像コピーについてのご注意

- コピー先メモリーカードの残量がない場合、コ ピーできません。
- コピー先フォルダーに同じファイル番号が存在 する場合、右のような画面が表示されます。こ のとき、[上書き]または[全て上書き]を選ぶ と、コピー元の画像に上書きされますのでご注 意ください。ただし、コピー先の画像にプロテ

クトまたは非表示が設定されている場合は、上書きできません。 [スキップ] を選ぶと、上書きせずに残りの画像のコピーを続けます。[キャン セル] を選ぶと、コピーを中止します。

- プロテクト設定はコピー先の画像に引き継がれます。
- 非表示設定した画像はコピーできません。
- 動画をコピーするときは、バッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッ テリーをお使いください。





象の選択

ダーの選択

(\*1XOD

100

■■像コピー

## 撮影直後の画像確認

MENUボタン → ▶ 再生メニュ-

撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。[**しない**]を 選んだ場合に撮影画像を表示確認するには、▶ボタンを押してください。

# 削除後の次再生画像

MENUボタン → ▶ 再生メニュ-

画像を削除した後に表示する画像を設定できます。

🕞 後ろのコマ	削除した画像の次に撮影した画像を表示します。 最後の画像を削除した場合は、1つ前の画像を表示します。	
▶□□ 前のコマ	削除した画像の前に撮影した画像を表示します。 最初の画像を削除した場合は、次に撮影した画像を表示し ます。	
▶ 直前コマ送り 方向に従う	<ul> <li>・直前のコマ送りが前の画像から後の画像の順番のときは、「後ろのコマ」と同じ動作になります。</li> <li>・直前のコマ送りが後の画像から前の画像の順番のときは、「前のコマ」と同じ動作になります。</li> </ul>	

# 連続撮影後の再生画像

MENUボタン → ▶ 再生メニュ-

最後に撮影した画像が連続撮影の場合、画像を再生したときに連続撮影した最初のコマまたは最後のコマのどちらを表示するかを設定できます。

●再生メニュー[撮影直後の画像確認](□27)が[しない]に設定されている場合のみ有効です。

最後に撮影した画像(連続撮影) <u>L</u> <u>DSC\_0002.jpg</u> DSC\_0003.jpg DSC\_0004.jpg DSC\_0014.jpg DSC\_0015.jpg



設定時に表示

[最後の画像] 設定時に表示

## 縦横位置情報の記録

#### MENUボタン → ▶ 再生メニュ-

 画像モニターやCapture NX-DまたはViewNX-iで画像を再生するときに、記録した縦横位置情報を利用して、自動的に回転表示されます。

 記録されるカメラの縦横位置情報は、次の3種類です。

 する

 減位置

 縦位置

 炭防計回りに

 90°回転

 90°回転

 りの回転

#### 撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。

#### ▶ 縦横位置情報記録についてのご注意

カメラを上向きまたは下向きにして撮影したり流し撮りすると、縦横位置情報 が正しく得られない場合があります。

### 縱位置自動回転

MENUボタン → <br />
● 再生メニュー

[する] に設定すると、縦位置で撮影した画像を自動的に回転して表示 します。

• 自動的に回転して表示するには、[縦横位置情報の記録] も [する] に 設定しておく必要があります。

✓ 縦位置自動回転についてのご注意
 〔縦位置自動回転〕を〔する〕に設定しても、撮影直後の画像確認時は自動回転しません。

スライドショー

MENUボタン → ▶ 再生メニュ-

撮影した画像を記録された順番に1コマずつ連続再生します。[**再生フォ** ルダー設定](ロ20)で設定されたフォルダー内の画像が記録された順 番で再生されます。ただし、[**非表示設定**](ロ21)されている画像は 再生されません。

開始	スライドショーを開始します。
再生画像の種類	スライドショーで再生する画像の種類を [ <b>静止画と動画</b> ]、 [ <b>静止画のみ</b> ]、[ <b>動画のみ</b> ] から選べます。
インターバル設定	1コマの静止画を表示する時間を設定します。

#### ■ スライドショーを再生する

[開始] を選んで∞ボタンを押すと、スライド ショーが始まります。スライドショーの再生 中は、次の操作が可能です。



1コマ進む/ 戻る		マルチセレクターの   の で か や ままま の の の の の の の の の の の の の の の の の			
画像情報を 切り換える		◆または◆を押すと、静止画再生時に画像情報の切り換えができます。画像情報を「画像のみ」に切り換えると、画像だけをスライドショーで再生できます。			
一時停止する	ок	スライドショーが一時停止します。[ <b>再開</b> ] を選 んで∞ボタンを押すと、スライドショーが再開 します。			
動画再生中に 音量を調節する	¶∕q≘ (⊈)	<ul> <li>              ≪(ボタンを押すと音量が大きくなり、 Q          </li> <li>             ダンを押すと小さくなります。         </li> </ul>			
再生メニューに 戻る	MENU	スライドショーを中止して、再生メニューに戻り ます。			



再生が終わると、右のような画面が表示され ます。[**再開**] を選んで∞ボタンを押すと、ス ライドショーが再開します。[**終了**] を選んで ∞ボタンを押すと、スライドショーが終了し ます。





スマートフォンに取り込みたい静止画を送信指定することができます。 動画は送信指定できません。

画像の選択	スマートフォンに送信指定する画像を選択します。
送信指定の一括解除	送信指定を一括で解除します。

# ▲ 静止画撮影メニュー: 静止画撮影で使える便利な機能

MENUボタンを押して、タブの▲アイコンを選ぶと、静止画撮影メニューが表示されます。



静止画撮影メニューの項目は次の通りです。

メニュー項目		メニュー項目	
静止画撮影メニューの管理	33	ピクチャーコントロール	51
静止画撮影メニューの拡張	35	カスタムピクチャーコントロール	51
記録フォルダー設定	35	色空間	52
ファイル名設定	38	アクティブD-ライティング	52
主スロットの選択	40	長秒時ノイズ低減	53
副スロットの機能	40	高感度ノイズ低減	53
フラッシュ発光	41	ヴィネットコントロール	54
撮像範囲設定	45	自動ゆがみ補正	55
画質モード	46	フリッカー低減	56
画像サイズ	47	オートブラケティングのセット	56
RAW記録	48	多重露出	57
ISO感度設定	49	HDR (ハイダイナミックレンジ)	58
ホワイトバランス	50	インターバルタイマー撮影	59

#### 🖉 関連ページ

「静止画撮影メニューの初期設定」(□10)

## 静止画撮影メニューの管理

MENUボタン → ●静止画撮影メニュ-

カメラは、静止画撮影メニューの設定内容を、「A」、「B」、「C」、「D」の 4通り記憶できます。それぞれの静止画撮影メニューで設定した内容は、 他の静止画撮影メニューには反映されません。ただし、ピクチャーコン トロールの調整値(クイック調整および手動調整)、[静止画撮影メ ニューの拡張]、[多重露出]、[インターバルタイマー撮影] での設定 は、全ての静止画撮影メニューで共通になります。

[静止画撮影メニューの管理] で「A」、「B」、「C」、「D」のいずれかを選んでから静止画撮影メニューの設定を変更すると、カメラが設定内容を記憶します。記憶した設定内容は、設定時の静止画撮影メニューを選び 直すことで呼び出せます。



#### 🖉 関連ページ

- 露出モード、シャッタースピード、絞り値、フラッシュモードも静止画撮影メニューに記憶する → □ [静止画撮影メニューの拡張] (□35)

# ■ 名前編集

静止画撮影メニュー「A」~「D」の名前を編集するには、名前を変更 したい静止画撮影メニューを選んでマルチセレクターの €を押します。 名前は20文字まで入力できます。入力画面での文字の入力方法につい ては、「入力画面の操作方法について」(□39)をご覧ください。

#### ■ 静止画撮影メニューのリセット

静止画撮影メニュー「A」~「D」を個別にリ セットできます。リセットしたい静止画撮影 メニューを選んで**´´**( <sup>em</sup>) ボタンを押すと、 確認画面が表示されます。[はい]を選んで<sup>®</sup> ボタンを押すと、選んだ静止画撮影メニュー の設定をリセットして初期設定に戻します (□10)。





## 静止画撮影メニューの拡張

MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

[する] を選ぶと、静止画撮影メニュー(「A」~「D」)ごとに露出モード、シャッタースピード(露出モードS、Mのみ)、絞り値(露出モードA、Mのみ)、フラッシュモードを記憶できます。

- 「静止画撮影メニューの管理」で「A」、「B」、「C」、「D」のいずれかを 選んでから露出モード、シャッタースピード、絞り値、フラッシュモー ドの設定を変更すると、カメラが設定内容を記憶します。記憶した設定 内容は、設定時の静止画撮影メニューを選び直すことで呼び出せます。
- [しない] を選ぶと、[する] を選ぶ前に設定した露出モード、シャッ タースピード、絞り値、フラッシュモードに戻ります。

# 記録フォルダー設定

MENUボタン → ●静止画撮影メニュ-

撮影した画像を保存するフォルダーについ ての設定を行います。





#### ■ フォルダーグループ名変更

このカメラのフォルダーには、末尾に「ND500」というフォルダーグ ループ名が付きます。[フォルダーグループ名変更]では、新規フォル ダーを作成する場合の「ND500」の5文字を任意に変更できます。入力 画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」 (凹39)をご覧ください。

- •既存のフォルダー名は変更できません。

#### ■ フォルダー番号指定

画像を保存するフォルダーを、フォルダー番号を指定して変更します。 指定したフォルダーが存在しない場合、新規フォルダーを作成します。

> 記録フォルダー設定 フォルダー番号指定

> > 101 ND500

- 1 [フォルダー番号指定] を選ぶ
  - [フォルダー番号指定]を選んでマルチ セレクターの③を押すと、[フォル ダー番号指定]画面が表示されます。
  - [フォルダー番号指定] 画面の右上には、 フォルダーを作成するスロットが下線で 強調されて表示されます。フォルダーを作成するスロットは、静 止画撮影メニュー [**副スロットの機能**] (ロ40)の設定によって

## 2 フォルダー番号の桁を選ぶ

異なります。

• ③または ④を押して、フォルダー番号の変更したい桁を選びます。

#### 3 フォルダー番号を変更する

●または●を押して、フォルダー番号の数値を変更します。

#### 4 フォルダー番号を設定する

- ・既存のフォルダー番号を指定すると、フォルダー番号の左にフォ ルダーマーク(□、□、□)が表示されます。□または□が表 示されたフォルダーを選んで®ボタンを押すと、指定したフォル ダーを記録フォルダーに設定します。
- ●既存のフォルダー番号以外の数値を入力して∞ボタンを押すと、
   入力したフォルダー番号で新規フォルダーを作成します。
- 次に撮影する画像は、指定したフォルダーまたは作成した新規 フォルダーに保存されます。
- キャンセルしたい場合は、MENUボタンを押してください。
### 🖉 フォルダーマークについて

[フォルダー番号指定]画面では、フォルダー番号の左に、画像の入っていない フォルダーのときは つ、フォルダー内のファイル数が999個またはファイル番 号が9999に達しているフォルダーのときは つ、その他のフォルダーのときは つのフォルダーマークが表示されます。 つが表示されているフォルダーには、画 像は記録できません。

### ■ 既存フォルダーから選択

既存のフォルダーの一覧から選びます。

- 1 [既存フォルダーから選択] を選ぶ
  - (既存フォルダーから選択)を選んでマ ルチセレクターの③を押すと、(既存 フォルダーから選択)画面が表示され ます。

記録フォルダー設定 フォルダーから選択 101ND500 102ND500 103ND500

### **2** フォルダーを選ぶ

●または
 ●を押して、画像を記録するフォルダーを選びます。

### 3 画像を記録するフォルダーを設定する

- ●ボタンを押すと、設定が有効になります。
- 次に撮影する画像は、選んだフォルダーに保存されます。

### ▼ フォルダー番号およびファイル番号についてのご注意

フォルダー番号が999になるとカメラが自動的にフォルダーを作成できないため、次のときに撮影ができなくなります。

- フォルダー内のファイル数が999個に達したとき(動画撮影時は、フォルダー 内のファイル数が992以上になると撮影できない場合があります)
- ファイル番号が9999に達したとき(動画撮影時は、フォルダー内の最後のファ イル番号が9992以降になると撮影できない場合があります)

ただし、次の場合、メモリーカードにまだ空き容量があれば、さらに撮影を続けられます。

- フォルダー番号が999未満のフォルダーを新規に作成し、それを記録フォル ダーとして選んだ場合
- 動画撮影時、動画撮影メニュー [画像サイズ/フレームレート] (□62)および [動画の画質] (□62) の設定を変更した場合

#### 💋 大容量のメモリーカードを使用する場合

すでにたくさんのフォルダーや画像が記録されているメモリーカードを使用する 場合、メモリーカードを挿入したときや、カメラの電源をONにしたときなどに行 われるファイル検索に時間がかかるため、撮影や再生ができるまでに時間がかか ることがあります。

### ファイル名設定

#### MENUボタン → ●静止画撮影メニュ-

このカメラで撮影した画像には、自動的にDSC\_nnnn.xxxというファイ ル名が付きます。[ファイル名設定]では、「DSC」の3文字を任意に変 更できます。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操 作方法について」(ロ39)をご覧ください。

### 🖉 ファイル名について

- このカメラで撮影された画像にはDSC\_nnnn.xxxという名称が付きます。
   nnnnには0001~9999までの数字が入ります。xxxには選んだ画質モードによって、次の拡張子が入ります。
   NEF: RAWの場合
   TIF: TIFF(RGB)の場合
   JPG: FINE/NORMAL/BASICの場合
   MOV:動画の場合
   NDF: イメージダストオフデータの場合
- 静止画撮影メニューの[色空間]で[Adobe RGB](ロ52)を選んだ場合は\_DSCnnn.xxxという名称が付きます。
- 同時記録されたRAW画像とJPEG画像のファイル名は同じですが、拡張子がそれぞれNEF、JPGになります。

#### 🖉 入力画面の操作方法について

ファイル名設定や画像コメントなど、文字を入力 するときに表示される画面での操作方法は次の通 りです。 入力エリア

4 5 6 7 8

ID-02

- 入力エリアに新しい文字を入力する場合は、 キーボードエリアで文字をタッチしてください。マルチセレクターを操作して入力するキー ボードエリアの文字上にカーソルを移動させ、 中央ボタンを押しても入力できます。
- 入力エリアのカーソルを左右に移動するには、キー 入力エリアをタッチするか (な)ボタンを押 しながらマルチセレクターの ③または ③を押します。
- は、 キーボードエリア
- 入力エリアからあふれた文字は削除されます。
- 1文字削除するには、Q器(↓)ボタンを押しながらマルチセレクターの④または
   は●を押して削除する文字の上にカーソルを移動させ、
   値(\*\*\*\*)ボタンを押します。
- 内容を確定し、文字入力を終了する場合は、
   ・
   ・
   ボタンを押します。
- 文字の入力をキャンセルするには、MENUボタンを押します。

# 主スロットの選択

MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

撮影時や再生時に優先的に使うスロットを設定します。

XQDスロット	XQDカードを優先的に使うときに選びます。
SDスロット	SDカードを優先的に使うときに選びます。

### 副スロットの機能

MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

2つあるメモリーカードスロットの両方を使って画像を記録するときの 副スロットの機能を設定できます。

"∙"	順次記録	主スロットから優先的に記録し、空き容量がなくなったら、記録先を副スロットに変更します。
[]+[]	バックアップ記録	バックアップ用として同じ画像を主スロット、副ス ロットに記録します。
RÁŴ <b>)+(</b> Ĵ)	RAW+JPEG分割 記録	<ul> <li>「画質モード」が「RAW+FINE★」、[RAW+FINE]、 [RAW+NORMAL★]、[RAW+NORMAL]、</li> <li>[RAW+BASIC★]、または[RAW+BASIC]の場合、主スロットにRAW画像、副スロットにJPEG画像を記録します。</li> <li>その他の画質モードの場合は、同じ画像を主スロットと副スロットの両方に記録します。</li> </ul>

フラッシュ発光

#### MENUボタン → ▲ 静止画撮影メニュ-

別売のスピードライトを取り付けた場合の発光モードを設定したり、ワ イヤレス増灯撮影時の設定を行います。

### ■ 発光モード

SB-5000、SB-500、SB-400、またはSB-300を カメラに装着した場合、スピードライトの発 光モードや補正量などは、静止画撮影メ ニュー[フラッシュ発光]の[発光モード] で設定できます。選べる発光モードは装着し たスピードライトによって異なります。選ん



だ項目によって [発光モード] の下に表示されるメニュー項目が変更されます。

- •SB-5000をお使いの場合はスピードライト本体でも設定できます。
- SB-500、SB-400、SB-300以外のスピードライトを装着した場合、発 光モードなどの設定はスピードライト本体で行ってください。

	スピードライトの発光量は、撮影状況に応じて自動的に調節さ
	れます。
TTL調光	• [TTL 調光補正] でスピードライトの調光補正値を設定しま
	す。SB-500、SB-400またはSB-300を装着した場合、調光補
	正は <b>9≅(\$</b> )ボタンを押して行えます。
	スピードライトの発光による被写体からの反射光を外部自動調光
	用センサー窓で測光し、スピードライトが発光量を制御します。
	• [外部自動調光補正] でスピードライトの調光補正値を設定し
	ます。
外部自動調光	•「絞り連動外部自動調光」(🕱 A)と「外部自動調光」(A)があり
	ます。セットアップメニューの [ <b>レンズ情報手動設定</b> ]
	(□133)でレンズの開放絞り値と焦点距離を設定していない
	非CPUレンズを装着した場合はAモードになります。詳しく
	はご使用のスピードライトの使用説明書をご覧ください。

距離優先	スピードライトから被写体までの距離を設定すると、カメラの 設定に合わせて適正な発光量をスピードライトが自動的に設定 します。
	<ul> <li>[距離優先マニュアル発光設定]の[距離]で被写体までの距離 を、[調光補正]でスピードライトの調光補正値を設定します。</li> </ul>
マニュアル発光	指定した発光量でスピードライトが発光します。 • [マニュアル発光量] でスピードライトの発光量を設定します。
リピーティング 発光	1回の露光中に、スピードライトを連続発光させて、被写体の連 続的な動きを多重露出のように写し込みます。 • [リビーティング発光設定]の[発光量]でスピードライトの 発光量を、[回数]で連続発光する回数を設定できます。[周 波数]で発光周波数(1秒あたりの発光回数)をHz(ヘルツ) 単位で設定できます。 • 最大連続発光回数は[発光量]と[周波数]の組み合わせに より異なります。詳しくはご使用のスピードライトの使用説 明書をご覧ください。

### ■ ワイヤレス設定

複数のスピードライトを同時に発光させて撮影(ワイヤレス増灯撮影)する場合に、制御方法を選びます。このメニューは、カメラにSB-5000、SB-500、またはWR-R10を装着したときのみ表示されます。



光制御AWL	マスターフラッシュの微小発光で、リモートフラッシュを制御 します。 • カメラのアクセサリーシューにSB-5000またはSB-500を装着 した場合に選べます。
光制御/ 電波制御AWL	<ul> <li>光で制御するリモートフラッシュと、電波で制御するリモートフラッシュを併用してフラッシュ撮影を行います。</li> <li>カメラにWR-R10を装着し、アクセサリーシューにSB-500またはマスターフラッシュとして設定したSB-910、SB-900、SB-800、SB-700またはSU-800を装着した場合に選べます。</li> <li>[増灯発光モード](□44)は[グループ発光]のみ使用できます。</li> </ul>
電波制御AWL	<ul> <li>カメラに装着したWR-R10を使用して、電波によってリモート</li> <li>フラッシュを制御します。</li> <li>カメラにWR-R10を装着した場合に選べます。</li> <li>リモートフラッシュは、電波制御AWL対応のスピードライトのみ使用できます。</li> </ul>
しない	リモートフラッシュの制御を行いません。

### 🖉 WR-R10について

- カメラに装着するには、WR用変換アダプター WR-A10が必要です。
- 電波制御アドバンストワイヤレスライティングを行うためには、別売のワイヤレスリモートコントローラーWR-R10のファームウェアを最新版にバージョンアップしてお使いください。ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページでご確認ください。

### ■ 増灯発光モード

フラッシュの増灯発光モードを設定できま す。選んだ項目によって「増灯発光モード」 の下に表示されるメニュー項目が変更され、 それぞれの増灯発光モードでの設定が変更で きます。



グループ発光	グループごとに発光モードを設定できます。 • [グループ発光設定] で各グループの発光モードおよび補正量 を設定できます。光制御の場合は、リモートフラッシュと通信 を行うためのマスターフラッシュのチャンネルを設定します。
クイック ワイヤレス	<ul> <li>リモートフラッシュのAグループとBグループの光量比とCグループの発光量を入力することで、全体の発光量を設定できます。</li> <li>マグループはマニュアル発光のみ使用できます。</li> <li>マスターフラッシュは発光しません。</li> <li>[クイックワイヤレス発光設定] でAグループとBグループの光量比、調光補正、Cグループの発光量を設定できます。光制御の場合は、リモートフラッシュと通信を行うためのマスターフラッシュのチャンネルを設定します。</li> </ul>
増灯 リピーティング 発光	<ul> <li>1回の露光中に、増灯したスピードライトを連続発光させて、被 写体の連続的な動きを多重露出のように写し込みます。</li> <li>「増灯リビーティング発光設定」で発光量、回数、周波数を設 定できます。光制御の場合は、リモートフラッシュと通信を 行うためのマスターフラッシュのチャンネルを設定します。</li> <li>最大連続発光回数は「発光量」と「周波数」の組み合わせに より異なります。詳しくはご使用のスピードライトの使用説 明書をご覧ください。</li> </ul>

### ■ 電波リモートフラッシュ情報

[ワイヤレス設定]で[電波制御AWL]が選ばれている場合、現在電波制御で接続されているスピードライトの情報を表示します。

	フラッシュ発光 電波リモートフラッ	ッシュ情報
	A SB-5000 💈	
0		
$\frac{1}{-1}$		
		<b>013</b> 確認終了



#### MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

撮像範囲を[**DX(24×16)**] (DXフォーマット)または[**1.3×(18×12)**] (対DX 1.3×クロップ) のいずれかに変更できます。

DX (24×16)	23.5×15.7mmの撮像範囲で画像を記録します(DX	
	DA (24×10)	フォーマット)。
🖼 1.3×		18.0×12.0mmで画像を記録します。撮像範囲が [DX
	1 2 (10 1 1 2)	(24×16)]の場合と比べ、記録する撮像範囲が狭くな
	1.3^ (10^12)	り、レンズを交換しなくても望遠レンズで撮影したとき
		と同様の効果があります。

# 画質モード

#### MENUボタン → < ● 静止画撮影メニュ-

画像を記録するときの画質モードを設定できます。

画質モート	×	ファイル形式	内容
RAW		NEF	撮像素子の生データを未現像の状態で記録します。撮影時に設定したホワイトバランスやコントラストなどを、撮影後に変更できます。
RAW+FINE RAW+FIN	i★/ IE		RAWとJPEG (FINE) の2種類の画像を同 時に記録します。
RAW+NORMAL★/ RAW+NORMAL RAW+BASIC★/ RAW+BASIC		NEF + JPEG	RAWとJPEG (NORMAL) の2種類の画像 を同時に記録します。
			RAWとJPEG (BASIC) の2種類の画像を同 時に記録します。
FINE★/FINE	高个		画像データを約1/4に圧縮して記録します (サイズ優先時)。
NORMAL★/ NORMAL	画質	JPEG	画像データを約1/8に圧縮して記録します (サイズ優先時)。
BASIC★/ BASIC	↓ 低		画像データを約1/16に圧縮して記録しま す(サイズ優先時)。
TIFF (RGB)		TIFF (RGB)	画像を8ビット非圧縮のTIFF-RGB形式で 記録します。多くの画像アプリケーション で使用できます。

### ☑ JPEG画像の圧縮方式について

JPEG画像は★の有無によって圧縮方式が異なります。

- ★がある項目は画質優先となり、画質の劣化を抑えて圧縮します。画像によってファイルサイズは異なります。
- ★がない項目はサイズ優先となり、ファイルサイズがほぼ一定になるように圧縮します。

画像サイズ

MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

画像を記録するときの画像サイズ(大きさ)を設定できます。[JPEG/ TIFF]ではJPEGまたはTIFFの画像サイズ、[RAW]ではRAWの画像サイ ズを設定できます。画像サイズは撮像範囲との組み合わせで変わります。

撮像範囲設定	画像サイズ
	L (5568×3712ピクセル)
DX (24×16)	M (4176×2784ピクセル)
	S (2784×1856ピクセル)
	L (4272×2848ピクセル)
1.3× (18×12)	M (3200×2136ピクセル)
	S (2128×1424ピクセル)

RAW記録

MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

RAW 画像を記録するときの圧縮方法および記録ビットモードを設定できます。

### ■ 圧縮方式

ON₹	ロスレス 圧縮RAW	可逆圧縮します(データを完全に復元できます)。[ <b>非圧縮</b> RAW]に対してファイルサイズが約60~80%になります。 記録した画像は [ <b>非圧縮RAW</b> ] と同等の画質になります。
ONŸ	圧縮RAW	非可逆圧縮します (データは完全には復元できません)。[ <b>非</b> 圧縮RAW] に対してファイルサイズが約45~65%になりま す。非可逆圧縮ですが、記録した画像は[ <b>非圧縮RAW</b> ] と ほぼ同等の画質になります。
	非圧縮RAW	圧縮しないため、[ <b>ロスレス圧縮RAW</b> ] や [ <b>圧縮RAW</b> ] に 比べ、ファイルサイズが大きくなります。

### ■記録ビットモード

12-bit 12ビット記録	RAW画像を12ビットで記録します。
<b>14-bit</b> 14ビット記録	RAW画像を14ビットで記録します。[ <b>12ビット記録</b> ] の場 合よりもさらに豊かな階調表現になります。画像のファイ ルサイズは [ <b>12ビット記録</b> ] よりも大きくなります。

ISO感度設定

#### MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

静止画撮影時のISO感度に関する設定ができます。

ISO感度	ISO 100~51200から設定できます。また、ISO 100から約0.3段~約1段の範囲での減感と、ISO 51200から約0.3段~約5段の範囲での増感ができます。
	[する]を選んで@ボタンを押すと、カメラが自動的にISO感度を
	変更するようになります。[しない]を選ぶと、[ISO感度]で設
	定したISO感度に固定されます。
	• [する] を選んだ場合、[制御上限感度] または [4 使用時の制
咸安白新圳沟	御上限感度]でISO感度が高くなりすぎないように制御上限感
您反日到利仰	度を、[低速限界設定] で露出モードPまたはAのときの感度自
	動制御が働き始めるシャッタースピード(1/4000~30秒)を
	設定できます。
	• [4使用時の制御上限感度] では、別売スピードライトを使用し
	た場合の上限感度を設定できます。

ホワイトバランス

MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

#### 光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定します。

ホワイトバランス		内容
AUTO オート		AUTO(オート)で充分な効果を得るには、G、E
	AUTO0 白を優先する	またはDタイプレンズをお使いになることをお
	AUTO1 標準	すすめします。また、別売のスピードライトの
	AUTO2 電球色を残す	使用時は、フラッシュ発光時の条件に応じて適したホワイトバランスに調整されます。
☀	 電球	白熱電球下での撮影に適しています。
—————————————————————————————————————		蛍光灯など、次の7種類の光源を使った撮影に適 しています。
	ナトリウム灯混合光	野球場、体育館などのナトリウム灯の混合光を 使った撮影に適しています。
	電球色蛍光灯	電球色蛍光灯下での撮影に適しています。
	温白色蛍光灯	温白色蛍光灯下での撮影に適しています。
	白色蛍光灯	白色蛍光灯下での撮影に適しています。
	昼白色蛍光灯	昼白色蛍光灯下での撮影に適しています。
	昼光色蛍光灯	昼光色蛍光灯下での撮影に適しています。
	高色温度の水銀灯	高色温度の水銀灯などを使った撮影に適してい ます。
☀	晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
4	フラッシュ	別売のスピードライトを使って撮影する場合に 適しています。
2	曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
	晴天日陰	晴天の日陰での撮影に適しています。
К	色温度設定	色温度を直接指定できます。
PRE	プリセットマニュアル	撮影者が被写体や光源を基準にホワイトバラン スを合わせたり、メモリーカード内の画像と同 じホワイトバランスで撮影したりできます。

ピクチャーコントロール

MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

記録する画像の仕上がり(ピクチャーコントロール)を、撮影シーンや 好みに合わせて選べます。

四SD スタンダード	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。 • ほとんどの撮影状況に適しています。
⊠NL ニュートラル	素材性を重視した自然な画像になります。 • 撮影した画像を調整、加工する場合に適しています。
四VI ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。 • 青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。
四MC モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
四PT ポートレート	人物の肌が滑らかで自然な画像になります。
巴LS 風景	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。
四FL フラット	シャドー部からハイライト部まで幅広く情報を保持した 画像になります。 • 撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適してい ます。

# カスタムピクチャーコントロール

MENUボタン → ● 静止画撮影メニュー

「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピク チャーコントロール」として登録できます。

編集と登録	カスタムピクチャーコントロールを登録または編集します。
登録名変更	登録したカスタムピクチャーコントロールの名前を変更します。
削除	登録したカスタムピクチャーコントロールを削除します。
メモリーカード を使用	登録したカスタムピクチャーコントロールをメモリーカードに 保存したり、メモリーカードに保存したカスタムピクチャーコ ントロールをカメラに登録できます。

### 色空間

MENUボタン → < ● 静止画撮影メニュ-

記録する画像の色空間を指定します(色空間とは、モニターやプリン ターで表現できる色の範囲のことです)。[sRGB] 色空間は、再生やプ リントなど、一般的な用途で画像を楽しむのに適しています。[Adobe RGB] 色空間は [sRGB] 色空間に比べて色域が広いため、商業印刷な どの業務用途に適しています。

#### 🚺 色空間についてのご注意

Capture NX-DまたはViewNX-iをお使いになると、正しい色空間での処理が自動的に行われます。他社製の画像閲覧用または画像編集用ソフトウェアを使うと、正しく色が表示されないことがあります。

#### 🖉 Adobe RGB色空間について

適切な色再現には、カラーマネージメント機能に対応したアプリケーション、モニター、プリンターなどの環境が必要です。

### アクティブD-ライティング

MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影 できます。

オート	撮影シーンに応じて自動的にアクティブD-ライティングの効果 の度合いを設定します。
より強め	効果の度合いは、強い順に [ <b>より強め</b> ] 、 <b>[強め</b> ] 、[ <b>標準</b> ] 、[ <b>弱</b> め] から選択できます。
強め	
標準	
弱め	
しない	アクティブD-ライティングを設定しません。

# 長秒時ノイズ低減

#### MENUボタン → ●静止画撮影メニュ-

低速シャッタースピードになったときに発生するノイズ(むら、輝点) を低減します。

する	シャッタースピードが1秒より低速になった場合に、 低減処理を行います。	長秒時ノイズの
しない	長秒時ノイズの低減処理を行いません。	

長秒時ノイズ低減処理は、撮影後に行われ ます。処理中は、表示パネルとファインダー 内表示に**Jobnr**が点滅します。この表示 が消えるまで、撮影はできません。長秒時 ノイズの低減処理を行う場合、画像を記録 するまでの時間は、長秒時ノイズ低減を行 わない場合の約2倍になります。



### ▼ 長秒時ノイズ低減についてのご注意

- 連続撮影速度は遅くなり、連続撮影可能コマ数も少なくなります。
- 処理中に電源をOFFにすると、処理は行われず、長秒時ノイズの低減処理を行う前の画像が保存されます。

# 高感度ノイズ低減 MENUボタン→ Φ静止画撮影メニュー

静止画撮影時に、感度が高くなるほど発生しやすいノイズ(ざらつき) を低減します。

強め	全てのISO感度で高感度ノイズの低減処理を行います。ISO感度が高
標準	くなるほど効果的です。
弱め	• ノイズ低減の効果は、強い順に [ <b>強め</b> ]、[ <b>標準</b> ]、[ <b>弱め</b> ] になります。
しない	ノイズが発生しやすい条件で撮影する場合のみ、ノイズ低減処理を行い
	より。この場合のノイス低減効果は「動の」よりもさらに弱くなります。

### ヴィネットコントロール

MENUボタン → ●静止画撮影メニュ-

ヴィネットコントロールは、レンズの特性による周辺光量の低下をレ ンズに応じて軽減します。特に開放絞り側で撮影した場合に効果的で す。Gタイプ、Eタイプ、Dタイプレンズを装着しているときのみ機能 します(PCレンズを除く)。

$\Box H$	強め		
$\Box$ N	標準	効果が強い順に、[ <b>強め</b> ]、[ <b>標準</b> ]、[ <b>弱め</b> ]になります。	
	弱め		
	しない	周辺光量の低下を補正しません。	

### 🚺 ヴィネットコントロールについてのご注意

- •次の場合、ヴィネットコントロールの効果は適用されません。
  - -静止画撮影メニューの [多重露出] (□57)を設定しているとき
  - 動画撮影時
- TIFFおよびJPEG画像の場合、使用するレンズ、撮影条件や撮影シーンの組み 合わせによっては、周辺光量が過剰に補正されて画像周辺部が明るくなること や補正が不足して暗くなること、画像にノイズ(むら)が発生することがあり ます。また、調整したピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコント ロールを設定している場合も、適切な補正ができない場合があります。試し撮 りをして、撮影状況に適した設定を選ぶことをおすすめします。

# 自動ゆがみ補正

#### MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

[する] にすると、広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ 使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。

[自動ゆがみ補正]は、Gタイプ、Eタイプ、Dタイプレンズを装着した場合のみ機能します。ただし、PCレンズ、フィッシュアイレンズ、その他一部のレンズを装着した場合は機能しません。また、対応レンズ以外を装着した場合については、動作を保証しません。

#### 🖉 自動ゆがみ補正についてのご注意

- [する] の場合、シャッターをきってから、記録が始まるまで時間がかかる場合があります。
- ゆがみを大きく補正するほど、画像周辺部は切り取られます。
- 動画撮影時は、自動ゆがみ補正の効果は適用されません。

#### 🖉 関連ページ

撮影した画像のゆがみを補正する → 【 [ゆがみ補正] (□ 171)

# フリッカー低減

#### MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

ファインダー撮影時に、蛍光灯や水銀灯などの光源下で生じるちらつき や横縞(フリッカー現象)の影響を低減する、フリッカー低減機能に関 する設定ができます。

フリッカー低減機能	<ul> <li>[有効] にすると、「フリッカー現象」の影響が少ない タイミングで撮影できます。</li> <li>(有効) に設定した場合、連続撮影速度が遅くなるこ とがあります。</li> </ul>
フリッカー検出の表示	[する] に設定すると、フリッカーを検出しているとき にシャッターボタンを半押しした場合、ファインダー内 にFLICKERアイコンが点灯します。FLICKERアイコンが点 滅した場合は [フリッカー低減機能] の設定が [無効] になっています。フリッカー現象を低減したい場合は、 [フリッカー低減機能] を [有効] に設定してください。

### オートブラケティングのセット

MENUボタン → △静止画撮影メニュー

オートブラケティングの種類を設定できます。

AE≯	AE・フラッシュ ブラケティング	露出値(AE)とフラッシュの発光量を変えながら撮 影します。
AE	AEブラケティング	露出値を変えながら撮影します。
\$	フラッシュ ブラケティング	フラッシュの発光量を変えながら撮影します。
WB	WBブラケティング	1回の撮影でホワイトバランス(WB)を変えた画像 を記録します。複数の光源が混在しているなど、ホ ワイトバランスを決めにくいときや、微妙な白の色 みを好みで選びたいときなどに便利です。RAW画像 を含む画質モードを設定したときは、WB ブラケ ティングは使用できません。
et.	ADLブラケティング	アクティブD-ライティングの効果の度合いを変えな がら撮影します。

多重露出

MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

2~10コマのRAWデータを重ねて写し込み、1つの画像として記録します。

多重露出モード	<ul> <li>する(連続):解除するまで連続して多重露出撮影します。多 重露出撮影を解除するには、もう一度[多重露出モード]を 選んで[しない]に設定してください。</li> <li>する(1回):多重露出撮影を終了すると、多重露出が解除さ れます。</li> <li>しない:多重露出撮影を解除します。</li> </ul>
コマ数	コマ数(露光回数)を設定します。
合成モード	<ul> <li>加算:全ての露光結果をそのまま重ね合わせます。</li> <li>加算平均:重ね合わせた画像の露出が適正になるように、露光回数に合わせて自動的にゲイン(出力)を補正します。</li> <li>各コマのゲインは、「1÷露光回数」となります。たとえば、露光回数が「2コマ」の場合は1/2、「3コマ」の場合は1/3になります。</li> <li>比較明合成:撮影した各画像を比較し、最も明るい部分を選択して合成します。</li> <li>比較暗合成:撮影した各画像を比較し、最も暗い部分を選択して合成します。</li> </ul>

# HDR (ハイダイナミックレンジ)

MENUボタン → ●静止画撮影メニュー

1回の撮影で露出が異なる画像を2コマ撮影して合成することにより、輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像を記録します。

HDRモード	<ul> <li>する(連続):解除するまで連続して HDR 撮影します。HDR モードを解除するには、もう一度[HDRモード]を選んで [しない]に設定してください。</li> <li>する(1回):1回撮影を終了すると、HDRモードが解除されます。</li> <li>しない:HDRモードを解除します。</li> </ul>
露出差	合成する2コマの露出差を設定できます。露出差が大きいほど、 階調の幅が広がります。[オート] に設定すると、撮影シーンに 応じて自動的に露出差を設定します。
スムージング	合成する2コマの境界のなめらかさを設定できます。



設定した撮影間隔(インターバル)と撮影回数で自動的に撮影するイン ターバルタイマー撮影を行えます。インターバルタイマー撮影は、レ リーズモードをS、CL、CH、Q、QCまたはMUPに設定して行ってくだ さい。

撮影開始	インターバルタイマー撮影を開始します。[開始方法の設定]で [即時スタート]を選んでいる場合は約3秒後に撮影を開始し、 [開始日時設定]を選んでいる場合は設定した日時に撮影を開始 します。撮影は、設定した撮影間隔とコマ数で繰り返されます。
開始方法の設定	インターバルタイマー撮影の開始方法を設定します。インター バルタイマー撮影をすぐに開始する場合は [ <b>即時スタート</b> ] を、 開始日時を設定する場合は [ <b>開始日時設定</b> ] を選びます。
撮影間隔	撮影間隔(時、分、秒)を設定します。
撮影回数× 1回のコマ数	撮影回数と1回で撮影するコマ数を設定します。
露出平滑化	[する] を選ぶと、1コマ前に撮影した静止画と大きく明るさが 変化しないようにカメラが自動で露出を調整します。ただし、 露出モードMで静止画撮影メニュー [ISO感度設定](ロ49)の [感度自動制御]が[しない]の場合、露出の平滑化は行いません。



MENUボタンを押して、タブの「東アイコンを選ぶと、動画撮影メニュー が表示されます。



動画撮影メニューの項目は次の通りです。

メニュー項目		メニュー項目	
動画撮影メニューのリセット	61	カスタムピクチャーコントロール	64
ファイル名設定	61	アクティブD-ライティング	64
動画記録先	61	高感度ノイズ低減	65
撮像範囲設定	61	フリッカー低減	65
画像サイズ/フレームレート	62	マイク感度	66
動画の画質	62	録音帯域	67
ISO感度設定	63	風切り音低減	67
ホワイトバランス	64	微速度撮影	68
ピクチャーコントロール	64	電子手ブレ補正	68

#### 🖉 関連ページ

「動画撮影メニューの初期設定」(□12)

### 動画撮影メニューのリセット

MENUボタン → 県動画撮影メニュ-

[する] を選んで⊗ボタンを押すと、動画撮影メニューをリセットして 初期設定に戻します(□12)。

# ファイル名設定

MENUボタン → 県動画撮影メニュー

このカメラで撮影した動画のファイル名DSC\_nnnn.movの「DSC」の 3文字を任意に変更できます(ロ38)。



選んだファイル記録先のメモリーカードの
 残量がなくなると、撮影は自動的に終了します。

# 撮像範囲設定

MENUボタン → 県動画撮影メニュー

動画撮影時の撮像範囲を [**DX**] (DXフォーマット) または [**1.3×**] (対 DX 1.3×クロップ) のいずれかに変更できます。

### 画像サイズ/フレームレート

MENUボタン → **慄**動画撮影メニュ-

動画を記録するときの画像サイズ (ピクセル) とフレームレートを設定 します。

	「画像サイズ/フレームレート] *1	最大ビットレート ([動画の画質] *2: ★高画質/標準)	最長記録時間
2160 21	3840×2160(4KUHD)30p*3		
2160	3840×2160 (4K UHD) 25p *3	144Mbps	
2160	3840×2160(4KUHD)24p*3	-	
1080 P* / 1080 P	1920×1080 60p	48Mbps/24Mbps	
1080 pt / 1080 p	1920×1080 50p	40101045/24101045	20公50秒※4
1080 P* / 1080 P	1920×1080 30p		29755919
1080 P# / 1080 P	1920×1080 25p		
1080 P* / 1080 P	1920×1080 24p	24Mbps/12Mbps	
720 50/720 50	1280×720 60p		
720 pm/720 pm	1280×720 50p	]	

※1 60p:59.94コマ/秒 (fps)、50p:50コマ/秒、30p:29.97コマ/秒、 25p:25コマ/秒、24p:23.976コマ/秒

※2 [動画の画質] が高画質の場合は、アイコンに★が表示されます。画像サイズ を3840×2160に設定した場合は、常に高画質で記録されます。

- ※3 画像サイズを3840×2160に設定した場合は四が表示されます。
- ※4 動画は最大8個のファイルに分割されて記録されます。各ファイルのファイル サイズは最大で4GBです。1回の撮影で作成されるファイルの数と1ファイル あたりの記録時間は[画像サイズ/フレームレート]および[動画の画質]の 設定によって異なります。

動画の画質

MENUボタン → 県動画撮影メニュー

動画の画質を高画質と標準から選べます。

### ISO感度設定

MENUボタン → **県**動画撮影メニュ-

動画撮影時のISO感度に関する設定ができます。



Mモード時の	露出モードMでの動画撮影時のISO感度(100~Hi 5)を設定で
ISO感度設定	きます。
Mモード時の 感度自動制御	[する]を選ぶと、露出モードがMのときもカメラが自動的に動 画撮影時のISO感度を変更します。[しない]を選ぶと、露出モー ドがMのときに、[Mモード時のISO感度設定]で設定したISO感 度に固定されます。
	・感度自動制御するときに ISO 感度が高くなりすぎないように、 上限感度(200~Hi 5)を設定できます。
制御上限感度	• 露出モードかP、S、またはAの場合と、露出モードMで [Mモー ド時の感度自動制御] が [する] の場合は、ここで設定した感 度が自動制御の上限になります。

### 🖉 感度自動制御についてのご注意

- ISO感度が上がると、被写体によっては、ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が 発生することがあります。
- ISO感度が上がると、ピントが合いにくくなることがあります。
- 上記の現象が発生する場合は、[ISO 感度設定]の[制御上限感度]を下げて 撮影してください。

# ホワイトバランス

動画撮影時のホワイトバランスを設定できま す。[静止画の設定と同じ]を選ぶと、静止画 撮影時と同じ設定になります(ロ50)。 ホワイト/5シス
 G3 静止面の設定と同じ
 MT06 オート
 米 電政
 業 電政
 業 構築
 業 調天
 重
 電気
 電気

# ピクチャーコントロール

MENUボタン → **県**動画撮影メニュ-

MENUボタン → **慄**動画撮影メニュ-

動画撮影時のピクチャーコントロールを設定 できます。[**静止画の設定と同じ**]を選ぶと、 静止画撮影時と同じ設定になります(ロ51)。



カスタムピクチャーコントロール

MENUボタン → 県動画撮影メニュ-

「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピク チャーコントロール」として登録できます(四51)。

# アクティブD-ライティング

MENUボタン → **慄**動画撮影メニュ-

動画撮影時のアクティブD-ライティングを設 定できます。[静止画の設定と同じ]を選ぶ と、静止画撮影時と同じ設定になります (ロ52)。



高感度ノイズ低減

#### MENUボタン → **慄**動画撮影メニュ-

動画の撮影時に、ISO感度が高くなるほど発生しやすいノイズ(ざらつ き)を低減します(口 53)。

# フリッカー低減

#### MENUボタン → 県動画撮影メニュ-

ライブビュー表示中や動画記録中に、蛍光灯や水銀灯などの光源下で画 面に生じるちらつきや横縞(フリッカー現象)を低減できます。通常は カメラが自動的に電源周波数を選ぶ [オート]をお使いください。[オー ト]にしていても、フリッカー低減効果が得られない場合は、お使いの 地域の電源周波数に応じて、[50 Hz]と[60 Hz]から選びます。東日 本など電源周波数が50 Hzの地域では [50 Hz]を選び、西日本など電 源周波数が60 Hzの地域では [60 Hz]を選んでください。

#### ▼ 動画撮影メニュー [フリッカー低減] についてのご注意

- [オート] に設定してもフリッカー低減効果が得られない場合や電源周波数が わからない場合は、設定を切り換えて試し撮りをすることをおすすめします。
- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。
   絞りを絞り込んで(より大きい数値にして)ください。
- 露出モードがM以外の場合、設定したシャッタースピードが必ずしも反映されないため、フリッカー低減できるシャッタースピードに設定しても、フリッカー低減効果が得られないことがあります。そのような場合は、露出モードをMに設定し、シャッタースピードを次の値にすることで、フリッカー現象を低減できます。

- 電源周波数が50Hzの場合: 1/100秒、1/50秒、1/25秒

- 電源周波数が60Hzの場合: 1/125秒、1/60秒、1/30秒

マイク感度

MENUボタン → 県動画撮影メニュー

内蔵マイクまたは外部マイク(凹208)の感度の程度を設定します。

マイク感度 オート(A)	カメラが自動的にマイク感度を調整します。				
マイク感度 マニュアル	マイク感度を手動調整し ます。[1] ~ [20] の調 整ができます。数字が大 きいほど感度が高く、小 さいほど低くなります。				
録音しない	音声は記録しません。				

 愛 音声が記録されていない動画の表示について [マイク感度] を [録音しない] にして撮影した動 画の場合、1コマ表示モード時と再生中に図(音 声なしマーク)が表示されます。



66 メニューガイド

### 録音帯域

MENUボタン → 県動画撮影メニュー

内蔵マイクまたは外部マイク(ロ208)の周波数特性を設定します。

₩IDE 広帯域	低音域から高音域まで録音します。楽器演奏や街のざわめき の録音など、幅広いシーンに適しています。
₩VOICE 音声带	域 主に人の声を録音したいときに適しています。

### 風切り音低減

MENUボタン → **県**動画撮影メニュ-

[する]を選ぶと、ローカットフィルター機能により、内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録できます。ただし、風切り音以外の音も聞こえにくくなることがあります。

別売のステレオマイクロホン(□208)をお使いの場合は、カメラ側で
 「風切り音低減]を[する]に設定しても風切り音は低減されません。風切り音低減機能のあるステレオマイクロホンをお使いの場合は、ステレオマイクロホン側で設定してください。

微速度撮影

MENUボタン → **県**動画撮影メニュー

設定した撮影間隔で自動的に撮影を行い、撮影した静止画をつないで動 画として記録できます。撮影する静止画は、動画と同じ撮像範囲(ロ61) で記録されます。また、記録される動画のフレームレートは動画撮影メ ニューの[**画像サイズ/フレームレート**](□62)で設定できます。

撮影開始	微速度撮影を開始します。約3秒後に撮影を開始し、設定した [ <b>撮影時間</b> ] 内に設定した [ <b>撮影間隔</b> ] で撮影を繰り返します。
撮影間隔	撮影間隔(分、秒)を設定します。
撮影時間	撮影時間(時、分)を設定します。
露出平滑化	[する]を選ぶと、明るさの変化が滑らかになり、より自然な動 画を記録します。ただし、露出モードMで静止画撮影メニュー [ISO感度設定](□249)の[感度自動制御]が[しない]の場 合、露出の平滑化は行いません。

### 電子手ブレ補正

MENUボタン → 県動画撮影メニュ-

動画記録時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。





カメラの各種設定を撮影者の好み に合わせて変更できます。カスタ ムメニュー画面は、2つの階層で 構成されています。 <第2階層>

モード時の優先

AF-Sモード時の優先 AFロックオン



カスタムメニューの項目は次の通りです。\*1

		メニュー項目	$\square$		
ナ	コスタ	ムメニューの管理	72		
а	オー	トフォーカス			
	a1	AF-Cモード時の優先	73		
	a2	AF-Sモード時の優先	74		
	a3	AFロックオン	75		
	a4	3D-トラッキングの顔認識	76		
	a5	3D-トラッキングの捕捉 領域	76		
	аб	AF点数切り換え	76		
	a7	縦/横位置フォーカス切換	77		
	a8	半押しAFレンズ駆動	78		
	a9	AFエリアモードの限定	79		
	a10	10 AFモードの制限			
	a11	フォーカスポイント循環 選択	80		
	a12	フォーカスポイント表示 の設定	80		
	a13	AF設定時のフォーカス リング操作* <sup>2</sup>	81		
b	露出	・測光			
	b1	ISO感度設定ステップ幅	82		
	b2	露出設定ステップ幅	82		
	b3	露出・調光補正ステップ幅	82		
	b4	露出補正簡易設定	83		
	b5	マルチパターン測光	84		
	b6	中央部重点測光範囲	84		
	b7	基準露出レベルの調節	85		

		メニュー項目	$\square$
с	AEC	コック・タイマー	
	с1	シャッターボタンAEロック	86
	c2	半押しタイマー	86
	c3	セルフタイマー	87
	c4	モニターのパワーオフ時間	87
d	撮影	・記録・表示	
	d1	低速連続撮影速度	88
	d2	連続撮影コマ数	88
	d3	ISO感度表示	88
	d4	連動レリーズモード設定	89
	d5	露出ディレーモード	89
	d6	電子先幕シャッター	89
	d7	連番モード	90
	d8	ファインダー内格子線表示	91
	d9	イルミネーター点灯	91
	d10	光学手ブレ補正*2	92
e	フラ	ッシュ・BKT撮影	
	e1	フラッシュ撮影同調速度	93
	e2	フラッシュ時シャッター	04
		スピード制限	74
	e3	フラッシュ使用時の露出	94
		補正	74
	e4	↓使用時の感度自動制御	95
	e5	モデリング発光	95
	еб	BKT変化要素(Mモード)	96
	e7	BKTの順序	97

		メニュー項目	m			メニュー項目	
f 操作					f6	ボタンのホールド設定	116
	f1	カスタムボタンの機能	98		f7	インジケーターの+/-方向	116
	f2	中央ボタンの機能	110		f8	ライブビューボタンの設定	117
	f3	シャッタースピードと	112		f9	☀スイッチの機能	117
		絞り値のロック	112		f10	MB-D17のボタンの機能	118
f4		コマンドダイヤルの設定	112	g	動画	Ī	
	f5	f5 マルチセレクターの 116		g1	カスタムボタンの機能	121	
		半押し起動	110	_			

※1 設定内容が初期設定と異なる場合、変更されたメニュー項目の左上にアスタリスク(★)を表示します。

※2 このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

#### 🖉 関連ページ

「カスタムメニューの初期設定」(□13)

### カスタムメニューの管理

カメラは、カスタムメニューの設定内容を、「A」、「B」、「C」、「D」の4 通り記憶できます。それぞれのカスタムメニューで設定した内容は、他 のカスタムメニューには反映されません。

[カスタムメニューの管理] で「A」、「B」、「C」、「D」のいずれかを選んでからカスタムメニューの設定を変更すると、カメラが設定内容を記憶します。記憶した設定内容は、設定時のカスタムメニューを選び直すことで呼び出せます。

### ■ 名前編集

カスタムメニュー「A」~「D」の名前を編集するには、名前を変更した いカスタムメニューを選んでマルチセレクターの③を押します。名前は 20文字まで入力できます。入力画面での文字の入力方法については、「入 力画面の操作方法について」(□39)をご覧ください。

### ■ カスタムメニューのリセット

カスタムメニュー「A」~「D」を個別にリ セットできます。リセットしたいカスタムメ ニューを選んで**旬**(���)ボタンを押すと、確 認画面が表示されます。[**はい**]を選んで**®**ボ タンを押すと、選んだカスタムメニューの設 定をリセットして初期設定に戻します (□13)。




# a:オートフォーカス

## a1:AF-Cモード時の優先

ファインダー撮影時のAFモードが**AF-C**のときにシャッターボタンを押した場合の動作を設定できます。

۲	レリーズ	ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることが できます。
	フォーカス/ レリーズ	撮影優先でシャッターをきることができますが、低コントラ スト・低輝度の被写体を連続撮影するとき、1コマ目は撮影 タイミングよりピント合わせを優先します。2コマ目以降は ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることが できます。連続撮影時に1コマ目のピント状態を優先したい ときにお使いください。
<b>e</b> [!]	レリーズ/ フォーカス	ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることが できますが、低コントラスト・低輝度の被写体を連続撮影す るときは、連続撮影速度を落としてピント合わせを行いま す。連続撮影速度よりもピント合わせを優先したいときにお 使いください。
[::::]	フォーカス	ピントが合うまで、シャッターボタンを全押ししてもシャッ ターをきることができません。

AFモードがAF-Cのときは、[AF-Cモード時の優先]の設定にかかわらず、ピント表示(●)が点灯してもフォーカスロックは行われず、シャッターをきるまでピント合わせの動作を続けます。

### a2:AF-Sモード時の優先

ファインダー撮影時のAFモードがAF-Sのときにシャッターボタンを押した場合の動作を設定できます。

۲	レリーズ	ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることがで きます。
[::::]	フォーカス	ピントが合うまで、シャッターボタンを全押ししてもシャッ ターをきることができません。

AFモードがAF-Sのときは、[AF-Sモード時の優先]の設定にかかわらず、ピント表示(●)が点灯した状態でシャッターボタンの半押しを続けると、シャッターをきるまでフォーカスロックが行われます。

# a3:AFロックオン MENUボタン → ♪カスタムメニュー ファインダー撮影時のAFモードがAF-Cのとき のピント合わせの動作について設定できます。



## ■ 横切りへの反応

5(鈍感)	カメラと被写体の間を障害物や別の被写体が横切った場合のピント
4	動作を設定できます。
3	• [5 (鈍感)] に設定すると、元の被写体からピントが外れにくくな
2	●「 <b>1(敏感)</b> 〕に設定すると、横切った被写体にピントが合いやすく
1(敏感)	なります。

AFエリアモードが3D-トラッキングまたはオートエリアAFの場合は、
 [2]、[1(敏感)]に設定していても、[3]を選んだときと同じ動作になります。

### ■ 被写体の動き

[スムーズ] に設定すると、一定のスピードの被写体を撮影する場合に ピントが不安定になることを防ぎます。[ランダム] に設定すると、動 作の速度が急激に変わるような被写体を撮影する場合にピント合わせ の追従性が向上します。

## a4:3D-トラッキングの顔認識

AFエリアモードが3D-トラッキングの場合、カメラが人物の顔を認識したときに顔にピントを合わせるかどうかを選べます。

# a5:3D-トラッキングの捕捉領域 MENUボタン・タクカスタムメニュー

AFエリアモードが3D-トラッキングの場合に、半押ししたときに記憶す る被写体情報の捕捉領域を設定できます。

	選択したフォーカスポイントから被写体が少し外れても、周辺の
広い	情報を使用して被写体を捉えます。被写体の動きが速い場合に便
	利です。
插准	選択したフォーカスポイント付近の情報を使用して被写体を捉え
惊华	ます。

## a6:AF点数切り換え

MENUボタン → ↓ カスタムメニュー

手動で選べるフォーカスポイントの数を設定できます。

AF33 55 局 55				
15 AF15 15点 フ た	5 点のフォーカスポイントから選べます。 7ォーカスポイントの位置をすばやく動かし -いときに便利です。			

## a7:縦/横位置フォーカス切換

MENUボタン → ↓カスタムメニュ-

カメラを正位置(横位置)にしたときと、時計回りの縦位置と反時計回 りの縦位置にしたときで個別にフォーカスポイントとAFエリアモード を設定できます。

• [**しない**] に設定した場合、横位置と縦位置で同じフォーカスポイン トを使います。



[フォーカスポイント]に設定すると、横位置と縦位置で個別にフォーカスポイントを設定できます。[フォーカスポイントとAFエリアモード]に設定した場合、フォーカスポイントに加えてAFエリアモードも個別に設定できます。



77

## a8:半押しAFレンズ駆動

シャッターボタンを半押ししたときに、ピント合わせをするかどうかを 設定できます。

する	シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行います。
しない	シャッターボタンを半押ししてもピント合わせを行いません。

• [しない] を選んでマルチセレクターの ④ を押すと、[非合焦時のレ リーズ] を設定できます。

許可	ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることができます。
	<ul> <li>次の場合、ピントが合うまで、シャッターボタンを全押ししても シャッターをきることができません。</li> </ul>
	- a1 [ <b>AF-Cモード時の優先</b> ]を「フォーカス]に設定してAFTリ
**.1	アモードをオートエリアAF以外に設定したとき
禁止	- a2 [ <b>AF-Sモード時の優先</b> ]を[フォーカス]に設定してAFエリ
	アモードをオートエリアAF以外に設定したとき
	• AF-ON ボタンなどを使用してピントを合わせてからシャッターボタ
	ンを全押ししてください。

# a9:AFエリアモードの限定

AFモードボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回した場合に選べるAFエリアモードを設定できます。

 ・項目を選んでマルチセレクターの ③ を押す と、項目の左側のチェックボックスがオン☑ になります。もう一度 ④を押すと、チェック ボックスがオフ□になります。チェックボッ クスをオン☑にした項目のみ、サブコマンド ダイヤルで選べるようになります。



- ●ボタンを押すと、設定を完了します。
- [AFエリアモードの限定] ではファインダー撮影時のAFエリアモード を限定できます。ライブビュー時のAFエリアモードは限定しません。

### a10:AFモードの制限

ファインダー撮影時のAFモードを固定できます。[AF-S]または [AF-C]を選ぶと、AF モードボタンを押しながらメインコマンドダ イヤルを回してもAFモードは変わりません。

■ a0AFモードの制限 ■ ■ AF-S AF-C ■ ■ ■

## a11:フォーカスポイント循環選択

フォーカスポイントをマルチセレクターで選ぶときに、上下左右端で循 環するように設定できます。

[する]を選んだ場合、一番端のフォーカスポ イント(①)を選んでいるときに、さらにマ ルチセレクターを同方向(右図の場合は))

に押すと、反対側の端のフォーカスポイント(②)に移動します。

#### a12:フォーカスポイント表示の設定

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

ファインダー内のフォーカスポイントの表示に関する設定ができます。

#### ■ マニュアルフォーカス時の表示

[する] に設定すると、マニュアルフォーカスでの撮影時にフォーカス ポイントが常に点灯します。[しない] に設定すると、フォーカスポイ ントを移動したときのみ一瞬点灯します。

#### III ダイナミックAFモード時のアシスト表示

[する] に設定すると、ダイナミックAFモード時に自分で選んだフォー カスポイントと周辺のフォーカスポイントを同時に表示します。

### ■ グループエリアAFモード時の表示

グループエリアAFモード時の、ファインダー内のフォーカスポイント の見え方を選べます。

÷	フォーカスポイントを四角で表示します。		
		<u> </u>	
÷	フォーカスポイントを点で表示します。	<u></u>	
		<u> </u>	

#### ■ フォーカスポイント照明

ファインダー内のフォーカスポイントの照明方法を設定できます。

オート	被写体または背景が暗いときは、自動的にフォーカスポイントを赤 色に照明します。
する	被写体または背景の明るさにかかわらず常にフォーカスポイントが 赤色に照明します。背景が明るいときは、照明が見えづらい場合が あります。
しない	フォーカスポイントを照明しません。

#### a13:AF設定時のフォーカスリング操作

MENUボタン → ↓ カスタムメニュー

このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。[**有** 効] の場合は、オートフォーカス時にレンズのフォーカスリングを回す とマニュアルフォーカスに切り替わります(M/A (マニュアル優先オー トフォーカスモード))。[**無効**] の場合はフォーカスリングを回しても、 オートフォーカスからマニュアルフォーカスに切り替わりません。

[有効] を選び、オートフォーカス時にシャッターボタンを半押ししたままフォーカスリングを手で回転させると、マニュアルフォーカスでピントを調整できます。いったんシャッターボタンから指を放し、再度半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせます。

# b:露出・測光

### b1:ISO感度設定ステップ幅

ISO感度のステップ幅を設定できます。ISO感度のステップ幅を変更したとき、設定されているISO感度が変更後のステップ幅に存在しない場合は、最も近い値に変更されます。

# b2:露出設定ステップ幅

シャッタースピード、絞り値、およびオートブラケティング補正量のス テップ幅を設定できます。

# b3:露出・調光補正ステップ幅 MENUボタン→ *●*カスタムメニュー

露出補正時と調光補正時の補正量のステップ幅を設定できます。

# b4:露出補正簡易設定

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

図ボタンを使用せずに、コマンドダイヤルだけで露出補正できるように 設定を変更できます。

露出補正簡易設定を [する(自動リセット)]または [する] に設定すると、露出インジケーターの「0」が点滅します。

	コマンドダイヤルだけで露出補正値を設定できます。
する	• コマンドダイヤルだけを使って設定した露出補正値は、電源
(自動リセット)	をOFFにするか、半押しタイマーがオフになると、リセット
	されます。
	コマンドダイヤルだけで露出補正値を設定できます。
する	• 電源をOFFにしても、半押しタイマーがオフになっても、設
	定した露出補正値はリセットされません。
	☑ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回して露出
0/201	補正を設定します。

#### ☑ b4 [露出補正簡易設定] とf4 [メインとサブの入れ換え] の併用に ついて

[露出補正簡易設定] とカスタムメニューf4 [コマンドダイヤルの設定] (口112) の [メインとサブの入れ換え] との併用により、次の表で記載しているコマン ドダイヤルで露出補正ができるようになります。

		カスタムメニュー f4→メインとサブの入れ換え		
		しないする		
	P	サブコマンドダイヤル	サブコマンドダイヤル	
泰山工 に	S	サブコマンドダイヤル	メインコマンドダイヤル	
路山て一下	A	メインコマンドダイヤル	サブコマンドダイヤル	
	М	機能し	ません	

#### b5:マルチパターン測光

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

測光モードがマルチパターン測光の場合、カメラが人物の顔を認識した ときに顔の明るさに合わせて露出を決定するかどうかを選べます。この 設定は、ファインダー撮影時のみ有効です。

#### b6:中央部重点測光範囲

中央部重点測光は、ファインダー中央部を重点的に測光して、露出値を 決定します。中央部重点測光の範囲を変更できます。

非CPUレンズを装着しているときの測光範囲は、 *φ*8mm相当になります。

## b7:基準露出レベルの調節

適正露出の基準を撮影者の好みに合わせ、測 光モードごとに明るめ(+側)または暗め (-側)に調節できます。1/6段ステップ幅で ±1段の範囲で設定できます。初期設定は0 です。

▲	ь7基準露出レベルの調節		
Ċ			
	マルチパターン測光	0	Þ
	中央部重点測光	0	
<u> </u>	スポット測光	0	
	ハイライト重点測光	0	
?			

#### ▶ 基準露出レベルの調節について

- カスタムメニューb7 [基準露出レベルの調節]は、カスタムメニュー「A」~
   「D」ごとに設定します。カスタムメニューを切り換えるときは、カスタムメニュー b7の設定の違いにご注意ください。
- カスタムメニューb7 [基準露出レベルの調節] を0以外に設定しても、2マークは表示されませんのでご注意ください。設定した基準露出レベルは、カスタムメニューb7の画面でのみ確認できます。
- 基準露出レベルの調節の設定は、ツーボタンリセットでは解除できません。

# c:AEロック・タイマー

## c1:シャッターボタンAEロック

シャッターボタンを押してAEロックを行うかどうかを設定できます。

.±.ON	する(半押し)	シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行 います。
10N	する(連続撮影時)	シャッターボタンを半押ししたときにはAEロックを 行わず、全押ししたときにAEロックを行います。
	しない	シャッターボタンを押してもAEロックを行いません。

### c2:半押しタイマー

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

シャッターボタンを半押ししてから何も操作しないで一定時間が過ぎ ると、待機状態に入ります。この待機状態になるまでの時間を変更でき ます。

- 待機状態になると、表示パネルのシャッタースピードと絞り値の表示
   とファインダー内の表示が消灯します。
- 半押しタイマーを延長すると、バッテリーの消耗が早くなります。

#### c3:セルフタイマー

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

セルフタイマー撮影時にシャッターボタンを全押ししてからシャッ ターがきれるまでの時間と、撮影するコマ数、連続撮影するときの撮影 間隔を設定できます。

時間 シャッターがきれるまでの時間を選べます。		
撮影コマ数	マルチセレクターの ()または ()を押して、1 コマ~9 コマの 間で設定できます。	
連続撮影間隔	[撮影コマ数]を2コマ以上に設定した場合に連続撮影すると きの撮影間隔を選べます。	

c4:モニターのパワーオフ時間

画像モニターが自動的に消灯するまでの時間を変更できます。

- 「画像の再生」、「メニュー表示」、「インフォ画面表示」、「撮影直後の 画像確認」、「ライブビュー表示」で画像モニターが自動的に消灯する までの時間を個別に設定できます。
- 初期設定は、「画像の再生」と「インフォ画面表示」の場合は 10 秒、 [メニュー表示]は1分、「撮影直後の画像確認]は4秒、[ライブビュー表示]は10分です。
- 画像モニターの表示時間を延長すると、バッテリーの消耗が早くなります。

# d:撮影・記録・表示

#### d1:低速連続撮影速度

MENUボタン → ◆ カスタムメニュー

CL(低速連続撮影)時の連続撮影速度を、[9コマ/秒]~[1コマ/秒]の間で設定できます。

#### d2:連続撮影コマ数

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

連続撮影を最大何コマまで継続できるかを設定できます。マルチセレク ターの⇔または⇔を押して、1コマ~200コマの間で設定します。

 露出モードがSまたはMのときにシャッタースピードが4秒または4秒 よりも遅い場合は、連続撮影のコマ数は制限されません。

#### 🖉 連続撮影コマ数について

カスタムメニュー d2 [連続撮影コマ数] で設定するコマ数は、連続撮影を継続 できる最大のコマ数です。ただし、連続撮影速度を維持したまま連続撮影でき るコマ数には、画質モードなどによって上限があります。このコマ数を超える と「**厂00**」と表示され、連続撮影速度は低下します。

### d3:ISO感度表示

表示パネルとファインダー内の記録可能コマ数表示部に、ISO感度を表示するかどうかを設定できます。

### d4:連動レリーズモード設定

MENUボタン → ◆ カスタムメニュー

別売のワイヤレスリモートコントローラーを接続して連動レリーズモー ドに設定した場合に、マスターカメラのレリーズに連動してリモートカ メラをレリーズさせるかどうかを設定できます。

### d5:露出ディレーモード

顕微鏡撮影時などのカメラブレを最小限に抑えるため、シャッターボタ ンを押すと最初にミラーが作動し、約1~3秒後にシャッターがきれる ように変更できます。

#### d6:電子先幕シャッター

電子先幕シャッターを有効にするかどうかを設定できます。電子先幕 シャッターで撮影することにより、カメラブレを低減できます。電子先 幕シャッターで撮影するには、レリーズモードを**Mup**(ミラーアップ) に設定してください。

有効	電子先幕シャッターで撮影します。
無効	メカニカルシャッターで撮影します。

#### 🖉 電子先幕シャッターについて

- Gタイプ、Eタイプ、Dタイプ以外のレンズを装着していると、むら、すじなど が発生する場合があります。その場合は、[無効]に設定して撮影してください。
- MUP以外のレリーズモードの場合は、常にメカニカルシャッターで撮影します。
- 電子先幕シャッター使用時は、シャッタースピードの上限が1/2000秒、ISO感度の上限が51200に制限されます。

d7:連番モード

#### 

ファイル名に使われるファイル番号の連番について設定できます。

する	メモリーカードを交換したり、画像を記録するフォルダーを変更し ても、連番でファイル番号を付けます。複数のカードを使って撮影 してもファイル番号が重複しないため、撮影後の画像ファイルを管 理しやすくなります。
しない	メモリーカードや画像を記録するフォルダーを変更するたびに、 ファイル番号が「0001」に戻ります。画像を記録するフォルダー内 にすでに画像ファイルがある場合は、次の番号からファイル番号が 付きます。 ・連番モードを [ <b>する</b> ] から [ <b>しない</b> ] に変更しても、カメラはファ イル番号を記憶しています。次に [ <b>する</b> ] に切り換えたときは、以 前記憶した番号からの連番でファイル名が付きます。
リセット	[する] に設定したときのファイル番号をリセットします。リセット した後に撮影を行うと、現在選択中のフォルダーに画像ファイルが ない場合は0001から連番で画像が記録されます。すでにファイルが ある場合には、そのファイル番号の次の番号からファイル番号が付 きます。

#### 🜌 ファイル番号について

- ファイル番号が9999に達したときに撮影を行うと、自動的に新規フォルダー が作成され、ファイル番号が0001番に戻ります。
- フォルダー番号が 999 になるとカメラが自動的にフォルダーを作成できない ため、次のときに撮影ができなくなります。
  - フォルダー内のファイル数が999個に達したとき(動画撮影時は、フォルダー 内のファイル数が992以上になると撮影できない場合があります)
  - ファイル番号が 9999 に達したとき (動画撮影時は、フォルダー内の最後の ファイル番号が9992以降になると撮影できない場合があります) この場合は、カスタムメニュー d7 [連番モード]を [リセット] した後、メ モリーカードを初期化するか、交換してください。

#### ▼ フォルダーの自動作成について

- 撮影中に記録フォルダー内に999個のファイルが記録された場合、メモリーカード内に存在する最大フォルダー番号+1という番号のフォルダーを自動的に作成して、記録フォルダーとしてそのフォルダーを選びます。
- 撮影中にファイル番号が9999となった場合、メモリーカード内に存在する最大フォルダー番号+1の番号のフォルダーを自動的に作成して、記録フォルダーとしてそのフォルダーを選びます。

#### d8:ファインダー内格子線表示

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

ファインダー内に構図用格子線を表示するかしないかを設定できます。

# d9:イルミネーター点灯

表示パネルやボタンのイルミネーター(照明)点灯の設定を変更できます。

- [しない] に設定すると、電源スイッチを ※ に合わせたときだけイル ミネーターを点灯します。イルミネーター点灯中にシャッターボタン を半押しまたは全押しすると、イルミネーターは消灯します。
- [する] に設定すると、半押しタイマーの作動中にイルミネーターが点 灯します。ただし、バッテリーの消耗は早くなります。イルミネーター 点灯中にシャッターボタンを半押しまたは全押しすると、イルミネー ターは消灯しますが、シャッターボタンを放すと再度点灯します。



## d10:光学手ブレ補正

このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。[**す** る]を選ぶと、手ブレ補正機能がONになり、シャッターボタンを半押 ししたときに手ブレを補正します。[**しない**]を選ぶと手ブレ補正機能 がOFFになります。

# e:フラッシュ・BKT撮影

## e1:フラッシュ撮影同調速度

MENUボタン → ◆ カスタムメニュー

フラッシュ撮影時の同調速度を設定できます。

1/250秒 (オートFP)	フラッシュ撮影時の同調速度を1/250秒に設定します。別売のオー トFPハイスピードシンクロ対応スピードライト使用時は1/250秒よ り速いシャッタースピードでは自動的にFP発光に切り替わります。 ・露出モードがPまたはAで、表示パネルまたはファインダー内表 示のシャッタースピードが1/250秒を示す場合、実際に制御さ れるシャッタースピードが1/250秒よりわずかでも高速側であ れば、FP発光に切り替わります。オートFPハイスピードシンク ロ対応スピードライトを装着した場合は、高速側のシャッター スピードが1/8000秒まで制御されます。露出モードがSまたは MでオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを装着 した場合は、高速側のシャッタースピードを1/8000秒まで設定
1/250秒	
1/200秒	
1/160秒	
1/125秒	ノノッシュ撮影时の回調速度を、1/250~1/00秒の軋囲で設定で きます。
1/100秒	
1/80秒	
1/60秒	

#### 💋 シャッタースピードの同調速度を固定するには

露出モードがSまたはMのときに、シャッタースピードの同調速度をカスタムメ ニューe1 [フラッシュ撮影同調速度] で設定した値に固定するには、最も低速 側(30秒または・・)の次の位置を選んでください。表示パネルとファインダー 内表示にX(フラッシュシンクロマーク)と設定した同調速度が表示されます。

#### ✓ FP発光について

フラッシュ撮影時のシャッタースピードをカメラの最高速度まで設定できま す。[**1/250秒(オートFP**)]に設定すると、シャッタースピードがフラッシュ 撮影同調速度よりも高速側になった場合、自動的にFP発光に切り替わります。 日中でも、レンズの絞りを開いて背景をぼかした撮影ができます。

FP 発光に切り替わると、インフォ画面のフラッシュモードに「FP」が表示されます。

### e2:フラッシュ時シャッタースピード制限

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

露出モードがPまたはAの場合のフラッシュ撮影時のシャッタースピー ドの低速側の制限を設定できます。

スローシンクロモード、後幕シンクロモード、赤目軽減スローシンクロモード時や露出モードがS、Mの場合には、カスタムメニューe2[フラッシュ時シャッタースピード制限]の設定にかかわらず、シャッタースピードの低速側の制限は30秒になります。

## e3:フラッシュ使用時の露出補正

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

フラッシュ撮影時に露出補正を設定した場合のフラッシュの調光を設 定できます。

42 Z	全体を補正	露出と調光量を同時に補正します。全体の露出が変化し ます。	
Ż	背景のみ補正	<b>背景のみ補正</b> 背景の露出だけを補正します。	

## e4:4使用時の感度自動制御

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

フラッシュ撮影時に感度自動制御を行う場合の、露出を合わせる対象を 設定できます。

<u>C</u>	被写体と背景	主な被写体以外の背景も適切な露出となるように、感度 自動制御を行います。
2	被写体のみ	主な被写体が適切な露出となるように、感度自動制御を 行います。

## e5:モデリング発光

別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト使用時に、カメラのPvボタンを押したときに、陰影の状況を把握するためのモデリング発光を行わないように設定できます。

e6:BKT変化要素(Mモード)

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

露出モードMでオートブラケティングを行うときに変化する内容は、静止画撮影メニュー [オートブラケティングのセット] とe6 [BKT変化 要素 (Mモード)] との組み合わせによって次のようになります。

カ	スタムメニュー e6	静止画撮影メニュー [オートブラケティングのセット]			
[BKT	変化要素(Mモード)]	AE・フラッシュ ブラケティング※	AEブラケティング※		
<b>\$</b> +®	フラッシュ・ シャッタースピード	シャッタースピードと フラッシュの調光レベル	シャッタースピード		
<b>\$</b> @®	フラッシュ・ シャッタースピード・ 絞り値	シャッタースピード、 絞り値、フラッシュの調光 レベル	シャッタースピード と絞り値		
\$+⊛	フラッシュ・絞り値	絞り値とフラッシュの調光 レベル	絞り値		
\$	フラッシュ	フラッシュの調光レベル	—		

※ カスタムメニュー e6 が [フラッシュ・シャッタースピード]、[フラッシュ・ シャッタースピード・絞り値]、[フラッシュ・絞り値]のいずれかのときに、 [感度自動制御]が [する] に設定され、フラッシュを使用していない場合、ブ ラケティング1コマ目のISO感度で固定されます。

#### 🖉 フラッシュ調光レベルについて

フラッシュブラケティング中は、フラッシュ調光レベルは、i-TTL調光時または 絞り連動外部自動調光時(SA)のみ変化します。

# e7:BKTの順序

#### オートブラケティングの補正順序を変更できます。

N	$[0] \rightarrow [-] \rightarrow [+]$	「補正なし」→「-側に補正」→「+側に補正」 の順になります。
<b>-→</b> +	[−] → [0] → [+]	「-側に補正」→「補正なし」→「+側に補正」 の順になります。

 静止画撮影メニュー [オートブラケティングのセット] が [ADLブラケティング] の場合、e7の設定を変更しても補正順序は変わりません。

# f1:カスタムボタンの機能

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

カメラの各ボタンを押したときの機能と、コマンドダイヤルを併用した ときの機能を設定できます。

## ■ ボタンを押したときの機能

機能を割り当てられるボタンは次の通りです。割り当てを設定したいボタンの項目を選んで、マルチセレクターの中央を押してください。



※フォーカス作動設定スイッチがあるレンズを装着し、スイッチがあるレンズを装着し、スイッチが AF-Lに設定されている場合に、レンズのフォーカス作動ボタンを押したときの機能を設定できます。





フォーカス作動ボタン

• 各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

		PV	En 1	Fn2	AFON	۲	Lin
PRE	プリセットフォーカスポイント		•	—	—	٠	•
[1]	AFエリアモード	•	•	—	•	٠	•
[1]	AFエリアモード+AF-ON	•	•	—	•	٠	•
9	プレビュー	•	•	—	—	۲	—
¥L	FV-L	•	•	—	—	٠	—
A	AE-L/AF-L			—		٠	•
Ā	AE-L		•	—	•	٠	•
Å∎©	AE-L(レリーズでリセット)		•	—	•	٠	—
Å B	AE-L(ホールド)		•	—	•	٠	
Å	AF-L	•	•		•	٠	•
AF-ON	AF-ON			—		٠	•
<b>()</b> /\$	\$発光禁止/許可切換	•	•			٠	•
BKT및	BKT自動連写	•	•	_		•	
+RAW	プラスRAW記録	•	•			٠	
	マルチパターン測光簡易設定	•	•	_		•	
۲	中央部重点測光簡易設定	•	•	_		•	
•	スポット測光簡易設定	•	•	_		•	
•*	ハイライト重点測光簡易設定	•	•	—	—	٠	
Ħ	ファインダー内格子線表示	•	•	_	_	•	
÷	ファインダー内水準器	•	•	_	_	•	
Ď≠ຶ	連動レリーズ切り換え	•	•	—	—	•	•
囹	マイメニュー	•	•	•		•	
ſ₿	マイメニューのトップ項目先へ ジャンプ	•	•	•	_	•	_
►	再生	•		—	—	٠	—
*	レーティング	—	—	•	—	_	—
RESET	フォーカスポイント中央リセット	—	—	-	-	•	—
<u>-</u> [1]-	選択フォーカスポイント表示	—	—	—	—	•	—
	設定しない					•	—

•ボタンを押したときの機能は次の通りです。

PRE⊡	ブリセット フォーカス ポイント	ボタンを押すと、あらかじめ設定した位置のフォーカ スポイント (プリセットフォーカスポイント) が選ば れます。 ・ プリセットフォーカスポイントを設定するには、設 定したい位置にフォーカスポイントを移動して、 フォーカスポイントが点滅するまでAFモードボタン を押しながら割り当てたボタンを長押しします。 ・ a7 [縦/横位置フォーカス切換] を [しない] 以外に 設定した場合、カメラの横位置と時計回りの方向の 縦位置、反時計回りの方向の縦位置で個別にプリ セットフォーカスポイントを設定できます。 ・ レンズのフォーカス作動ボタンに割り当てた場合、 フォーカス作動ボタンを押している間のみ、あらか じめ設定した位置のフォーカスポイント (プリセッ トフォーカスポイント) が選ばれます。フォーカス 作動ボタンを放すと、元のフォーカスポイント位置 に下ります。
[1]	AFエリアモード AFエリアモード +AF-ON	ボタンを押している間、設定したAFエリアモードに変 更します。ボタンを放すと、元のAFエリアモードに戻 ります。 • [AFエリアモード] を選んでマルチセレクターの を押すと、AFエリアモードを選べます。ただし、[ <b>3D</b> - トラッキング] は選べません。
(¤)65		ボタンを押している間、設定したAFエリアモードに変 更され、ピント合わせも行います。ボタンを放すと、 元のAFエリアモードに戻ります。 • [AFエリアモード] を選んでマルチセレクターの ④ を押すと、AFエリアモードを選べます。ただし、[3D- トラッキング] は選べません。

6	ブレビュー	ファインダー撮影時にボタンを押し続けると、レンズ の絞り羽根が絞り込まれ、ボタンを押している間、被 写界深度が確認できます。ライブビュー時にボタンを 1回押すと開放絞りになり、ピントがどこに合っている かを確認しやすくなります。もう一度ボタンを押すと、 設定した絞り値に絞り込まれます。
¥L.	FV-L	別売のスピードライト使用時は、FVロックを行い、も う一度ボタンを押すと解除します。
Å	AE-L/AF-L	ボタンを押している間、AEロックとフォーカスロック を同時に行います。
ĀĒ	AE-L	ボタンを押している間、AEロックを行います。
Å∎©	AE-L(レリーズ でリセット)	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が 維持されます。もう一度ボタンを押すか、シャッター をきるか、半押しタイマーがオフになると、AEロック を解除します。
<b>A</b> ®	<b>AE-L</b> (ホールド)	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が 維持されます。シャッターをきってもAEロックは解除 されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押 しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。
Ā	AF-L	ボタンを押している間、フォーカスロックを行います。
AF-ON	AF-ON	ボタンを押している間、AF-ONボタンを押し続けたときと 同様にカメラが自動的に被写体にピントを合わせます。
<b>3</b> /\$	↓発光禁止/ 許可切換	フラッシュモードが発光禁止以外の場合、ボタンを押 している間、フラッシュは発光禁止になります。フラッ シュモードが発光禁止の場合は、ボタンを押している 間、先幕シンクロモードで撮影できます。

		静止画撮影メニューの [ <b>オートブラケティングのセッ</b>
		ト]が [ <b>WBブラケティング</b> ] 以外の場合でレリーズ
		モードがCH、CL、またはQcのときは、ボタンを押し
		ながらシャッターボタンを全押ししている間、1回分の
		ブラケティング設定コマ数を撮影し終えた後も、引き
		続きオートブラケティング撮影をします。また、レリー
BKT型	BKT自動連写	ズモードが <b>S</b> または <b>Q</b> のときは、ボタンを押しながら
		シャッターボタンを全押しし続けると、1回分のブラケ
		ティング設定コマ数を連続撮影します。
		[オートブラケティングのセット] が [WBブラケティ
		<b>ング</b> ]の場合は、ボタンを押しながらシャッターボタ
		ンを全押ししている間連続撮影して、各コマに対して
		WBブラケティングを行います。
	プラスRAW 記録	画質モードがJPEG形式に設定されている場合、ボタン
		を押すと表示パネルの画質モードに「RAW」が表示さ
		れ、押してから1回の撮影のみRAW画像がJPEG画像と
+ BAIAI		同時に記録されます。撮影後シャッターボタンから指
. [[][[]]]		を放すか、もう一度ボタンを押すと【プラスRAW記
		録〕を解除します。
		• RAW画像は静止画撮影メニュー [ <b>画像サイズ</b> ]の
		[RAW] で設定した画像サイズ、[RAW記録] ( <sup>1148)</sup>
		の設定で記録されます。
$\mathbf{\mathbf{O}}$	マルチパターン	ボタンを押している間、測光モードがマルチパターン
	測光簡易設定	測光になります。
۲	中央部重点測光	ボタンを押している間、測光モードが中央部重点測光
	簡易設定	になります。
·	スポット測光	ボタンを押している間、測光モードがスポット測光に
	簡易設定	なります。
•*	ハイライト重点	ボタンを押している間、測光モードがハイライト重点
	測光簡易設定	測光になります。

▦	ファインダー内 格子線表示	ボタンを1回押すと、ファインダーに構図用格子線を 示します。もう一度ボタンを押すと、格子線の表示 終了します。				
÷	ファインダー内 水準器	ボタンを1回押すと、ファインダーに水準器インジケー ターを表示します(ロ105)。もう一度ボタンを押す と、水準器表示を終了します。				
<b>O</b> ≠ <sup>8</sup> 8	連動レリーズ 切り換え	別売のワイヤレスリモートコントローラーを接続して 連動レリーズモードで撮影する場合の、連動レリーズ の機能を切り換えます。カスタムメニューd4 [連動レ リーズモード設定](四89)の設定により、選択でき る内容が異なります。 ・[連動レリーズモード設定]が[連動する]の場合				
		۵≠à	マスターカメラ のみレリーズ	ボタンを押している間、マ スターカメラのみ撮影を行 い、リモートカメラでは撮 影を行いません。		
		iù≓0	リモートカメラ のみレリーズ	ボタンを押している間、リ モートカメラでのみ撮影を 行います。		
		• [連動レリーズモード設定] が [連動しない] の場合				
		©≁8	マスターと リモートが連動	ボタンを押している間、マ スターカメラとリモートカ メラが連動して撮影を行い ます。		
		iù≠0	リモートカメラ のみレリーズ	ボタンを押している間、リ モートカメラでのみ撮影を 行います。		

囹	マイメニュー	ボタンを押すと、マイメニュー (□181)を表示します。
ſ₿	マイメニューの トップ項目先へ ジャンプ	マイメニューの最上位に登録してある項目へジャンプ します。よく使うメニュー項目をマイメニューの最上 位に登録して、この機能を使うと便利です。
►	再生	ボタンに ボタンと同じ機能を割り当てます。望遠レンズなどを使用していて、 ブボタンを左手で操作できないときに便利です。
*	レーティング	画像再生時にボタンを押しながらマルチセレクターの ��を押して、レーティング(重要度)を設定できます。
RESET	フォーカス ポイント 中央リセット	ボタンを押すと、中央のフォーカスポイントが選ばれ ます。
<u>लि</u>	選択フォーカス ポイント表示	ボタンを押すと、選択中のフォーカスポイントが点灯 します。
	設定しない	ボタンは機能しません。

#### 🜌 水準器インジケーターについて

押し時の動作を[ファインダー内水準器]に設定してFnボタンを押すと、カメ ラに内蔵している傾斜センサーを使って、ファインダーに水準器インジケー ターを表示します。この「水準器インジケーター」の見方は次の通りです。

ローリング方向



ピッチング方向



- カメラを前または後ろに大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなりますのでご注意ください。測定できない状態までカメラを傾けると、水準器の目盛が消灯します。
- カメラを縦位置に構えて撮影するときは、ローリング方向とピッチング方向の 水準器の表示位置が入れ替わります。

# ■ ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回した ときの機能

機能を割り当てられるボタンは次の通りです。割り当てを設定したいボタンの項目を選んで、マルチセレクターの中央を押してください。



- ※ ライブビューセレクターが ●の場合に、動画撮影ボタンを押しながらコマンド ダイヤルを回したときの機能を設定できます。
- 各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

		PV		e		R
	撮像範囲選択	•	•	•		•
少⇔∎	シャッタースピードと絞り値 のロック	•	•	•	—	•
<u>ی</u>	シャッター・絞り値1段選択	•	•	—	—	_
Non-CPU	手動設定済みレンズの選択	•	•	•	—	—
₿ <b>C</b>	アクティブD-ライティング設定	•	•	—	—	—
©DLY	露出ディレーモード	•	•	—	—	—
SHOOT	静止画撮影メニュー切り換え	•	٠	•	—	٠
MODE	露出モード	—	—	—	—	٠
BKT	オートブラケティング				•	_
•	多重露出	—	—	—	•	—
HDR	HDR(ハイダイナミックレンジ)	_	_	_	•	
	設定しない	•				

106 メニューガイド

ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能は次の通りです。

	撮像範囲選択	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、[ <b>撮像</b> 範囲設定] (ロ45)の設定を切り換えられます。
少⊕∎	シャッター スピードと 絞り値のロック	露出モードがSまたはMのとき、ボタンを押しながらメ インコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピード を固定します。露出モードがAまたはMのとき、ボタン を押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、絞り値 を固定します。
() <b>G</b>	シャッター・ 絞り値1段選択	<ul> <li>カスタムメニューb2 [露出設定ステッブ幅](□22)の設定にかかわらず、シャッタースピードまたは絞り値を1段ステップで設定できます。</li> <li>露出モードがSまたはMのとき、ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを1段ステップで設定します。</li> <li>露出モードがAまたはMのとき、ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、絞り値を1段ステップで設定します。</li> </ul>
Non:CPU	手動設定済み レンズの選択	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、現在 使用中のレンズの情報を、セットアップメニューの[ <b>レ</b> ンズ情報手動設定](四133)で設定したレンズNo.の ものに切り換えます。
£ <u>1</u>	アクティブ D-ライティング 設定	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、アク ティブD-ライティング(ロ52)の設定を切り換えら れます。
©DLY	露出ディレー モード	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、露出 ディレーモードを切り換えられます(印89)。
SHOOT	静止画撮影 メニュー 切り換え	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、静止 画撮影メニューを切り換えられます(ロ33)。
MODE	露出モード	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回す と、露出モードを切り換えられます。
BKT	オート ブラケティング	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルまたはサ ブコマンドダイヤルを回すと、オートブラケティング 撮影時の撮影コマ数、補正ステップ、アクティブD-ラ イティングの度合いを設定できます(四56)。

Ð	多重露出	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回す と、多重露出モードを設定できます。ボタンを押しな がらサブコマンドダイヤルを回すと、多重露出のコマ 数を設定できます(ロ57)。
HDR	HDR(ハイ ダイナミック レンジ)	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回す と、HDRモードを設定できます。ボタンを押しながら サブコマンドダイヤルを回すと、HDRの露出差を設定 できます( <sup>1158</sup> )。
	設定しない	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回しても機能 しません。

#### ☑ BKTボタンについて

- HDR (ハイダイナミックレンジ)の設定が有効なときに [BKTボタン+]に
   [オートブラケティング] または [多重露出] を割り当てると、BKTボタンを 押しても設定の変更は行えません。
- 多重露出(ロ57)の設定が有効なときに[オートブラケティング]または [HDR (ハイダイナミックレンジ)]を割り当てると、BKTボタンを押しても設 定の変更は行えません。
## ■ サブセレクターを倒したときの機能

サブセレクターを上下左右に倒したときの機能を変更できます。<br/>
<br/>
・<br/>
サブ<br/>
セレクターを選んで、マルチセレクターの中央を押してください。



= 🕀	マルチセレクター と同じ	マルチセレクターの (金) (金) (金) (金) (金) (金) (本ります。 (金) ボタンを押して (拡大再生中の動作) を設定できま す。画像を拡大表示したときのサブセレクターの動作を [拡大位置移動] または [コマ送り] に設定できます。
[1]	フォーカス ポイント選択	フォーカスポイントを選べます。

## f2:中央ボタンの機能

ファインダー撮影時とライブビュー時または 再生時にマルチセレクターの中央ボタンを押 したときの機能を設定できます(1コマ表示中 の画像が動画の場合、[再生モード]の設定に かかわらず、中央ボタンを押すと動画を再生 します)。

### ■ 撮影モード

RESET	フォーカスポイント 中央リセット	<b>中央</b> ボタンを押すと、中央のフォーカスポイント が選ばれます。
PRE	プリセットフォーカス ポイント	<ul> <li>中央ボタンを押すと、あらかじめ設定した位置の フォーカスポイント(ブリセットフォーカスポイント)が選ばれます。</li> <li>プリセットフォーカスポイントを設定するには、設定したい位置にフォーカスポイントを移動して、フォーカスポイントが点滅するまでAF モードボタンを押しながら中央ボタンを長押しします。</li> <li>a7 [縦/横位置フォーカス切換]を[しない]以外に設定した場合、カメラの横位置と時計回りの方向の縦位置で 個別にプリセットフォーカスポイントを設定できます。</li> </ul>
<del>)</del> (1);	選択フォーカス ポイント表示	<b>中央</b> ボタンを押すと、選択中のフォーカスポイン トが点灯します。
	設定しない	<b>中央</b> ボタンは機能しません。

## ■ 再生モード

8	1コマとサムネイルの 切り換え	中央ボタンを押すごとに、1コマ表示とサムネイ ル表示 (4コマ、9コマ、72コマ) を切り換えます。
	ヒストグラム表示	中央ボタンを押している間、ヒストグラムを表示 します。サムネイル表示時もヒストグラム表示で きます。
Q	拡大画面との切り換え	中央ボタンを押すと、撮影時のフォーカスポイン トを中心にして、設定した拡大率で拡大表示しま す。もう一度中央ボタンを押すと、元の表示に戻 ります。 • [拡大画面との切り換え]を選んで◆を押すと、 拡大率を[低倍率(50%)]、[等倍(100%)]、 [高倍率(200%)]から選べます。 • サムネイル表示時も拡大表示できます。
	スロット/フォルダー 指定	中央ボタンを押すと、[スロット/フォルダー指定] 画面が表示され、画像を再生するスロットとフォ ルダーを指定できます。

## ■ ライブビュー

RESET	フォーカスポイント 中央リセット	ライブビュー表示中に <b>中央</b> ボタンを押すと、 フォーカスポイントが画面中央に移動します。
⊕	拡大画面との切り換え	ライブビュー表示中に中央ボタンを押すと、 フォーカスポイントを中心にして、設定した拡大 率で拡大表示します。もう一度中央ボタンを押す と、元の表示に戻ります。 • [拡大画面との切り換え]を選んで③を押すと、 拡大率を[低倍率(50%)]、[等倍(100%)]、 [高倍率(200%)]から選べます。
	設定しない	<b>中央</b> ボタンは機能しません。

### f3:シャッタースピードと絞り値のロック

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

[シャッタースピードのロック] を [する] にすると、露出モードSまた はMではシャッタースピードを現在の設定でロックします。[絞り値の ロック] を [する] にすると、露出モードAまたはMでは絞り値を現在 の設定でロックします。

露出モードがPの場合はシャッタースピードと絞り値のロックは使えません。

### f4:コマンドダイヤルの設定

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルに関する設定ができ ます。

#### ■ 回転方向の変更

露出補正の設定時またはシャッタースピード/ 絞り値の設定時に、メインコマンドダイヤルと サブコマンドダイヤルを操作するときの回転 方向を逆方向に変更できます。



レクターの③を押すと、項目の左側のチェックボックスがオン ☑ にな ります。もう一度④を押すと、チェックボックスがオフ □になります。 ● @ボタンを押すと、設定が完了します。

• 別売のマルチパワーバッテリーパック MB-D17 のコマンドダイヤルの 回転方向も変更されます。

## ■ メインとサブの入れ換え

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイ ヤルの機能を入れ換えられます。



露出設定	[する]を選ぶと、メインコマンドダイヤルで絞り値を、サブ コマンドダイヤルでシャッタースピードを設定します。[する (Aモード)]を選ぶと、露出モードAのときのみ、メインコマ ンドダイヤルで絞り値を設定します。
AF設定	[する]を選ぶと、AFモードボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回してAFエリアモードを、サブコマンドダイヤルを回してAFモードを設定します。

 別売のマルチパワーバッテリーパック MB-D17 のコマンドダイヤルの 機能も入れ替わります。

### ■ 絞り値の設定方法

CPUレンズの装着時に露出モードがAまたはMの場合、レンズの絞りリングで絞り値を設定できるように変更できます。

サブコフンド	サブコマンドダイヤルで絞り値をセットします([ <b>メインとサ</b>
リノコマノト	ブの入れ換え]の[露出設定]を[する]に設定した場合は、
9171	メインコマンドダイヤルで絞り値をセットします)。
	レンズの絞りリングで絞り値をセットします。絞りリングに
絞りリング	よる中間絞りの設定は可能ですが、絞り値の表示は1段ス
	テップになります。

- ・絞りリングのないレンズ(Gタイプ、Eタイプレンズ)装着時は、
   「絞
   り値の設定方法]での設定にかかわらず、
   ※り値はサブコマンドダイ
   ヤルで設定します。
- 非CPUレンズ装着時は、[絞り値の設定方法]での設定にかかわらず、
   絞り値はレンズの絞りリングで設定します。

### ■ 再生/メニュー画面で使用

画像のコマ送りやメニュー操作を、マルチセレクターでの操作から、メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作でも行えるように変更できます。

-		
	する	<ul> <li>再生時:</li> <li>1コマ表示時には、メインコマンドダイヤルで撮影画像 をコマ送りします。サブコマンドダイヤルを回すと、「サ ブコマンドダイヤルで画像送り」で設定した方法でコマ 送りします。</li> <li>サムネイル表示時には、メインコマンドダイヤルを回す と、黄色の枠(カーソル)が左右に移動し、サブコマン ドダイヤルを回すと、ページを切り換えます。</li> <li>メニュー画面表示時*:</li> <li>メインコマンドダイヤルで選択項目を切り換えます。サブ コマンドダイヤルを時計方向に回すと、サブメニューに移 動します。反時計回りに回すと、前の画面に戻ります。</li> </ul>
ON®	する(撮影後	[する] と同じ内容ですが、撮影直後の画像確認時は操作で
	確認時を除く)	きません。
	しない	再生時の表示画像の切り換え、画像の選択、およびメ ニュー画面での項目の選択は、マルチセレクターを操作し て行います。

※サブコマンドダイヤルでは項目を決定することはできません。項目を決定する には、®ボタンか、マルチセレクターの③または中央ボタンを押してください。

## ■ サブコマンドダイヤルで画像送り

[再生/メニュー画面で使用]で[する]または [する(撮影後確認時を除く)]に設定した場合、1コマ表示時にサブコマンドダイヤルを回したときのコマ送りの方法を設定できます。

	10コマ	10コマずつコマ送りします。
	50コマ	50コマずつコマ送りします。
07	プロテクト	プロテクト(保護)した撮影画像だけをコマ送りして表示 します。
Ó	静止画のみ	静止画だけをコマ送りして表示します。
惈	動画のみ	動画だけをコマ送りして表示します。
	フォルダー	再生フォルダーを切り換えます。

### f5:マルチセレクターの半押し起動

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

半押しタイマーがきれたときにマルチセレクターを操作すると、半押しタ イマーが起動するように設定できます。

### f6:ボタンのホールド設定

MENUボタン → ↓ カスタムメニュー

[する] に設定すると、ボタンを押しながらコマンドダイヤルを操作す るときに、指を放してもコマンドダイヤル単独で設定できる状態が維持 できます。もう一度ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しする か、半押しタイマーがオフになると、解除されます。

- 「ボタンのホールド設定」の対象ボタンは、図ボタン、ISO(\*\*\*\*)ボタン、MODEボタン、BKTボタン、③ボタン、QSA(な)ボタン、QUALボタン、WBボタン、AFモードボタンです。
- f1 [カスタムボタンの機能] で[アクティブD-ライティング設定]
   (□106)を割り当てたボタンも、[ボタンのホールド設定]の対象になります。

# f7:インジケーターの+/-方向

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

ファインダー内表示、表示パネル、およびインフォ画面(IIIID)でのイン ジケーターの+と-方向を入れ換えることができます。

+0- +	インジケーターの+側を左に、- 側を右に表示 します。
-0+ <b></b> iiiii	インジケーターの-側を左に、+側を右に表示 します。

## f8:ライブビューボタンの設定

意図せずに回ボタンを押したときにライブ ビューが開始しないように、回ボタンを無効 に設定できます。



	有効	回ボタンを押すとライブビューが開始されます。
ON®	半押しタイマー	半押しタイマーがオンのときに 😡 ボタンを押した場合
	作動中のみ有効	のみ、ライブビューが開始されます。
	無効	回ボタンを押してもライブビューは開始しません。

### f9: 漸スイッチの機能

#### 

電源スイッチを ※マークの方向に回したときに、表示パネルやボタンの イルミネーター(照明)のみ点灯するか、イルミネーターとインフォ画 面を点灯するかを設定できます。

## f10:MB-D17のボタンの機能

別売のマルチパワーバッテリーパック MB-D17を装着した場合に設定できます。 MB-D17の各ボタンを押したときの機能と、 コマンドダイヤルを併用したときの機能を設 定します。

1ÚNB-017のボタンの機能
 1ÚNB-017のボタンの機能
 Finボタン Co
 Finボタン+ Co
 Finボタン+ Co
 Finボタン+ Co
 Finボタン - マルチセレクター = ⊕

MB-D17の縦位置Fnボタン



MB-D17の縦位置AF-ONボタン

MENUボタン → ↓カスタムメニュ-



MB-D17の縦位置マルチセレクター

## ■ Fnボタン

MB-D17の縦位置Fnボタンを押したときの機能を、以下の項目から設定 できます。各項目についての詳しい説明は、98ページの「ボタンを押し たときの機能」をご覧ください。

PRE	プリセットフォーカス	·	スポット測光簡易設定
	ポイント	•*	ハイライト重点測光簡易設定
\$	プレビュー	▦	ファインダー内格子線表示
۶L	FV-L	- <del>()</del> -	ファインダー内水準器
Å S	AE-L(レリーズでリセット)	围	マイメニュー
A O	AE-L(ホールド)	Ր湿	マイメニューの
+RAW	プラスRAW記録		トップ項目先へジャンプ
Ø	マルチパターン測光簡易設定	►	再生
۲	中央部重点測光簡易設定		設定しない

### ■ Fnボタン+烹

MB-D17の縦位置**Fn**ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能を、以下の項目から設定できます。各項目についての詳しい説明は、106ページの「ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能」をご覧ください。

	撮像範囲選択	SHOOT	静止画撮影メニュー切り換え
୰ଡ଼∎	シャッタースピードと	IS0	ISO感度 <sup>※1</sup>
	絞り値のロック	MODE	露出モード※2
@⊗	シャッター・絞り値1段選択	Ż	露出補正*3
Non-CPU	手動設定済みレンズの選択	<b>D</b> o.	測光モード*4
B‡	アクティブD-ライティング設定		設定しない
	毎山ご ノレーエード		

≌ 露出ティレーモード

※1 カメラのISO (\*)ボタンと同じ機能になります。

- ※2 カメラのMODEボタンと同じ機能になります。
- ※3 カメラの図ボタンと同じ機能になります。
- ※4 カメラの◎ボタンと同じ機能になります。

## ■ AF-ONボタン

MB-D17の縦位置**AF-ON**ボタンを押したときの機能を、以下の項目から 設定できます。各項目についての詳しい説明は、98ページの「ボタンを 押したときの機能」をご覧ください。

= AFON	カメラのAF-ONボタンと	ĀE	AE-L
	同じ※	Å S	AE-L(レリーズでリセット)
AF-ON	AF-ON	AB 🏵	AE-L (ホールド)
[1]	AFエリアモード	ĀF	AF-L
[1] <mark>6</mark> 5	AFエリアモード+AF-ON		設定しない
A	AE-L/AF-L		

※ カメラのAF-ONボタンと同じ機能になります。

### ■ マルチセレクター

MB-D17の縦位置マルチセレクターを操作したときの機能を設定できます。

		カメラのマルチセレクターの       の
		ります。
= 💮	) カメラのマルチ	• ③を押して [上下左右機能入れ換え] を設定できます。
	セレクターと同じ	[する]を選ぶと、上または下に倒して表示画像を、左
		または右に倒して画像情報のページを切り換えられる
		ようになります。
[11]	7.4 . 4.7	フォーカスポイントを選べます。
լոյ	ノオーカ人	• 中央ボタンを押したときの機能は、 [サブセレクター
	ハイノい迭折	中央+憲](四106)と同じです。

## g1:カスタムボタンの機能

MENUボタン → ↓ カスタムメニュー

ライブビュー時のライブビューセレクターが**県**の場合に、各ボタンを押 したときの機能と、コマンドダイヤルを併用したときの機能を設定でき ます。

## ■ ボタンを押したときの機能

 機能を割り当てられるボタンは次の通りです。割り当てを設定したい ボタンの項目を選んで、マルチセレクターの中央を押してください。



• 各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

		Pv	Fn1	Fn2	۲	۲
Ø	パワー絞り(開放絞り側)	•			_	_
\$	パワー絞り(最小絞り側)	—	•	—	—	—
₹	露出補正(+側)	•	—	—	—	—
⊿	露出補正(-側)	—	•	—	—	—
•	インデックスマーキング	•	•	•	•	—
Ô۵	静止画撮影情報の表示	•	•	•	•	—
A	AE-L/AF-L	—	—	—	•	—
Ā	AE-L				•	_
A S	AE-L(ホールド)		_		•	
Ā	AF-L				•	

		PV	Fn1	Fn2	۲	۲
Ó	静止画撮影	—	—	—	—	•
塛	動画撮影	_	_		_	•
	設定しない	•	•	•	•	_

•ボタンを押したときの機能は次の通りです。

0	パワー絞り (開放絞り側)	Pvボタンを押している間、開放絞り側に絞りが動きます。 カスタムメニューg1 [カスタムボタンの機能]の[Fn1 ボタン]が [パワー絞り(最小絞り側)]のときは、自動 的にこの項目が選ばれます。
\$	パワー絞り (最小絞り側)	Fn1ボタンを押している間、最小絞り側に絞りが動きま す。カスタムメニューg1 [カスタムボタンの機能]の [プレビューボタン] が [パワー絞り(開放絞り側)]の ときは、自動的にこの項目が選ばれます。
4	露出補正 (+側)	Pvボタンを押している間、+側に露出補正を行います。カ スタムメニューg1 [カスタムボタンの機能]の[Fn1ボ タン]が[露出補正(-側)]のときは、自動的にこの項 目が選ばれます。
⊿	露出補正 (-側)	Fn1ボタンを押している間、一側に露出補正を行います。 カスタムメニューg1 [カスタムボタンの機能]の[プレ ビューボタン]が [露出補正(+側)]のときは、自動的 にこの項目が選ばれます。
•	インデックス マーキング	動画記録中にボタンを押すと、撮影中の動画にインデッ クスマークを付けることができます。インデックスマー クを付けると、動画の再生時や編集時に目的の場所へ素 早く移動できます。
۵ß	静止画撮影 情報の表示	ボタンを押すと、動画撮影中(ライブビュー時および動 画記録時)に静止画を撮影する場合の撮影情報が表示さ れます。もう一度ボタンを押すと元の画面に戻ります。
Å	AE-L/AF-L	ボタンを押している間、AEロックとフォーカスロックを 同時に行います。
Δī	AE-L	ボタンを押している間、AEロックを行います。

A P	<b>AE-L</b> (ホールド)	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。シャッターをきってもAEロックは解除されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。
Ā	AF-L	ボタンを押している間、フォーカスロックを行います。
۵	静止画撮影	シャッターボタンを全押しすると、アスペクト比16:9 の静止画を撮影します(撮影中の動画は終了します)。
<b>\</b>	動画撮影	シャッターボタンを半押しすると、ライブビューを開始 します。フォーカスモードセレクターがAFの場合、ライ ブビュー中にシャッターボタンを半押しするとピント合 わせが行われます。また、全押しすると、動画記録を開 始します。もう一度シャッターボタンを押すと、動画記 録を終了します。 • [動画撮影] に設定すると、動画記録以外にシャッター ボタンを使う操作は行えません。 • ライブビューを終了するには、「ロボタンを押してくだ さい。 • 別売のワイヤレスリモートコントローラー(ロ204)、 リモートコード(ロ206) 使用時には、ワイヤレスリ モートコントローラーやリモートコードのシャッター ボタンを半押ししてライブビューを開始したり、全押 しして動画撮影の開始と終了を行えます。
	設定しない	ボタンは機能しません。

#### 🖉 パワー絞りについて

- 露出モードAまたはMのときのみ動作します。
- 静止画撮影情報の表示中は、パワー絞りは動作しません。
- 🚱 マークが画像モニターに表示されているときは、パワー絞りは動作しません。
- パワー絞りの動作中は画面にちらつきが発生します。

#### ▼ [シャッターボタン] を [動画撮影] に設定した場合のご注意

[シャッターボタン] が [動画撮影] の場合、インターバルタイマー撮影はできません。

## ■ ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回した ときの機能

機能を割り当てられるボタンは次の通りです。割り当てを設定したい
 ボタンの項目を選んで、マルチセレクターの中央を押してください。



ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能は次の通りです。すべてのボタンで同様です。

DX	撮像範囲選択	動画の画像サイズが1920×1080ピクセルの場合、ボタンを 押しながらコマンドダイヤルを回すと、動画撮影時の撮像 範囲(四61)の設定を切り換えられます。 動画記録中は、撮像範囲の切り換えはできません。
	設定しない	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回しても機能しま せん。

押し時の動作とコマンドダイヤル併用時の動作が併用できない場合 [プレビューボタン] と [プレビューボタン+気] のように、同じボタンに押し時の動作とコマンドダイヤル併用時の動作を設定できるボタンでは、両方の機能を同時に設定できない場合があります。その場合は後に設定された機能が有効になり、先に設定していた内容が [設定しない] に変更されます。

# Ŷ セットアップメニュー: カメラを使いやすくする基本設定

MENUボタンを押して、タブの♥アイコンを選ぶと、セットアップメ ニューが表示されます。



セットアップメニューの項目は次の通りです。

メニュー項目		メニュー項目	
カードの初期化(フォーマット)	126	HDMI	143
言語(Language)	126	位置情報	144
地域と日時	127	リモコン(WR)設定	145
モニターの明るさ	127	リモコン(WR)のFnボタンの	146
モニターのカラーカスタマイズ	128	機能	110
水準器表示	129	機内モード	146
インフォ画面の表示設定	130	スマートフォンと接続	147
AF微調節	131	スマートフォンへの自動送信	148
レンズ情報手動設定	133	Wi-Fi	148
イメージセンサークリーニング	133	Bluetooth	149
クリーニングミラーアップ※	134	ネットワーク	149
イメージダストオフデータ取得	134	Eye-Fi送信機能	149
画像コメント	137	認証マークの表示	151
著作権情報	138	MB-D17電池設定	151
IPTC	139	電池の使用順序	153
電子音設定	142	電池チェック	154
タッチ操作	143	カードなし時レリーズ	155

メニュー項目		メニュー項目				
カメラ設定の保存と読み込み	156	ファームウェアバージョン	159			
カメラの初期化	159					

※ バッテリー残量表示が 💷 以下のときは選べません。

✓ 関連ページ 「セットアップメニューの初期設定」(□17)

## カードの初期化(フォーマット)

メモリーカードを初期化(フォーマット)します。初期化したいスロットを選んで[はい] を選ぶと、選んだスロットのメモリーカード を初期化します。初期化すると、カード内の データは全て削除されます。カード内に必要 なデータが残っている場合は、初期化の前に パソコンなどに保存してください。



MENUボタン → Yセットアップメニュ-

🔽 カードの初期化についてのご注意

[カードの初期化(フォーマット)中です。]のメッセージが画像モニターに表示 されている間は、電源をOFFにしたり、メモリーカードを取り出さないでください。

🖉 ボタン操作による初期化

● (∞∞)ボタンとISO (∞∞)ボタンを2秒以上同時に押して初期化することもできます。

# 言語 (Language)

MENUボタン → Yセットアップメニュー

メニュー画面やメッセージの表示言語を、日本語または英語に設定します。

地域と日時

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

現在地と日時、年月日の表示順、スマートフォンから日時の情報を取得 するかどうかを設定します。定期的に日時設定を行うことをおすすめし ます。

現在地の設定	現在地のタイムゾーンを選びます。現在地のタイムゾーンを 変更すると、[日時の設定] で設定された日時が、時差に合わ せて自動的に更新されます。
日時の設定	[現在地の設定]で選ばれているタイムゾーンの時刻を設定します。
スマートフォン と同期	スマートフォンからUTC(協定世界時)、夏時間(サマータ イム制)、時差情報を取得して、カメラの日時情報を更新する かどうかを設定します。 • インターバルタイマー撮影中、またはGPS機器と接続中に [位置情報] → [GPS機器設定] → [衛星による日時合わ せ](□144)を[する]に設定している場合、スマート フォンからの日時情報は取得しません。
日付の表示順	画像モニターに表示される、日付の年、月、日の表示順を、 [ <b>年/月/日</b> ]、[ <b>月/日/年</b> ]、[ <b>日/月/年</b> ] から選びます。
夏時間の設定	現在地で夏時間が実施されている場合は [する] に、そうで ない場合は [しない] に設定します。[する] にすると、時刻 が1時間進みます。初期設定は [しない] です。

 カメラの内蔵時計の設定が初期化されている場合、表示パネルとイン フォ画面に 2003 マーク、④マークがそれぞれ点滅して警告します。

## モニターの明るさ

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

画像モニターの明るさをマルチセレクターの◆または◆を押して調整 できます。+にすると明るく、-にすると暗くなります。

メニュー /再生	メニュー表示時、インフォ画面表示時、画像の再生時の画像モ ニターの明るさを調整します。
ライブビュー	ライブビュー時の画像モニターの明るさを調整します。

メニューガイド 127



カメラの画像モニターの色調を好みに合わせて変更できます。

 右のような画面が表示され、マルチセレク ターで画像モニターの色みを調整できま す。
 ●●●●●を押すたびに、画像モニター の色みが次のように変わります。
 ●●ボタン を押すと決定します。

> グリーンが強くなる ブルーが 強くなる アンバーが 強くなる

マゼンタが強くなる



- ・画像モニターの色みを調整すると、メニュー表示や画像再生時、ライ ブビュー中の表示全てに反映されますが、撮影した画像または動画に は反映されません。
- 最後に撮影した画像または最後に再生した画像がサンプルとして表示されます。撮影した画像がメモリーカード内にない場合、グレーで表示されます。
- ●
   ●
   ●
   (\$)ボタンを押すと、画像の選択画面 が表示されます。画像を選んで@ボタンを 押すと、選んだ画像がサンプルとして表示 されます。



## 水準器表示

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

カメラに内蔵している傾斜ヤンサーを使って、画像モニターにローリング 方向とピッチング方向の水準器を表示します。

- カメラを正位置(傾きのない状態)にすると、ローリング方向の場合 は水準器表示の基準線が緑色に変わります。ピッチング方向の場合は 中央の●が緑色に変わります。
- 水準器の1月感は、5°を表します。



方向、ピッチング方向 とも正位置の場合



カメラがローリング カメラがローリング 方向に傾いている場合



カメラがピッチング 方向に傾いている場合

#### ▶ 水準器の精度について

カメラを前または後ろに大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなりますので ご注意ください。測定できない状態までカメラを傾けると、水準器の日盛が消 灯します。

#### 🖉 関連ページ

ファインダーに水準器インジケーターを表示する → 
 f1[カスタムボタンの機 能] (四98、105)

# インフォ画面の表示設定

MENUボタン → Yセットアップメニュー

明るい場所や暗い場所で画像モニターが見づらいときにインフォ画面 の見え方を設定できます。



 
 AUTO 自動
 インフォ画面の表示を見やすくするように、カメラが自動的に白黒 反転します。明るい場所では黒文字表示に、暗い場所では明るさを 抑えた白文字表示に切り替わります。

 手動でインフォ画面の表示を切り換えます。

 手動でインフォ画面の表示を切り換えます。

 日の表示を切り換えます。

 日のの表示を切り換えます。

 日の表示を切り換えます。

 日の表示を切り換えます。

 日のの表示を切り換えます。

 日のの表示を切り換えます。

 日のの表示を切り換えます。

 日のの表示を切り換えます。

 日のの表示を切り換えます。
 AF微調節

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

装着したレンズごとに最適なピント合わせを行いたいときに、ピント位 置を調節できます。

- 必要な場合のみAF微調節を行ってください。正常なレンズを調節すると、ピントが合わなくなる場合がありますのでご注意ください。
- AF微調節は、普段の撮影でよく使用する撮影距離で行うことをおすすめします。たとえば、近い距離でAF微調節を行った場合、遠い被写体に対してはAF微調節の効果が低下することがあります。
- ライブビュー時に自動でAF微調節を行うこともできます(四132)。

AF微調節	する	AF微調節の設定が有効になります。				
(する/しない)	しない	AF微調節を行いません。				
個別レンズの 登録	装のす●+でレ・ +でレ・ ・ンズ値	ているCPUレンズ 節値を登録できま ルチセレクターの は◆を押して、 - 20の範囲で調節 す。最大20種類の を登録できます。 つレンズは登録してあるレ と登録してあるレ と登録してあるレ と登録すると微調節 と書きされます。	今回の 微調節値 日本F破調節 日本F破調節 日本Fの部 F2.8-4 VR NO 52.8-4 VR	ピントが合う位 置がカメラから 遠ざかります。		
その他レンズ の登録	【個別レ 録して を装調 す。 ● ま て きま て きま て	ハンズの登録] で登 いない、CPUレンズ したときに、一律で する値を設定しま たたは ⊕を押して、 - 20の範囲で調節 す。	前回設定した — 微調節値	ピントが 合う位置がカ メラに近づき ます。		

個別レンズ 登録リスト	<ul> <li>【個別レンズの登録】で登録したレンズを一覧表示します。登録リストからレンズを選んで①を押すと、右の画面が表示されます。</li> <li>● (識別番号入力) 画面では、レンズの識別番号を変更できます。②または②を押して識別番号を選ん</li> </ul>
	で、・・・ボタンを押します。【個別レンズの登録】は同じ種類のレンズを複数登録できないため、たとえば、同じレンズを数本所有しているときに登録したレンズのシリアル番号の末尾2桁などを設定しておくと、どのレンズで登録したかを識別できるので便利です。

#### 🖉 自動でAF微調節を行う

ライブビュー時に自動でAF微調節を行えます。ライブビュー画面を見ながらピント合わせを行ってAFモードボタンと動画撮影ボタンを2秒以上同時に押します。表示されるメッセージに従って[はい]を選んで®ボタンを押すと、自動AF微調節が実行されて[個別レンズ登録リスト]に登録されます。[AF微調節 (する/しない)]で[する]を選ぶと、登録したAF微調節の設定が有効になります。

- ライブビューセレクターは▲に合わせてください。
- AFモードをAF-Sに設定します。
- AFエリアモードをワイドエリアAFまたはノーマルエリアAFに設定します。
- フォーカスポイントの位置を画面中央に設定します。
- カメラを三脚で固定することをおすすめします。
- ピント合わせを行うときは絞りを開放にすることをおすすめします。
- 自動AF微調節を実行する前に、拡大表示をしてピントが正確に合っているか確認 することをおすすめします。

#### 🔽 ライブビュー撮影時のAF微調節について

ライブビュー撮影時にオートフォーカスでピント合わせを行うときは、[AF微調節]で設定した微調節値は適用されません。

#### 🖉 個別レンズの登録について

同じ種類のレンズは複数登録できませんが、テレコンバーターを装着した場合 は違うレンズとして個別登録できます。

#### 🖉 登録したレンズを削除するには

[個別レンズの登録] で登録したレンズを削除するには、[個別レンズ登録リス ト] 画面の一覧表示から削除したいレンズを選んで、面(\*\*\*\*) ボタンを押します。

#### 132 メニューガイド

## レンズ情報手動設定

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

非CPUレンズの情報を登録します。非CPUレンズの焦点距離と開放絞 り値をカメラに登録することにより、CPUレンズ装着時と同じ機能が一 部使えるようになります。

レンズNo.	レンズ情報を登録するレンズNo.を選びます。
焦点距離(mm)	レンズの焦点距離を選びます。
開放絞り値	レンズの開放絞り値を選びます。

## イメージセンサークリーニング MENUボタン→↑セットアップメニュ-

レンズを取り付けるときなどに、撮像素子前面にゴミやほこりが付くと、 画像に影が写り込むことがあります。イメージセンサークリーニングを 作動させると、撮像素子前面のゴミをふるい落とすことができます。

実行	イメージセンサークリーニングを実行します。
電源スイッチに 連動	<ul> <li>電源ONで実行:電源ONと同時にイメージセンサークリーニングが作動します。</li> <li>電源 OFF で実行:電源 OFF と同時にイメージセンサークリーニングが作動します。</li> <li>電源ONとOFFで実行:電源ON、OFFと同時にイメージセンサークリーニングが作動します。</li> <li>実行しない:電源ON、OFFしてもイメージセンサークリーニングは作動しますム.</li> </ul>

クリーニングミラーアップ

MENUボタン → Yセットアップメニュー

イメージセンサークリーニングでゴミやほこりを取りきれないときは、 [クリーニングミラーアップ] を選ぶと、ミラーが上った状態で固定さ れ、撮像素子前面を市販のブロアーでクリーニングできます。詳しく は、使用説明書の「カメラのお手入れについて」をご覧ください。ただ し、カメラ内部の撮像素子は非常に傷つきやすいため、ニコンサービス 機関にクリーニングをお申し付けくださることをおすすめします。

## イメージダストオフデータ取得

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

Capture NX-Dの「イメージダストオフ機能」を使うためのデータを取得します。イメージダストオフとは、カメラの撮像素子の前面に付いた ゴミの写り込みをRAW画像から取り除く機能です。イメージダストオ フ機能については、Capture NX-Dのヘルプをご覧ください。

### ■ イメージダストオフデータ取得の手順

### 1 イメージダストオフデータの取得方法を選ぶ



- [イメージセンサークリーニング後開始]を選んで®ボタンを押すと、すぐにイメージセンサークリーニングを実行します。イメージセンサークリーニングの実行後に、[イメージダストオフデータ取得]画面が表示されます。
- 表示パネルとファインダー内表示に は、右のように表示されます。
- データ取得を取り消したいときは、
   MENUボタンを押してください。



2 レンズ先端から10cm程度離れた、明るく白い無地の被写体 を画面いっぱいにとらえ、シャッターボタンを半押しする

- オートフォーカスのときは、カメラが自動的に無限遠にピントを 合わせます。
- マニュアルフォーカスのときは、手動で無限遠に合わせてください。

### 3 シャッターボタンを全押しして撮影する

- •シャッターボタンを押すと、画像モニターが消灯します。
- 被写体が明るすぎ、または暗すぎたために、データが取得できなかった場合は、 画像モニターに右の画面が表示され、手順1の状態に戻ります。被写体の明るさを変えて、もう一度撮影してください。



#### ▼ イメージセンサークリーニングについてのご注意

イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフ データは、クリーニング実行後に撮影した画像とゴミの位置が一致しなくなる ため、Capture NX-Dのイメージダストオフ機能を使用できません。イメージセ ンサークリーニング機能とイメージダストオフ機能を併用する場合は、[イメー ジセンサークリーニング後開始]を選択後に撮影することをおすすめします。

### ▼ イメージダストオフデータ取得についてのご注意

- 非CPUレンズをお使いの場合は、「イメージダストオフデータ取得」を選べません。
- お使いになるCPUレンズは、焦点距離が50mm以上のレンズをおすすめします。
- ズームレンズは望遠側にしてください。
- 取得したイメージダストオフデータは、データ取得後にレンズや絞り値を変更して撮影した画像にも適用できます。
- 「サイズM]または「サイズS]で撮影したRAW画像は、Capture NX-Dのイメージダストオフ機能を使用できません。
- イメージダストオフデータは画像処理ソフトウェアなどで開けません。
- イメージダストオフデータをカメラで再生する と、右の画面が表示されます。



画像コメント

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

あらかじめコメントを登録しておき、撮影する画像に添付できます。添 付されたコメントは、Capture NX-DまたはViewNX-iのメタデータで確 認できます。

### ■ コメント入力

36文字までのコメントを登録できます。[コメント入力]を選んでマル チセレクターの③を押すと、画像コメントの入力画面が表示されます。 入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法につい て」(□39)をご覧ください。

### ■ コメント添付

登録したコメントを画像に添付したいときは、 [コメント添付]を選んで ⑦を押し、チェック ボックスをオン ☑ にします。 ◎ ボタンを押す と、設定が有効になり、その後撮影した画像に は全てコメントが添付されます。



#### 🖉 画像情報に表示される画像コメントについて

入力・添付された画像コメントは、「撮影情報」の「画像コメント」に表示されます。

著作権情報

MENUボタン → Yセットアップメニュー

撮影した画像に著作権情報を添付することができます。添付された著作 権情報は、Capture NX-DまたはViewNX-iのメタデータで確認できます。

### ■ 撮影者名入力、著作権者名入力

36文字までの撮影者名と、54文字までの著作権者名を登録できます。 [撮影者名入力] または [著作権者名入力] を選んでマルチセレクター の③を押すと名前の入力画面が表示されます。入力画面での文字の入力 方法については、「入力画面の操作方法について」(□39)をご覧くだ さい。

### ■ 著作権情報添付

登録した著作権情報を画像に添付したいとき は、[著作権情報添付]を選んで④を押し、 チェックボックスをオン☑にします。∞ボタ ンを押すと、設定が有効になり、その後撮影し た画像には全て著作権情報が添付されます。



#### 🚺 著作権情報に関するご注意

- カメラを貸したり譲渡したりする場合は、撮影者名や著作権者名の違法な使用 を防ぐため、[著作権情報添付]の設定を必ず解除してください。また、撮影 者名と著作権者名は空欄にしてください。
- [著作権情報] の使用によって生じたトラブルや損害など、当社は一切責任を 負いません。

#### 🖉 画像情報に表示される著作権情報について

入力・添付された著作権情報は、「撮影情報」に表示されます。

# IPTC

MENUボタン → Yセットアップメニュー

IPTC情報をカメラで新規作成または編集して、 撮影した静止画に添付することができます。

 パソコンで作成したIPTCプリセット(IPTC 情報)をカメラに読み込んで登録すること もできます。パソコンでIPTCプリセットを 作成したり、メモリーカードに保存したり



するには、IPTCプリセット登録用ソフトウェア(ロ141)をご使用く ださい。

### ■ IPTCプリセットの新規作成/編集

[編集と登録] を選んでマルチセレクターの ⑦ を押すと、[編集/登録対象を選択] 画面が表示され、IPTC プリセットの新規作成または編集が行えます。

- IPTCプリセットを選んで
   ・を押すと、IPTCプリセット名の変更や、内容の編集ができます。IPTCプリセットを新規作成したい場合は、
   「Unused」の項目を選んで
   ・を押します。
  - [登録名の変更]: IPTCプリセット名を変更できます。
  - [登録内容の編集]:IPTCプリセット項目が一覧表示されます(四141)。 項目を選ぶと、登録内容変更画面が表示されます。
- 入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」(四39)をご覧ください。
- IPTCプリセットを選んで<sup>●</sup>(ボタンを押すと、IPTCプリセットの内容を 複製できます。登録先を選んで<sup>●</sup>(ボタンを押し、登録名を入力してく ださい。

### ■登録内容の削除

[削除]を選んで €を押すと、登録したIPTC プリセットを削除できます。

## ■ 登録内容の添付

[撮影時自動付加]を選んで ⑦を押すと、右 のようなIPTC プリセットの選択画面が表示さ れます。IPTC プリセットを選んで ◎ボタンを 押すと、その後撮影した静止画には選んだ IPTC プリセットが添付されます。[しない]を 選ぶと、IPTC プリセットは添付されません。



## ■ メモリーカードに保存したIPTCプリセットを カメラに登録

[メモリーカードを使用]の[カメラに登録] を選んでマルチセレクターの③を押すと、あ らかじめメモリーカードに保存したIPTCプリ セットを最大10個カメラに登録できます。

カメラに登録したいIPTCプリセットを選び、

 ・ボタンを押すと、[登録先を選択] 画面が



表示されます(選んだIPTCプリセットの内容を確認したい場合は、 ℗ ボタンの代わりに ♀ (\$) ボタンを押します。確認を終了して[登録 先を選択]画面に進むには ◎ボタンを押します)。

●登録先を選んで 
 ● ボタンを押すと、名前の入力画面が表示されます。

 ●ボタンを押すと、選んだIPTCプリセットがカメラに登録されます。

# ■ カメラに登録したIPTCプリセットをメモリー

### カードに保存

[メモリーカードを使用]の[メモリーカードにコピー]を選んで④を押 すと、カメラに登録されているIPTCプリセットをメモリーカードにコ ピーできます。IPTCプリセットとコピー先(1~99)を選んで@ボタン を押すと、選んだIPTCプリセットがメモリーカードにコピーされます。

#### 🖉 IPTCプリセット(IPTC情報)

IPTC情報とは、国際新聞電気通信評議会(IPTC)が作成した基準で、写真をさ まざまな出版物で共有する場合に必要な情報を簡易化し、明確化するために考 案されています。

#### ☑ IPTCプリセット登録時のご注意

- メモリーカードを2枚使用している場合、静止画撮影メニューの「主スロットの選択」(□040)で選んだ主スロットのカードが対象になります。
- カメラでは半角英数字のみ表示できます。その他の文字は、カメラでは伏せ文字で表示されますが、IPTCプリセットを添付した画像をパソコンで表示すると、正しく表示されます。
- 登録名(□139)は半角英数字18文字まで登録できます。IPTCプリセット登録用ソフトウェアを使ってカメラに登録する場合、IPTCプリセットの登録名が18文字以上のときは、18文字を超える文字は削除されます。
- 各IPTC ブリセットには、登録可能な文字数の制限があります。下記の文字数 を超える文字は削除されます。

IPTCプリセット	登録可能文字数 (半角英数字)	IPTCプリセット	登録可能文字数 (半角英数字)
Caption	2000	Supp. Cat.	
Event ID	64	(Supplemental	256
Headline	256	Categories)	
Object Name	256	Byline	256
City	256	Byline Title	256
State	256	Writer/Editor	256
Country	256	Credit	256
Category	3	Source	256

#### 🖉 IPTCプリセットをパソコンで作成するには

IPTC プリセット登録用ソフトウェア IPTC Preset Managerを使うと、パソコンで IPTC プリセットを作成して、メモリーカードに保存できます。IPTC Preset Manager は、下記ホームページからダウンロードしてインストールできます。IPTC Preset Managerの使用方法は、IPTC Preset Managerのヘルプを参照してください。 http://downloadcenter.nikonimglib.com/

#### 🖉 WebブラウザーでIPTCプリセットを作成するには

WT-7を使ってHTTPサーバーモード(四192)でパソコンやスマートフォンの Webブラウザーとカメラを接続している場合、Webブラウザー上でIPTCプリ セットを作成して静止画に添付できます。

雷子音設定

#### MENUボタン → Yセットアップメニュー

電子音の音の高さや音量を設定できます。

### ■ 音量

電子音の音量を設定できます。

- [電子音なし] を選ぶと、電子音は鳴りません。
- [音量]を[電子音なし]以外に設定すると、次の場合に電子音が鳴 ります。
  - セルフタイマー作動中
  - ミラーアップ撮影で2回目にシャッターボタンを全押ししたとき
  - 微速度撮影終了時
  - -オートフォーカスのピントが合ったとき(ただし、AFモードが**AF-C** のとき、およびカスタムメニューa2 [**AF-Sモード時の優先**](ロ74) が [**レリーズ**]の場合は、電子音は鳴りません)
  - タッチパネルを使用して文字入力をしているとき(四39)
- 動画撮影時、およびレリーズモードがQまたはQcの場合は、「電子音設定」の設定にかかわらず、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。

### ■ 音の高さ

電子音の音の高さを [高音] と [低音] から選べます。

## 



タッチ操作

画像モニターのタッチ操作の機能を設定できます。

### ■ タッチ操作の設定

タッチ操作の有効または無効を切り換えられます。

### ■1コマ送り時のフリック操作

1コマ表示モードで、次の画像を表示するフリック操作を設定できます。

-	左←右	画像モニターの右側から左側にフリックすると、 されます。	次の画像が表示
•	左→右	画像モニターの左側から右側にフリックすると、 されます。	次の画像が表示

# **HDMI**

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

HDMI対応機器との接続時の設定を変更できます(ロ199)。

位置情報

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

スマートフォンやGPS機器と接続して、位置情報を取得するときの設定 を変更できます。

スマート フォン から取得	<ul> <li>[する]を選ぶと、スマートフォンから取得した位置情報を撮影した画像に記録します。</li> <li>カメラの電源がOFF、または半押しタイマーがオフのときは位置情報を取得しません。</li> <li>スマートフォンから取得した位置情報は、取得から2時間経過すると消去されます。</li> <li>カメラにスマートフォンとGPS機器を接続している場合は、GPS 機器からの位置情報が反映されます。</li> </ul>		
情報表示	スマートフォンまたはGPS機器と接続したときに取得した情報を 表示します。 ・緯度:緯度を表示します。 ・経度:経度を表示します。 ・標高*:標高を表示します。 ・方位*:方位を表示します。 ・UTC:UTC(協定世界時)を表示します。 ※対応するGPS機器と接続したときに表示されます。		
	GPS機器接続時の設定を変更できます。		
GPS 機器設定	半押し タイマー	<ul> <li>【有効】を選ぶと、カメラを操作していないとき、カスタムメニュー c2 [半押しタイマー](□186)で設定された時間で半押しタイマーがオフになります。</li> <li>・カメラのパッテリーの消耗を少なくすることができます。</li> <li>・GP-1/GP-1Aとの接続時には、電源をONにした直後または半押しタイマーがオンになった直後は、カメラが位置情報を取得できるまで半押しタイマーがさらに最大1分間延長されます。</li> <li>・GP-1/GP-1Aとの接続時には、半押しタイマーがオフになってからも、位置情報の測位を一定時間継続します。</li> </ul>	
	衛星による 日時合わせ	[する]を選ぶと、GPS機器接続時に取得した日時の情報でカメラの内蔵時計を合わせます。	

#### 144 メニューガイド
## リモコン(WR)設定

MENUボタン → Yセットアップメニュー

別売のワイヤレスリモートコントローラーWR-R10を装着している場合 に、LEDランプの点灯とリンクモードを設定できます。また、電波制御 アドバンストワイヤレスライティングに対応した別売スピードライト とワイヤレス接続する場合にも使用できます。

### ■ LED ランプの点灯

カメラに装着したワイヤレスリモートコントローラーWR-R10の動作状態を表すLEDランプを点灯させるかどうかを設定できます。LEDランプ が表す動作状態については、ワイヤレスリモートコントローラーの使用 説明書をご覧ください。

## ■ リンクモード

他のカメラに装着したワイヤレスリモートコントローラー WR-R10や、 電波制御アドバンストワイヤレスライティングに対応したスピードラ イトと接続する方法を選べます。接続する機器も、必ず同じ設定を選ん でください。

ペアリング	カメラに装着したワイヤレスリモートコントローラー WR-R10 のペアリングボタンを押して、接続する機器とペアリングを行 います。		
PIN⊐−ド	PINコードを入力できます。マル チセレクターの③または④で桁 を選んで、④または④で数値を 変更します。◎ボタンを押すと設 定が変更され、画面に設定した PINコードが表示されます。	Uモコン(IRE) 設定     PINコード     O 0 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0     O 0 0 0	

ペアリング済みのワイヤレスリモートコントローラーからの電波は、
 [リンクモード]の設定にかかわらずWR-R10で受信できます。ワイヤレスリモートコントローラーWR-1をご使用の場合、WR-1のリンクモードをペアリングモードに設定してください。

### 🖉 ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10を使用するには

- カメラに装着するには、WR用変換アダプター WR-A10が必要です。
- WR-R10のファームウェアを最新版にバージョンアップしてお使いください。 ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページでご 確認ください。

# リモコン(WR)のFnボタンの機能

MENUボタン → ♥セットアップメニュー

Fnボタンのある別売のワイヤレスリモートコントローラーで、Fnボタン を押したときの機能を以下の項目から設定できます。各項目についての 詳しい説明は、98ページの「ボタンを押したときの機能」をご覧ください。

8	プレビュー	AF-ON	AF-ON
۶L	FV-L	<b>()</b> /\$	\$発光禁止/許可切換
AF	AE-L/AF-L	+RAW	プラスRAW記録
ĀĒ	AE-L	Lv	ライブビュー ※
Å S	AE-L(レリーズでリセット)		設定しない

AF-L

※ カメラの回ボタンと同じ機能になります。

機内モード MENUボタン → Yセットアップメニュ-

[**有効**] にすると、Bluetooth、Wi-Fi、およびEye-Fiを使った無線通信 をOFFにすることができます。

内蔵無線機能、Eye-Fi以外の無線通信機器との接続を無効にする場合は、カメラから無線通信機器を取り外してください。

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

#### カメラとスマートフォンを接続するときの設定を行います。

スマートフォンと接続

開始	カメラとスマートフォンを 接続するためのガイドを表 示します。	SnapBridge S あなたの映像を、世界につなげよう 団後で G3進む
パスワードによる 保護	カメラとスマートフォンを接 ワードの設定およびパスワート 設定ができます。入力画面での 「入力画面の操作方法について」	続するときに、任意のパス ドによる保護の有効/無効の 文字の入力方法については、  (四 39)をご覧ください。

#### 🖉 セキュリティーについて

本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接 続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っ ていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ●情報の漏洩:悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードなどの個人情報が漏洩する可能性があります。
- 不正アクセス:悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティーを設定したにもかかわらず、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の上ご使用ください。

スマートフォンへの自動送信

MENUボタン → Yセットアップメニュー

[する] にすると、撮影するたびに画像をスマートフォンへ自動送信します。カメラとスマートフォンを無線接続していないときに撮影した画像は、送信予約され、接続したときに送信されます。動画は自動送信されません。

#### 🖉 画像の送信予約について

- ・静止画撮影メニューの[副スロットの機能](□40)が[バックアップ記録]の場合、副スロットに記録する画像は送信されません。
- 1000件の送信予約が可能です。
- 送信予約した画像のレーティング設定を変更する場合は、[Bluetooth]の[通 信機能]を[無効]にするか[機内モード]を[有効]にして無線通信機能を OFFにしてください。

## Wi-Fi

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

Wi-Fi (無線LAN) に関する設定を行います。

接続設定	Wi-Fi接続に関する設定を行います。
現在の設定	現在のWi-Fi接続の設定内容を表示します。
接続設定の初期化	Wi-Fiの接続設定を初期化します。

**Bluetooth** 

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

カメラとスマートフォンを接続するときの設定、およびペアリング済み 機器の表示を行います。

通信機能	無線通信機能の有効/無効を設定します。
ペアリング済み機器	ペアリングしたスマートフォンを一覧表示します。
電源OFF中の通信	カメラの電源がOFFのときや半押しタイマーがオフのとき に、カメラとスマートフォンの無線通信を行うかどうかを 設定します。

ネットワーク

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

別売のワイヤレストランスミッターWT-7を接続して、無線LANまたは 有線LANでパソコンやFTPサーバーと通信する場合の設定を行います (ロ192)。

### Eye-Fi送信機能

#### MENUボタン → ¥セットアップメニュー

このメニューは、市販のEye-Fiカードをカメラに挿入したときのみ、表示されます。Eye-Fi送信機能を使用するときは、あらかじめ [Bluetooth] の [通信機能]、および [機内モード](ロ146)を [無効] に設定して ください。

有効	カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信します。
無効	Eye-Fi送信機能を使用しません。

- 電波の状態が悪い場合、「有効」に設定していても送信できないことがあります。
- •電波の出力が禁止されている場所では、設定を[無効]にしてください。

### ☑ Eye-Fi送信機能が無効のときのご注意

[無効] に設定しているときでも、電波が出力される場合があります。[無効] に 設定していても 念が表示されるときは、カメラがEye-Fiカードをコントロールで きていません。カメラの電源をOFFにしてEye-Fiカードを取り出してください。

#### ☑ 機内モード使用後にEye-Fi送信機能を使うときのご注意

[機内モード](□146)を[有効]にすると、[Eye-Fi送信機能]は[無効]に 切り替わります。無線通信を再開したときに、Eye-Fi送信機能を使うには、 [Eye-Fi送信機能]を再度[有効]にしてください。

#### 🖉 Eye-Fiカード使用時の表示について

カメラ内のEye-Fiカードの通信状態は、インフォ 画面のEye-Fi通信マークで確認できます。

- 🛜 (点滅): 画像の送信中です。
- 🛜:未送信の画像がありません。



- ・

   ・
   、
   :
   エラーが発生しました。Eye-Fiカードをコントロールできません。

   ・
   表示パネルとファインダー内表示の記録可能コマ数表示部で

   【
   *R* d
   が点滅している場合は、Eye-Fiカードのファームウェアが最新版になっているか確認してください。ファームウェアが最新版でもエラーが発生する場合は、新しい
   Eye-Fiカードに交換するか、必要な画像をパソコンなどに転送してバックアップした後、カメラでEve-Fiカードをフォーマットしてからご使用ください。
  - **【R**・**d**が点滅していない場合は、続けて撮影できます。ただし、Eye-Fi送信機能の設定を変更できないことがあります。

#### 🚺 Eye-Fiカードを使用するときのご注意

- Eye-Fiカードの使用方法はEye-Fiカードの使用説明書をご覧ください。Eye-Fi カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。
- このカメラには Eye-Fi カードの通信機能を ON/OFF する機能がありますが、 Eye-Fiカードの全ての機能を保障するものではありません。
- Eye-Fi カードは、ご購入された国でのみ使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。
- Eye-Fiカードを使う場合は、カスタムメニュー c2 [**半押しタイマー**] を30秒 以上に設定してください。
- Eye-Fiカードの販売の有無は地域によって異なりますので、カードメーカーに お問い合わせください。
- Eye-Fiカードのファームウェアを最新版にバージョンアップしてお使いください。

## 認証マークの表示

MENUボタン → Yセットアップメニュー

このカメラが取得している認証マークの一部を表示します。

### MB-D17電池設定

MENUボタン → ↑セットアップメニュー

別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D17に単3形電池を入れて使 用するときに、カメラが電池残量をより正確に表示できるように、電池 の種類を指定してください。ただし、Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15a/EN-EL15またはEN-EL18b/EN-EL18a/EN-EL18を使用する場 合は、設定する必要がありません。

MB-D17で使える市販の単3形電池は、アルカリ電池、ニッケル水素充 電池、リチウム電池です。次の表に合わせて正しく設定してください。

 電池設定を正しく設定していない場合、カメラが正常に作動しないお それがあります。

		対応する電池
ÖLR6	アルカリ単3形電池	アルカリ単3形電池
ÔNi-MH	Ni-MH単3形充電池	ニッケル水素単3形充電池
₿FR6	リチウム単3形電池	リチウム単3形電池

#### 🖉 単3形電池の使用について

別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D17に単3形電池(アルカリ電池、 ニッケル水素充電池、リチウム電池)を電源として使用するときは、次のこと にご注意ください。

- アルカリ電池を電源として使用した場合、他の電源を使用した場合と比較して撮影できるコマ数が極端に減少します。通常の撮影では他の電源を使用し、アルカリ電池は緊急用として使用してください。また、低温時は使用しないでください。
- 電池のメーカーや銘柄によっては、撮影できるコマ数が少なかったり、使用できない場合があります。
- 周囲の温度が20℃よりも低い環境では、撮影できるコマ数が極端に減少する 場合があります。
- 電池の使用推奨期間内であっても、保管状態によっては撮影できるコマ数が減少したり、使用できない場合があります。
- 単3形電池を使っているときは、表示パネルとファインダー内の電池残量表示 は次のようになります。

表示パネル	ファインダー	意味
477774	表示なし	バッテリーは充分に残っています。
4	-	バッテリーが残り少なくなりました。 バッテリー 交換の準備をしてください。
◀ (点滅)	■ (点滅)	撮影できません。バッテリーを交換してください。

## 電池の使用順序

MENUボタン → ♥セットアップメニュー

別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D17装着時に、MB-D17に 入っている電池から使用するか、カメラに入っているバッテリーから使 用するかを設定します。

MB-D17側のバッテリーを使用しているときのみ、表示パネルに■アイコンが表示されます。



 ・別売のパワーコネクターと AC アダプター
 「■ ▲ 」
 をMB-D17に接続している場合は、セットアップメニュー [電池の使 用順序]の設定にかかわらず、常にACアダプターを使用します。

雷池チェック

MENUボタン → Yセットアップメニュー

カメラに装着中のバッテリーの情報を表示します。



残容量	バッテリーの残量を1%単位で表示します。
撮影回数	充電後にシャッターをきった回数を表示します。
キャリブ レーション	<ul> <li>別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D17装着時に、Li-ionリ チャージャブルバッテリー EN-EL18b/EN-EL18a/EN-EL18が入っ ている場合に、キャリブレーションの必要性の有無を表示します。</li> <li>キャリブレーションはバッテリー容量をより正確に測定するための機能で、充放電をある程度繰り返すと[業CAL]が表示されます。</li> <li>[業CAL]が表示されているときは、キャリブレーションすることをおすすめします。</li> <li>[]が表示されているときは、キャリブレーションの必要はありません。</li> </ul>
劣化度	<ul> <li>バッテリーの劣化度合いが5段階のバーグラフで表示されます。</li> <li>バーグラフが「0」(20)のときは、バッテリーは劣化していません。</li> <li>バーグラフが「4」(19)のときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。</li> </ul>

✓ 撮影回数について

[撮影回数] に表示される回数は、シャッターをきった回数です。ホワイトバラ ンスのプリセットマニュアルデータ取得など、実際に画像がメモリーカードに 記録されない場合でも、シャッターをきるごとに1ずつ加算されます。

#### ▶ 低温で充電した場合の劣化度表示について

ー般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、バッテリーに充電できる 容量は少なくなります。新品のバッテリーでも、約5℃以下の低温で充電した場 合、[電池チェック] で劣化度が「1」と表示されることがありますが、約20℃ 以上で再充電すると劣化度の表示は「0」に戻ります。 🜌 マルチパワーバッテリーパックMB-D17装着時の表示について

別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D17を 装着している場合、MB-D17に入れたバッテリー がLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15a/ EN-EL15のときは、カメラに装着したバッテリー と同様に表示されます。バッテリーがEN-EL18b/ EN-EL18a/EN-EL18の場合、キャリブレーション 情報が追加され、キャリブレーションの必要性の



有無を表示します。単3形電池を使用している場合は、残容量にバッテリー残量 表示のアイコンが表示され、その他の項目は表示されません。



MENUボタン → Yセットアップメニュー

カメラにメモリーカードを入れていないときのレリーズ操作を設定できます。

LOCK	レリーズ禁止	メモリーカードを入れていないときは、シャッターはきれ ません。
OK	レリーズ許可	メモリーカードを入れていないときでも、シャッターがき れます。再生時には [デモモード] と表示され、画像は記 録できません。

### カメラ設定の保存と読み込み

MENUボタン → Yセットアップメニュー

カメラの各機能の設定データをメモリーカードに保存できます。また、 メモリーカードに保存されている設定データをカメラで読み込むこと もできるので、複数のD500を同じ設定で使う場合などに便利です。

 メモリーカードを2枚使用している場合、静止画撮影メニューの[主 スロットの選択](□40)で選んだ主スロットのカードが対象になります。

設定を保存、読み込みできる機能は次の通りです。

	再生画面設定
	撮影直後の画像確認
<b>声</b> # マー -	削除後の次再生画像
冉生メニュー	連続撮影後の再生画像
	縦横位置情報の記録
	縦位置自動回転
	静止画撮影メニューの管理
	静止画撮影メニューの拡張
	ファイル名設定
	主スロットの選択
	副スロットの機能
	フラッシュ発光
	撮像範囲設定
静止画撮影メニュー	画質モード
(A~D全メニュー)	画像サイズ
	RAW記録
	ISO感度設定
	ホワイトバランス(微調整値、プリセットマニュアルデータ)
	ピクチャーコントロール(登録されたカスタムピクチャー
	コントロールは [ <b>スタンダード</b> ] で保存します)
	色空間
	アクティブD-ライティング
	長秒時ノイズ低減

156 メニューガイド

	高感度ノイズ低減
教训不相同公司	ヴィネットコントロール
	自動ゆがみ補正
	フリッカー低減
	オートブラケティングのセット
	ファイル名設定
	動画記録先
	撮像範囲設定
	画像サイズ/フレームレート
	動画の画質
	ISO感度設定
	ホワイトバランス(微調整値、プリセットマニュアルデータ)
動画提影 イニュー	ピクチャーコントロール(登録されたカスタムピクチャー
劉画取影/ーユー	コントロールは <b>[スタンダード</b> ]で保存します)
	アクティブD-ライティング
	高感度ノイズ低減
	フリッカー低減
	マイク感度
	録音帯域
	風切り音低減
	電子手ブレ補正
カスタムメニュー (A~D全メニュー)	全メニュー
	言語 (Language)
	地域と日時([日時の設定]、[スマートフォンと同期]を除く)
	インフォ画面の表示設定
	レンズ情報手動設定
ᆂᅭᅣᆋᅭᅾ	イメージセンサークリーニング
セットアップ	画像コメント
×=1-	著作権情報
	IPTC
	電子音設定
	タッチ操作
	HDMI

	位置情報([スマートフォンから取得]を除く)
	リモコン (WR) 設定
キットマップ	リモコン(WR)のFnボタンの機能
セットアップ	Eye-Fi送信機能
×=1-	MB-D17電池設定
	電池の使用順序
	カードなし時レリーズ
	マイメニューに登録したメニュー項目
マイクニュー/ 最近設定した項目	最近設定したメニュー項目
取れ政権した項目	このタブの機能変更

### ■保存

カメラの設定データをメモリーカードに保存します。メモリーカードに 空き容量がない場合は、エラーメッセージが表示され、設定データは保 存されません。保存された設定データは他機種のカメラとの互換性はあ りません。

### ■ 読み込み

メモリーカードからカメラの設定データを読み込みます。メモリーカードが装着されていないときや、メモリーカードに設定データが記録されていないときは、[読み込み] は選べません。

### ▶ 設定データについてのご注意

メモリーカードに保存したカメラの設定データのファイル名は「NCSETUP\*\*」 です。「\*\*」に入る文字はカメラの機種によって異なります。ファイル名を変更 すると、設定データを読み込めなくなるためご注意ください。

## カメラの初期化

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

セットアップメニュー [言語 (Language)] と [地域と日時] を除く、 すべての設定をリセットして初期設定(ロ9)に戻します。著作権情報 やIPTCなどの撮影者が入力したデータも初期化されます。初期化した設 定は元には戻せないのでご注意ください。

あらかじめセットアップメニュー [カメラ設定の保存と読み込み]
 (四156) で設定データを保存しておくことをおすすめします。

## ファームウェアバージョン

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

カメラを制御する「ファームウェア」のバージョンを表示します。



MENUボタンを押して、タブの プアイコンを選ぶと、画像編集メニュー が表示されます。



画像編集メニューでは、メモリーカード内の撮影済み画像を編集するこ とができます。編集された画像は、元の画像とは別に、新しい画像とし てメモリーカードに記録されます。画像編集メニューの項目は次の通り です。

カメラにメモリーカードが入っていない場合やメモリーカードに画像が記録されていない場合は、画像編集メニューはグレーで表示されて選択できません。

メニュー項目	m	メニュー項目	
B∰ RAW現像	163	🚺 アオリ効果	172
🖌 トリミング	165	🕢 フィルター効果	173
🔚 リサイズ	166	□ モノトーン	174
D-ライティング	169	● 画像合成※1	175
⑦ 赤目補正	170	💭 動画編集	179
【■ 傾き補正	170	■+ロ 編集前後の画像表示 <sup>※2</sup>	179
🕶 ゆがみ補正	171		

※1 MENUボタンを押して、タブのプアイコンを選んだときのみ表示されます。
※2 編集前または編集後の画像を1コマ表示して、<sup>®</sup>ボタンを押しながら<sup>®</sup>を押すか、1ボタンを押して「**画像編集**]を選んだときのみ表示されます。

# <u>画像編集の操作方法</u>

- 1 画像編集メニューでメニュー項目を 選ぶ
  - マルチセレクターの
     または
     でメニュー項目を選び、
     を押します。

## 2 画像を選ぶ

- マルチセレクターで画像を選びます。
- ・
   ペボタンを押している間、選んだ画像
   を拡大表示します。
- (≤)ボタンを押すと、[スロット/ フォルダー指定]画面が表示され、ス ロットやフォルダーを切り換えられます。
- ●画像を選んで◎ボタンを押すと、編集画面が表示されます。

### 3 画像を編集する

- 画像の編集方法については、各項目の説明をご覧ください。
- 画像編集を途中でやめるには、MENUボタンを押してください。画像編集メニューに戻ります。

### 4 編集した画像を記録する

- ●ボタンを押すと、編集した画像を記録します。
- 画像編集した画像には

   が付きます。









### 🖉 選んだ画像を編集する

編集したい画像を再生し、∞ボタンを押しながら③を押すか、**・**ボタンを押して [**画像編集**]を選ぶと、画像編集メニューが表示され、選んだ画像を編集できます。

#### ▶ ■像編集についてのご注意

- このカメラ以外で撮影または編集した画像やパソコンで編集した画像は、この カメラでは再生または編集できないことがあります。
- ・ 画像編集中に何も操作しないまましばらくすると、画像モニターが消灯し、編集中の画像は保存されません。カスタムメニュー c4 [モニターのパワーオフ時間](□287)の[メニュー表示]の時間を長く設定することをおすすめします。

#### ▶ 繰り返し画像編集する場合のご注意

- 画像編集によって作成した画像に、さらに画像編集を行うこともできますが、 画像が粗くなったり、褪色したりする場合があります。
- 同じ画像編集を繰り返し行うことはできません(「画像合成]、「動画編集」の 「始点/終点の設定」を除く)。
- 画像編集の組み合わせによっては繰り返し編集できないものもあります。
- 選択中の画像に使用できない画像編集項目は、画像編集メニューでグレーで表示されて選べません。

### 📝 画質モードについて

- ・元画像がTIFF(RGB)またはRAWを含む画質モードで撮影された画像の場合、 [画質モード](□146)が[FINE★]のJPEG画像になります。
- 元画像がJPEGの場合は、元画像と同じ画質モードになります。
- RAW画像とJPEG画像を1枚のメモリーカードに同時に記録した場合は、RAW 画像が画像編集の対象になります。

#### 🖉 画像サイズについて

画像編集した画像は、元画像と同じ画像サイズで記録されます([トリミング] と[リサイズ]を除く)。

# RAW現像(パソコンを使わずにRAW画像をJPEG 画像に変換する)

MENUボタン → 🖌 画像編集メニュ-

RAWを含む画質モードで記録したRAW画像を、カメラでRAW現像して JPEG画像を作成できます。

### 画像編集メニュー画面で [RAW現 像] を選ぶ

 [RAW現像] を選んでマルチセレク ターの③を押すと、RAW画像がサムネ イル表示されます。



## 2 RAW現像する画像を選ぶ

- マルチセレクターでRAW現像する画像 を選んで®ボタンを押します。
- ・
   ペボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。



## 3表示されている項目をそれぞれ設定する



## 4 RAW現像する

- [現像] を選んで@ボタンを押すと、 JPEG画像を保存します。
- RAW現像後のJPEG画像が保存されます。
- キャンセルして画像編集メニューに戻る ときは、MENUボタンを押してください。



#### ✓ RAW現像についてのご注意

- RAW現像できる画像は、このカメラで撮影したRAW画像だけです。機種の異なるカメラで撮影したRAW画像やRAW以外の画質モードで撮影した画像は選べません。
- 多重露出撮影した画像や「画像合成」で編集した画像の場合、「ホワイトバランス」と「ヴィネットコントロール」は選べません。
- [露出補正] で設定できる明るさ(-2~+2)は、通常の露出補正の段数とは 異なります。

トリミング

画像の必要な部分だけを切り抜きます。

編集画面では、トリミング範囲の黄色い枠が表示され、次の操作ができます。

切り抜く範囲を 狭くする	<b>92</b> ( <b>5</b> )	<b>♀≈(</b> \$)ボタンを押すごとにトリミングで切 り抜かれる範囲が狭くなります。
切り抜く範囲を 広くする	€	<b> </b> 令 ボタンを押すごとにトリミングで切り抜か れる範囲が広くなります。
画像のアスペクト比 (縦横比)を変更する	<b>N</b>	メインコマンドダイヤルを回すと、アスペク ト比を変更できます。
切り抜く範囲を 移動する		トリミングで切り抜く範囲を移動します。マ ルチセレクターを押し続けると、高速で移動 します。
画像のプレビューを 見る		トリミングした画像のイメージを見ることが できます。
トリミングを 実行して画像を 保存する	œ	トリミングした画像が記録されます。

### ▼ トリミング画像についてのご注意

- トリミング画像は、拡大表示できないことがあります。
- トリミング画像の画質モード(□246)は、元画 像の画質モードがRAWを含む画質モードや TIFFのときは[FINE★]になり、JPEGのとき は元画像と同じ画質モードになります。
- トリミング画像の画像サイズは編集画面の左上
   に表示されます。画像サイズは、トリミングする範囲とアスペクト比(横:縦)により変わります。



リサイズ

MENUボタン → J 画像編集メニュー

サイズの小さい画像を作成します。メモリーカードを2枚使用している 場合は、記録先のスロットも指定できます。

### ■ 複数の画像を選んでリサイズ画像を作成する

MENUボタンを押して画像編集メニューを選んだ場合、複数の画像のリサイズ画像を一度に作成できます。

1	画像編集メニュー画面で	[リサイズ]
	を選ぶ	

[リサイズ]を選んでマルチセレクターの③を押します。

### 2記録先のスロットを選ぶ

- メモリーカードを2枚使用している場合 は、[記録先スロットの選択]を選んで
   ④を押します。
- メモリーカードが1枚しか入っていない 場合は、[記録先スロットの選択]を選 べません。手順3に進んでください。
- ●または
   でスロットを選び、
   ●ボタンを押します。



画像編集メニュー

-115

1

8.

۲

1



3 画像サイズを設定する • [画像サイズの設定] を選んで③を押し ます。	リサイズ     団像選択     電像選択     記録先スロットの選択     団像サイズの設定     電
<ul> <li>●または●で画像サイズを選び、◎ボ</li> <li>タンを押します。</li> </ul>	リサイズ 画像サイズの設定





3.5м 2304×1536

## 5 リサイズしたい画像を選ぶ

- マルチセレクターを操作して、リサイズしたい画像を選びます。
- ・
   ペボタンを押している間、選んだ画像を 拡大表示します。



# 6 設定する

- マルチセレクターの中央ボタンを押して設定します、設定すると■が表示されます。もう一度中央ボタンを押すと、
   ■が消えます。

# 7 リサイズ画像を作成する

 ・確認画面で[はい]を選んで◎ボタンを 押すと、リサイズ画像が保存されます。





### ▶ リサイズ画像についてのご注意

- リサイズ画像は、拡大表示できないことがあります。
- リサイズ画像の画質モード(□146)は、元画像の画質モードがRAWを含む画 質モードやTIFFのときは[FINE★]になり、JPEGのときは元画像と同じ画質 モードになります。

D-ライティング

MENUボタン → 🖌 画像編集メニュー

D-ライティングでは、画像の暗い部分を明るく補正できます。逆光で撮影したために顔の部分だけが暗くなった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなった画像などに効果的です。



D-ライティング前



D-ライティング後

編集画面では、D-ライティング効果の適用前と適用後のプレビュー画像を表示します。

- マルチセレクターの③または③を押すと、効果の度合いを選べます。効果の度合いは、設定画面のプレビュー画像で確認できます。
- ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。



# 赤目補正

#### MENUボタン → J 画像編集メニュ-

フラッシュ撮影時の「赤目現象」によって人物の瞳の部分が赤くなって しまった画像を、補正できます。

- •フラッシュを発光しないで撮影した画像は選べません。
- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。

### ▶ 赤目補正についてのご注意

赤目補正を行う場合は、次のことにご注意ください。

- 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
- でくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。
   赤目補正を行う場合は、画像を保存する前に、プレビュー画像で効果をよく確

認してください。

# 傾き補正

MENUボタン → 🛃 画像編集メニュ-

画像の傾きを±5°の範囲(約0.25°ステップ) で補正できます。

- •編集画面では、プレビュー画像を表示します。
- 補正する傾きが大きくなるほど、画像周辺 部は切り取られます。



傾きを補正する		マルチセレクターの④を押すと時計回りに傾 き、④を押すと反時計回りに傾きます。
傾き補正を実行して 画像を保存する	©K)	傾き補正した画像が記録されます。

ゆがみ補正

MENUボタン → 🖌 画像編集メニュ-

広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠 レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正でき ます。[オート]を選ぶと画像のゆがみを自動 的に判別して補正しますが、好みに応じて微 調整することもできます。[マニュアル]を選 ぶと自分でゆがみを補正できます。



- 編集画面では、プレビュー画像を表示します。
- [オート]は、Gタイプ、Eタイプ、Dタイプレンズで撮影した画像の み機能します。ただし、PCレンズ、フィッシュアイレンズ、その他一 部のレンズで撮影した画像には機能しません。また、対応レンズ以外 で撮影した画像については、動作を保証しません。
- [自動ゆがみ補正](□55)を行った画像の場合、[マニュアル]のみ 選べます。

ゆがみを補正する		<ul> <li>たる型のゆがみを補正するには、マルチセレクターの③を押します。</li> <li>糸巻き型のゆがみを補正するには、④ を押します。</li> </ul>	
ゆがみ補正を実行して 画像を保存する	©®	ゆがみ補正した画像が記録されます。	

▶ ゆがみ補正についてのご注意

補正するゆがみが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。

## アオリ効果

MENUボタン → J 画像編集メニュ-

高層ビルを見上げて撮影したときなどに生じ る、遠近感による被写体のゆがみを補正します。

- •編集画面では、プレビュー画像を表示します。
- アオリ効果が大きくなるほど、画像周辺部 は切り取られます。



アオリ効果を 調節する		マルチセレクターの���� でアオリの効果 を変更できます。
アオリ効果を 実行して画像を 保存する	œ	アオリ効果の画像が記録されます。



アオリ効果処理前



アオリ効果処理後

フィルター効果

### MENUボタン → 🛃 画像編集メニュー

画像全体の色調を演出できます。

スカイライト	スカイライトフィルターのよ うに、画像の青みを抑える効 果があります。	<b>X</b> 1/5/1
ウォーム トーン	画像を暖色にする効果があり ます。	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)

●ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。



され、色調を選ぶことができます。



白黒	モノクロになります。		
セピア	セピア色(褐色)のモノトーンになります。		
クール	ブルー系のモノトーンになります。		

- 編集画面では、プレビュー画像 を表示します。
- [セピア] または [クール] を選 んだ場合は、マルチセレクター で色の濃さを調整できます。
   を押すと色が濃くなり、





すと色が薄くなります。調整した色の濃さはプレビュー画像に反映されます。

●ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

## 画像合成

#### MENUボタン → 🖌 画像編集メニュー

メモリーカードに記録されているRAW画像2コマを重ね合わせて1コマ の画像に合成できます。RAWデータを使用して合成するため、通常の アプリケーションソフトウェアなどで画像を合成する場合と比べ、階調 特性に優れた画像になります。



**1** 画像編集メニュー画面で [画像合成] を選ぶ

 ・ 「画像合成」を選んでマルチセレクターの
 ・の
 ・を押すと、右のような画面が表示
 され、
 「画像1] 欄がハイライト表示さ
 れます。



## 2 合成する画像の1コマ目を選ぶ

- ・ (※ボタンを押すと表示されるRAW画像のサムネイル一覧から、1コマ目の画像を選びます。)
- (ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。)



● (≤) ボタンを押すと、[スロット/フォルダー指定] 画面が表示され、スロットやフォルダーを切り換えられます。

# 31コマ目の画像を決定する

● ◎ボタンを押すと、選んだ画像が1コマ目に設定され、[画像1]欄にプレビューが表示されます。

## 4 2コマ目の画像を選ぶ

 ・ ②を押して [画像2] を選び、手順2~3 と同じ手順で2コマ目の画像を選びます。





## 5 ゲインを調節する

・プレビュー欄に (画像1) と (画像2) を合成した画像が表示されます。プレ ビュー欄で確認しながら、合成画像の 明るさが適正になるように、(画像1) または (画像2) を選んでから◆また は◆を押してゲイン(出力)を設定します。



- ・ゲインは0.1~2.0の範囲で、0.1ステップで設定できます。
- 各数値は初期設定の1.0(補正なし)を基準にした比率です。たとえば0.5にするとゲインは約半分になります。

### 176 メニューガイド

# 6 プレビュー欄に移動する

- ③または③を押して、プレビュー欄に 移動します。
- ・合成画像を確認せずに画像を保存した
   いときは、
   [保存]を選んで
   ・ボタンを
   押してください。

## 7 合成画像を確認する

- ● [合成] を選び、 ◎ ボタンを押すと、 合 成画像の確認画面が表示されます。
- ・設定をやり直したいときは、Q☎(\$) ボタンを押してください。手順6の画面 に戻ります。

## 8 合成画像を保存する

 もう一度∞ボタンを押すと、合成画像 が保存され、合成画像が表示されます。







### ▶ 画像合成についてのご注意

- プレビュー画像と実際の合成画像では、色や明るさなどの見え方が異なること があります。
- 合成できる画像は、このカメラで撮影した静止画撮影メニュー (画像サイズ)の (RAW) が (サイズL)のRAW画像だけです。機種の異なるカメラやRAW 以外の画質モードで撮影した画像は選べません。
- ・合成画像の画質モード(ロ46)と画像サイズ(ロ47)は、合成時のカメラの 設定と同じになります(ただし[画像サイズ]の[RAW]が[サイズM]ま たは[サイズS]の場合は、[サイズL]として合成されます)。画像合成をす る前に、これらの設定を確認してください。合成した画像をさらに別のRAW 画像と合成したいときは、画質モードをRAW、画像サイズを[サイズL]に設 定してください。
- 次の項目の設定が同じRAW画像のみ合成できます。
  - [撮像範囲設定]
  - [画像サイズ]
  - [RAW記録] の [記録ビットモード]
- 合成時にRAWを含む画質モードが選ばれている場合、元画像と同じ記録ビットモードになります。また、RAW圧縮は合成時のカメラの設定になります。
- 合成画像のホワイトバランス、ピクチャーコントロール、撮影データ(撮影日時、測光モード、シャッタースピード、絞り値、露出モード、露出補正値、焦点距離、縦横位置情報など)は、[画像1]で選んだ画像の内容を引き継ぎます。ただし、著作権情報は引き継ぎません。また、合成された画像には、画像合成時にカメラに設定されている画像コメントが添付されます。

動面編集

MENUボタン → 🖌 画像編集メニュ-

撮影した動画を編集できます。

Ľ,	始点/終点の設定	動画の必要な部分だけを残します。
	選択フレームの保存	選択した1フレームを切り出して、JPEG画像として保 存します。

### 編集前後の画像表示

画像編集を行った画像を、元画像と並べて表示して、画像編集の効果を 確認できます。このメニュー項目は、編集元または編集後の画像を1コ マ表示して∞ボタンを押しながら砂を押すか、↓ボタンを押して「画像 編集]を選んだときのみ表示されます。

### ■ 編集前後の画像表示方法

### 1 1コマ表示モードで画像を選ぶ

● 画像編集で作成した画像(図が表示されている画像)または画像編集の元画像を選びます。



## 2 [画像編集] を選ぶ

● ◎ボタンを押しながら ③を押すか、
 ボタンを押し、
 [画像編集]を選んで ◎
 ボタンを押します。



## 3 [編集前後の画像表示] を選ぶ

 ・[編集前後の画像表示]を選んで∞ボタンを押すと、[編集前後の画像表示]画

 面を表示します。



### 4 編集前と編集後の画像を比較する

- 編集前の画像を左側、編集後の画像を右 側に表示します。
- 画像編集の内容は、2つの画像の上に表示されます。
- マルチセレクターの③または④で、編 集前/編集後の画像を切り換えられます。
- ●画像合成の元画像の場合、
   ◆または
   ◆で2枚の元画像を切り換えられます。



- 1枚の元画像から複数の画像編集を行った場合、
   た場合、
   または
   で編集後の画像を切り換えられます。
- ペボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- ●ボタンを押すと、黄色の枠で選択中の画像を表示します。
- ▶ボタンを押すと、再生画面に戻ります。

### ☑ 編集前後の画像表示についてのご注意

- プロテクトされている画像を編集した場合は、編集前の画像は表示されません。
- •編集元の画像を削除した場合や非表示設定(ロ21)にした場合、編集前の画像は表示されません。


MENUボタンを押して、タブの包アイコンを選ぶと、[マイメニュー] 画 面が表示されます。



MENUボタン

# 

再生、静止画撮影、動画撮影、カスタム、セットアップ、画像編集の各メ ニューから、よく使う項目だけを選んで、20項目までマイメニューに登録 できます。登録した項目は、削除したり、表示順序を変えたりできます。

### ■ マイメニューを登録する

## **1** [「フイメニュー] 画面で [マイメ ニュー登録] を選ぶ

 
 ・[マイメニュー登録]を選んで、マルチ セレクターの
 ・を押します。

### 2 登録したいメニューを選ぶ

 登録したいメニューを選んで③を押すと、 選んだメニューが一覧表示されます。





# 3 マイメニューに登録する項目を選ぶ

マイメニューに登録する項目を選んで
 ∞ボタンを押します。





 ●または●で登録する項目の表示位置 を選んで、◎ボタンを押します。



## 5 マイメニューに表示したい全ての項 目を登録する

- ・
   が表示されている項目は、すでにマ イメニューに登録済みです。
- ・左横に
   が表示されている
   項目は、
   マ
   イメニューに
   登録できません。



• 手順1~4を繰り返して、マイメニューに表示したい項目を登録します。

### ■ 登録した項目を削除する

# 1 [ 「マイメニュー] 画面で [登録項目の削除] を選ぶ

• [登録項目の削除] を選び、マルチセレクターの③を押します。

### 2 削除したいメニュー項目を選ぶ

- ●を押すと、項目の左側のチェック ボックスが
   ブになります。
- 削除したい全ての項目に✓を入れます。

# 

### 3 選んだ項目を削除する

● ●ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度●ボタンを押すと、選んだ項目が削除されます。



✓ ボタン操作で登録した項目を削除するには [包マイメニュー] 画面で削除したい項目を選んで面(∞∞) ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度面(∞∞) ボタンを押すと、選んだ項目を削除します。

#### メニューガイド 183

### ■ 登録した項目の表示順序を変える

# 1 [「マイメニュー] 画面で [登録項目の順序変更] を選ぶ

• [登録項目の順序変更] を選び、マルチセレクターの③を押します。

# 2 順番を変えたい項目を選ぶ

・順番を変えたい項目を選んで、∞ボタンを押します。



|録項目の順序変更

コマンドダイヤルの設定

W記録

NOR

# 3 選んだ項目を移動したい位置を選ぶ

- 念または で移動したい位置を選ん
   で、 ボタンを押すと、マイメニューの中で位置が変わります。
- •必要に応じて手順2~3を繰り返します。

### 4 [団マイメニュー] 画面に戻る MENUボタンを押すと、[団マイメニュー] 画面に戻ります。



MENUボタン

	マイメニュー	
	+4コマンドダイヤルの設定	
1	画質モード	NORM
	画像サイズ	
-	RAW記録	
Ţ	マイメニュー登録	
	登録項目の削除	
N.II	登録項目の順序変更	
?	このタブの機能変更	Ð

## ■マイメニューの機能を「最近設定した項目」に変 更する

- 1 [見マイメニュー] 画面で [このタ ブの機能変更] を選ぶ
  - [このタブの機能変更]を選び、マルチセレクターの③を押します。





- 〔このタブの機能変更〕画面で〔**1日最近** 設定した項目〕を選んで、∞ボタンを 押します。
- 「マイメニュー」が「最近設定した項目」に切り替わります。

Þ	このタブの機能変更
<b>D</b>	
1	
	包 マイメニュー
Y	
×í	個 最近設定した項目
?	

# 

### ■「最近設定した項目」の設定方法

メニューを設定するたびに「最近設定した項 目」に追加されます。最大20項目まで登録さ れます。



#### 🖉 最近設定した項目を削除するには

[最近設定した項目] 画面で削除したい項目を選んで (em) ボタンを押すと、 確認画面が表示されます。もう一度 (em) ボタンを押すと、選んだ項目を削 除します。

#### ✓ 「最近設定した項目」からマイメニューに戻すには

「最近設定した項目」の [このタブの機能変更] を選ぶと、□185の手順2と同 じ画面が表示されます。[**□マイメニュー**]を選んで@ボタンを押すと、マイメ ニューに切り替わります。



# 露出モードP(プログラムオート)の プログラム線図

次のグラフは、露出モードが**P**のときの露出制御プログラム(ISO 100 の場合)を表しています。

ISO 100、開放絞りF1.4・最小絞りF16のレンズ
 (例: AF-S NIKKOR 50mm f/1.4G)の場合



測光範囲: EV-3~20

- 測光範囲により、EV値の両端に制限があります。
- マルチパターン測光では、ISO 100の場合16 <sup>1</sup>/<sub>3</sub>を超えるEV値では、全て 16 <sup>1</sup>/<sub>3</sub>として制御されます。

# パソコンに画像を取り込む方法

# ViewNX-iをインストールする

ViewNX-iは、画像の転送、閲覧、および調整ができるソフトウェアで す。ViewNX-iのインストールにはインターネットに接続できる環境が 必要です。ソフトウェアの最新情報、動作環境は、当社ホームページの サポート情報でご確認ください。

 ViewNX-iは、下記のホームページからViewNX-iの最新のインストーラー をダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。 http://downloadcenter.nikonimglib.com/

🖉 Capture NX-Dについて

Capture NX-Dは、カメラで撮影した画像を調整したり、RAW現像したりできるニコンのソフトウェアです。Capture NX-Dは下記ホームページからダウンロードしてインストールできます。

http://downloadcenter.nikonimglib.com/

# <u>ViewNX-iを使ってパソコンに画像を取り込む</u>

### 1 パソコンに接続する

 メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属の USBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をON にします。



- 2 ViewNX-iのNikon Transfer 2が起動する
  - 起動するプログラム(ソフトウェア)を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

## 3 画像をパソコンに取り 込む

 「転送開始」をクリック すると、記録されている 画像がパソコンに取り込 まれます。



### 4 接続を解除する

・カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

#### 🖉 Windows 7をお使いの場合

図のような画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。



「画像とビデオのインポート」で使用するプログラムにNikon Transfer 2を選ぶ
 ・「画像とビデオのインポート」の「プログラムの変更」をクリックすると表示される画面で、Nikon Transfer 2を選んで、「OK」をクリックします。
 アイコンをダブルクリックする

#### 🖉 Windows 10またはWindows 8.1をお使いの場合

パソコンの設定によっては、図のような ダイアログが表示されます。この場合は 次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

- 1 ダイアログをクリックする
- 2 [画像ファイルを取り込む-

Nikon Transfer 2] をクリックする



#### 🖉 OS Xをお使いの場合

Nikon Transfer 2が自動起動しないときは、カメラとパソコンを接続した状態で、Mac付属アプリケーションのイメージキャプチャを起動し、カメラを接続時に開くアプリケーションとしてNikon Transfer 2を設定してください。

#### ☑ ViewNX-iの詳しい使い方は

ViewNX-iのヘルプを参照してください。

#### ▶ パソコンとの接続時のご注意

- カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源を OFF にしたり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。
- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、 まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜い てください。
- ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源がOFFになっていることを 確認してください。
- カメラとパソコンを接続するときは、充分に充電されたバッテリーをお使いになることをおすすめします。

#### 🔽 USBケーブルクリップについて

付属のUSBケーブルクリップを取り付けると、カメラからUSBケーブルが不用 意に外れることを防ぐことができます。



#### V USBハブについて

USBハブを使ってカメラをパソコンやプリンターに接続すると、正しく動作しないことがあります。

# <u>別売のワイヤレストランスミッター WT-7を</u> 使って、無線LANまたは有線LANでパソコン に画像を転送する

このカメラは、別売のワイヤレストランスミッター WT-7(□203)を USBケーブルで接続することにより、無線LANまたは有線LANでパソコ ンやFTPサーバーと通信できます。

### ■ ワイヤレストランスミッター WT-7接続時に 使える機能

FTP画像送信モード	メモリーカードに記録した静止画および動画や、撮影直
PC画像送信モード	後の静止画をパソコンやFTPサーバーに保存できます。
カメラコントロール モード	別売のCamera Control Pro 2で、カメラをコントロー ルしたり、撮影した静止画および動画をパソコンに保存 できます。
HTTPサーバー モード	パソコンやスマートフォンのWebブラウザーからメモ リーカードに記録した画像などの閲覧やリモート撮影が できます。

- 別売のワイヤレストランスミッターWT-7の使用方法については、 WT-7の使用説明書をよくお読みください。
- ワイヤレストランスミッターに関連するソフトウェアは、必ず最新版に バージョンアップしてお使いください。

#### ▶ ■像転送状態でのご注意

画像転送状態のときは、動画の記録および再生はできません。

#### 🖉 動画の転送について

有線LAN/無線LANをお使いの場合、動画は画像送信モードでパソコンに転送で きます([ネットワーク]の[オブション]が[撮影後自動送信]または[フォ ルダー送信]の場合を除く)。

#### 🔽 HTTPサーバーモードについて

HTTPサーバーモードでは、カメラ本体での動画の記録および再生はできません。

# 画像をプリンターで印刷する

PictBridge(ピクトブリッジ)対応プリンターをお使いの場合、パソ コンを使わずに、カメラとプリンターを付属のUSBケーブルで直接接 続してメモリーカード内の画像をプリントできます(ダイレクトプリ ント)。

# カメラとプリンターを接続する

USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。



カメラとプリンターの電源をONにすると、画像モニターにPictBridgeのロゴが表示された後、撮影された画像が表示されます。

#### 🚺 ダイレクトプリントの前に

- ダイレクトプリント時は、残量が充分にあるバッテリーをお使いください。別売のパワーコネクターとACアダプターをお使いになることをおすすめします。
- 直接プリントする画像は、静止画撮影メニューの[色空間]を[sRGB]に設定して撮影してください(ロ52)。

#### VSBハブについて

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

#### 🔽 ダイレクトプリントについてのご注意

- RAW画像およびTIFF画像(ロ46)はダイレクトプリントできません。RAW画像の場合は画像編集メニューの[RAW現像](ロ163)で作成したJPEG画像をプリントしてください。
- [フチ設定] と [範囲指定] は、それぞれの機能に対応していないプリンターでは選べません。なお、[範囲指定] で狭い範囲を大きくプリントした場合は、 画像が粗くプリントされる場合があります。

# <u>1コマだけプリントする</u>

### 1 プリントしたい画像を選んで∞ボタンを押す

- マルチセレクターの③または③を押してプリントしたい画像を選びます。
- 1コマ表示中に<sup>●</sup>ボタンを押すと、表示中の画像を拡大表示します。
   ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。
- (≤)ボタンを押して6コマ表示に切り換えて、画像を選ぶことができます。
   ●ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。
- ●6コマ表示中にQSE(\$)ボタンを押すと、[スロット/フォルダー 指定]画面が表示されます。

# 2 プリント設定の項目を設定する

「プリント設定」画面で設定したい項目を選んで
 ◆を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。設定方法については、「プリント設定項目について」(□195)をご覧ください。

### 3 プリントを開始する

- [プリント実行]を選んで、●ボタンを押すとプリントが始まります。
   ます。
- プリントを中断したいときは、もう一度∞ボタンを押してください。

## ■ プリント設定項目について

用紙設定**	プリントする用紙のサイズを選んで⊗ボタンを押します。プリ ンターが対応する用紙サイズのみが表示されます。
枚数指定	プリントする枚数(1~99枚)を設定して∞ボタンを押します。
フチ設定*	[あり]を選んで@ボタンを押すと、画像にフチを付けてプリントします。
日付プリント※	[あり]を選んで <sup>®</sup> ボタンを押すと、画像に日付をプリントします。
範囲指定	[する]を選んで◆を押すと、「範囲指定」画面が表示されま す。プリント範囲(黄色の枠)は Q (\$) ボタンを押すと狭 くなり、 Q ボタンを押すと広くなります。マルチセレクターを 操作するとプリント範囲が移動します。プリント範囲を決定す るには @ ボタンを押します。

※ ブリンターの設定を優先したいときは、それぞれの設定時に [プリンターの設 定]を選んでください。

# 複数の画像をプリントする

### 1 カメラとプリンターを接続し(□193)、撮影した画像が 表示されたらMENUボタンを押す

2 プリント方法を選んで、プリントする画像や枚数を設定する

プリント方法を選んでマルチセレクターの③を押します。

プリント 画像選択	プリントする画像と枚数を選んでプリントします。 • マルチセレクターを操作してプリントする画像を選び、 On (四小?) ボタンを押しながら④または●を押して枚数 (1~99枚)を設定して、◎ボタンを押します。 • Qx (\$) ボタンを押すと、[スロット/フォルダー指定] 画面 が表示されます。 • Qボタンを押している間は、選択中の画像を拡大表示します。 • プリントしない画像は枚数を0にします。
INDEX プリント	メモリーカードの中のJPEG画像(□46)を一覧できる「イン デックス」をプリントします。 • [INDEXプリント]画面が表示されたら、∞ボタンを押します。 • インデックスプリントできるのは 256 コマまでです。メモ リーカード内に257コマ以上の画像がある場合は、印刷され ない画像があります(確認画面が表示されます)。 • 用紙サイズによってはプリントできない場合があります(警 告メッセージが表示されます)。

# 3 プリント設定の項目を設定する

「フリント設定」画面で設定したい項目を選んで
 ●を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。
 「用紙設定]、
 「フチ設定]、
 [日付プリント]を設定できます。設定方法については、「プリント設定項目について」(□195)をご覧ください。

### 4 プリントを開始する

- [プリント実行]を選んで<sup>®</sup>ボタンを押すと、プリントが始まります。
- プリントを中断したいときは、もう一度∞ボタンを押してください。

#### 🖉 関連ページ

プリント時のエラーについては、使用説明書の「警告メッセージ」をご覧くだ さい。

# 画像をテレビで見る

# HDMIケーブルを使ってテレビと接続する

カメラをHDMI端子のあるテレビなどと接続することができます。接続 には、別売のHDMI端子用ケーブル(ロ205)または市販のHDMI端子 用ケーブル (Type C) が必要です。別途お買い求めください。HDMIケー ブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。



※ 使用する外部機器の端子に合ったケーブルをお使いください。

- テレビの入力をHDMI入力に切り換え、カメラの電源をONにして
   ボタンを押すと、撮影した画像がテレビの画面に表示されます。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラ側では音量調節できません。

### 🖉 HDMIケーブルクリップについて

付属のHDMIケーブルクリップを取り付けると、カメラから別売のHDMIケーブ ルが不用意に外れることを防ぐことができます(HDMIケーブルクリップは、市 販のHDMI端子用ケーブルには取り付けられません)。



# HDMI対応機器との接続時の設定を変更する

セットアップメニュー(ロ125)の [**HDMI**] で、HDMI対応機器との 接続時の設定を変更できます。

### ■ 出力解像度

HDMI対応機器への出力解像度を設定できます。

• [出力解像度] が [オート] の場合、出力先 の映像信号形式を自動的に検出します。



### ■ 詳細設定

出カレンジ	ビデオ信号の色階調の入力範囲(RGBレンジ)は、HDMI対応 機器によって異なります。通常は、HDMI対応機器に合わせて 自動で出力レンジを切り換える[オート]をお使いください。 HDMI対応機器のRGBレンジを識別できない場合は、次のい ずれかを選んでください。 ・リミテッドレンジ:RGBレンジが16~235の機器に適してい ます。画面で黒色がつぶれて表示される場合に選びます。 ・フルレンジ:RGBレンジが0~255の機器に適しています。 黒色が明るく表示されたり、薄く表示されたりする場合に 選びます。
出力画面サイズ	HDMI対応機器の画面に出力する範囲を、95%と100%から選 びます(いずれも上下左右とも)。
ライブビュー時の 情報表示	HDMI接続してライブビュー撮影をするときに、HDMI対応機器に撮影情報を表示するかどうかを設定します。[しない]の場合は、撮影情報が表示されません。
モニターの 同時表示	HDMI対応機器との接続時に、カメラの画像モニターを点灯す るかどうかを設定します。[しない]を選ぶと、画像モニター が消灯するため、カメラのバッテリーの消耗を少なくするこ とができます。 • [ライブビュー時の情報表示] が [しない]の場合、[モニ ターの同時表示] は [する] に固定されます。

#### 🖉 HDMIとは

High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。このカメラでは別売のHDMI端子ケーブル(Type C)を使ってHDMI対応機器と接続できます(ロ205)。

#### 🖉 テレビでの画像の再生について

- 画像の再生方法は、画像モニターで再生するときと同じです。
- テレビ画面では、画像の周辺部が一部ケラレて表示される場合があります。その場合は、セットアップメニュー[HDMI]→[詳細設定]→[出力画面サイズ](□199)を[95%]に設定してください。
- テレビでの再生などでカメラを長時間使うときは、別売のパワーコネクターと ACアダプターをお使いになることをおすすめします。

#### 🖉 スライドショー

再生メニューの [**スライドショー**] (四30) では、撮影した画像を1コマずつ連 続再生できます。

#### 🖉 HDMIケーブル接続時のライブビュー撮影と動画撮影について

HDMIケーブルでカメラとテレビをつなぐと、テレビ画面を見ながらライブ ビュー撮影や動画撮影を行えます。

#### 🖉 市販の外部レコーダーを使った動画記録について

市販の外部レコーダーを使用する場合、次の設定をおすすめします。

- [HDMI] > [詳細設定] > [出力画面サイズ]: [100%]
- [HDMI] > [詳細設定] > [ライブビュー時の情報表示]: [しない]

# 使用できるアクセサリー

このカメラには撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリーが用意され ています。詳しくは最新のカタログや当社のホームページなどでご確認 ください。

	• Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15
	ニコンデジタルカメラD500用のバッテリーです。
	- EN-EL15の代わりにEN-EL15aも使えます。
	• バッテリーチャージャー MH-25a
	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15 用のチャー
	ジャーです。
	- MH-25a の代わりにバッテリーチャージャー MH-25 も使え
	ます。
	• マルチパワーバッテリーパックMB-D17
	MB-D17には縦位置シャッターボタンとメインコマンドダイ
	ヤル、サブコマンドダイヤル、マルチセレクター、Fnボタン、
	AF作動ボタン(AF-ONボタン)が装備されているので、縦位
	置での撮影に便利です。カメラ本体のMB-D17用接点カバー
	を取り外して装着します。
	※MB-D17でEN-EL18b/EN-EL18a/EN-EL18を使用する場合は、別
電源	売のバッテリーチャージャー MH-26aまたは MH-26と、バッテ
	リー室カバー BL-5が必要です。
	• パワーコネクター EP-5B、ACアダプター EH-5b ※
	ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに
	安定して電源を供給できます。
	- このカメラは、カメラ本体とACアダプターを接続するため
	にパワーコネクター EP-5Bが必要です。 カメラとパワーコネ
	クター、ACアダプターを接続する方法については、「カメラ
	とパワーコネクター、ACアダプターの接続方法」(□209)
	をご覧ください。
	- EH-5bの代わりにACアダプター EH-5/EH-5aも使えます。
	- マルチパワーバッテリーパック MB-D17 をカメラに装着し
	てACアダプターを使用する場合、EP-5Bは、カメラではな
	くMB-D17に入れてください。なお、カメラとMB-D17の両
	方にEP-5Bを入れて使用しないでください。
	※日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。

- フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、ニュート ラルカラー NCをお使いください。
- カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター(Polar)は使用できません。円偏光フィルター(C-PL、C-PL II)をお使いください。
- 逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、 フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあ ります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。
- ・露出倍数のかかるフィルター(Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL(円偏光フィルター)、ND2S、ND4S、ND4、ND8S、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12)を使用する場合、RGBマルチパターン測光、または3D-RGBマルチパターン測光の効果が得られない場合がありますので、測光モードを中央部重点測光に切り換えて撮影することをおすすめします。詳しくは、各フィルターの使用説明書をご覧ください。
   ・特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスや
  - 特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスや フォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意くだ さい。

	• ワイヤレストランスミッター WT-7 *
	カメラで撮影した画像をワイヤレスで転送したり、別売の
	Camera Control Pro 2を使ってパソコンからカメラを遠隔操
	作できます。さらに、パソコンやスマートフォンのWebブラ
	ウザから画像の閲覧やリモート撮影ができます。
	※ ワイヤレストランスミッターをお使いいただく場合は、LAN の
	知識および環境が必要です。ワイヤレストランスミッターで使
	用するソフトウェアは、必ず最新版にバージョンアップしてお
	使いください。
	• USBケーブル用端子カバー UF-7/
	USBケーブルゴムUF3-RU14
	カメラとWT-7の接続時に、USBケーブル用端子カバー UF-7
	とUSBケーブルゴムUF3-RU14をUSBケーブルの端子にそれ
ワイヤレス	ぞれ取り付けることにより、カメラやWT-7からUSBケーブル
トランスミッ	が不用意に外れることを防げます。取り付けは、図の手順で
ター (皿192)	行ってください。
	UF-7(カメラ側)
	UF3-RU14(ワイヤレストランスミッター側)

	• ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10/WR-T10 ※
	ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10を、10ピンター
	ミナルに接続したWR用変換アダプター WR-A10に取り付け
	ると、ワイヤレスリモートコントローラー WR-T10からの操
	作で無線での遠隔撮影を行えます。WR-R10を使用して、電波
	制御に対応したスピードライトを制御することもできます。
ロイヤレフ	• ワイヤレスリモートコントローラー WR-1 *
	WR-1は、他のWR-1やWR-R10またはWR-T10と組み合わせ
	て、送信機または受信機として使います。たとえば、受信機
	に設定したWR-1をカメラの10ピンターミナルに取り付ける
	と、送信機に設定したWR-1からの操作で、遠隔撮影すること
	ができます。
	※ ワイヤレスリモートコントローラーをお使いいただく場合は、
	WR-R10ならびにWR-1のファームウェアを最新版にバージョン
	アップしてください。ファームウェアのバージョンアップ方法
	については、当社のホームページでご確認ください。
	• 接眼目当てDK-19
	接眼部に取り付けて使用する、ゴム製の接眼目当てです。ファ
	インダー視野がよりはっきり確認でき、目の疲れを軽減します。
	<ul> <li>接眼補助レンズDK-17C</li> </ul>
	遠視、近視の方のための補助レンズで、接眼部に差し込むだ
	けで簡単に取り換えることができます。-3、-2、0、+1、
	+2m <sup>-1</sup> の5種類が用意されています。視度補正は個人差が大
	きいので店頭で実際に取り付けてお選びください。このカメ
	ラには視度調節機能が付いています(-2~+1m <sup>-1</sup> )ので、
ファイフター用	この範囲外の視度補正が必要なときにお使いください。
アクセリリー	• マグニファイングアイピースDK-17M
	接眼部に取り付けることにより、ファインダー倍率を約1.2倍
	に拡大します。
	• マグニファイヤー DG-2
	ファインダー中央部の像を拡大します。より厳密なピント合
	わせが必要なときに使用します。
	• アイピースアダプター DK-18
	このカメラにマグニファイヤー DG-2 やアングルファイン
	ダー DR-3を取り付けるためのアダプターです。

	<ul> <li>アンティフォグ ファインダーアイピースDK-14、DK-17A 寒いときや湿度が高い場合など、ファインダーのくもりの発 生を防止し、クリアーなファインダー像を提供します。</li> <li>フッ素コート付きファインダーアイビースDK-17F 汚わが仕着しにくく付着してた等的にはた知りる。コンが中の</li> </ul>
ファインダー用 アクセサリー	ライは小酒でにくく竹酒でして、間違にはとなくな、ニコン蛋白のフッ素コートを両面に採用した保護ガラスを使用しています。 変倍アングルファインダー DR-5 変倍アングルファインダー DR-5をカメラの接眼部に取り付けると、撮影レンズと直角の方向(水平方向に向けたカメラの真上など)からファインダー内の画像を確認できます。全視野が見える1倍と、より精密なピント確認作業が可能な2倍*の2種類の倍率を選択できます。また、視度調節も可能です。 ※2倍では周辺部にケラレが生じます。
	<ul> <li>アングルファインダー DR-4をカメラの接眼部に取り付ける</li> <li>と、撮影レンズと直角の方向(水平方向に向けたカメラの真 上など)からファインダー内の画像を確認できます。</li> </ul>
HDMIケーブル (皿198)	• HDMIケーブルHC-E1 カメラ側がType C、HDMI機器側がType AのHDMIケーブル です。
	• アクセサリーシューカバー BS-3
アクセサリー シューカバー	<ul> <li>アクセサリーシューカハー BS-1 スピードライトを取り付けるアクセサリーシューを保護する ためのカバーです。</li> </ul>
ボディー キャップ	<ul> <li>ボディーキャップBF-1B、BF-1A</li> <li>レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。</li> </ul>

	Camera Control Pro 2
	パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮
	影した画像を直接ハードディスクなどへ保存したりできる、カ
	メラコントロール用ソフトウェアです。Camera Control Pro 2
	で画像の記録先の設定が [PC] になっている場合、カメラと
	パソコンを接続してCamera Control Pro 2を起動すると、表示
ニコンデジタル	パネルにPC接続中マーク <b>P</b>
カメラ専用	• ソフトウェアは必ず最新版にバージョンアップしてお使いく
ソフトウェア	ださい。ご使用のパソコンがインターネットに接続されてい
	る場合、OSログオン後に所定時間を経過すると、ニコンメッ
	セージセンター2はソフトウェアの更新情報などを確認しま
	す(初期設定)。更新情報がある場合は、「通知の画面」が自
	動的に表示されます。
	• 対応OSについては、当社ホームページのサポート情報でご確認
	ください。
	10ピンターミナルに次のアクセサリーを接続することにより、
	遠隔撮影や無人撮影などができます。
	使用しない場合は、必ず10ピンターミナルカバーを閉じてくだ
	さい。ゴミ等が入ると、誤作動の原因となることがあります。
	• リモートコードMC-22、MC-22A(長さ:約1m)
	コード先端にある端子(青、黄、黒)に特殊装置を接続する
	と、音や信号による遠隔操作が可能です。
	• リモートコードMC-30、MC-30A(長さ:約80cm)
10ピン	カメラブレを避けたいときや、カメラから離れてレリーズ操
ターミナルに	作をしたいときに便利です。
接続する	• リモートコードMC-36、MC-36A(長さ:約85cm)
アクセサリー	一定間隔で撮影するインターバルタイマー機能を備えたり
	モート撮影用コードです。
	• 延長コードMC-21、MC-21A(長さ:約3m)
	MC-20, MC-22, MC-22A, MC-23, MC-23A, MC-25,
	MC-25A、MC-30、MC-30A、MC-36、MC-36A、ML-3IC併
	用できる延長コードです(MC-21またはMC-21Aを2本以上
	接続して使用することはできません)。
	• 接続コードMC-23、MC-23A(長さ:約40cm)
	10ビンターミナルを装備するカメラを2台同時に作動させる
	ための接続コードです。

	• 変換コードMC-25、MC-25A(長さ:約20cm)
	2ピンターミナル用のラジオコントロールセットMW-2や、イ
	ンターバロメーター MT-2、ルミコントロールセットML-2な
	どを、10ピンターミナルに接続するための変換コードです。
	• WR用変換アダプター WR-A10
	ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10を10ピンターミ
	ナル装備のカメラに装着するためのアダプターです。
	・GPSユニットGP-1/GP-1A
	10ピンターミナルでカメラとGP-1/GP-1Aを接続することに
	より、撮影時の緯度、経度、標高、協定世界時(UTC)を画
	像データに記録することができます。
	• GPS変換コードMC-35(長さ:約35cm)
	カメラと GPS 機器で通信を行うための接続コードです
10ピン	(🖽 144)。
ターミナルに	- データ形式がNMEA(National Marine Electronics
接続する	Association) 0183 ver.2.01およびver.3.01を満たすGPS機
アクセサリー	器(GARMIN社製:「eTrex」シリーズ、「geko」シリーズ)
	と接続できます。PC-Interface Cableが接続可能な機種のみ
	対応しています。USBインターフェース対応機種には接続で
	きません。
	- MC-35 と GPS 機器との接続には、GPS メーカーの PC 接続
	ケーブル (D-sub9ピンタイプ) が必要です。詳しくはMC-35
	の使用説明書をご覧ください。
	- GPS 機器の通信形式は、NMEA に設定してください(Baud
	rateは4800です)。
	- GPS機器の使用方法については、GPS機器の使用説明書をご
	覧ください。
	• ルミコントロールセットML-3
	最大で約8m離れたところから、信号(赤外パルス光)による
	遠隔操作ができます。

### 資料 207

	• ステレオマイクロホンME-1
	ステレオマイクロホンME-1を外部マイク入力端子に接続す
	ると、ステレオ録音ができます。また、動画撮影中にオート
	フォーカスでピント合わせをしたときに生じるレンズの動作
	音などが録音されるのを軽減できます。
外部マイク	• ワイヤレスマイクロホンME-W1
	Bluetooth無線通信技術を搭載したワイヤレスマイクロホンで
	す。カメラの動画撮影時に離れた場所の音声を収音できます。
	• ステレオミニプラグケーブル用端子カバー UF-8
	ステレオマイクロホンME-1(別売)のステレオミニプラグが
	不用意にカメラから外れることを防ぐことができます。

#### 🖉 ステレオミニプラグケーブル用端子カバーについて

ステレオミニプラグケーブル用端子カバーの取り付けは、次の手順で行ってく ださい。



#### 🖉 使用できるアクセサリーについて

- 国または地域によって、販売していない場合があります。
- アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

# <u>カメラとパワーコネクター、ACアダプターの</u> <u>接続方法</u>

カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する前に、カメラ本 体の電源がOFFになっていることを確認してください。

 カメラのバッテリー室 カバー(①)とパワーコ ネクターカバー(②)を 開ける



**2** パワーコネクター EP-5Bを入れる

- パワーコネクターは、接点の向きに注 意しながら入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバー をパワーコネクター側面で押しながら、 パワーコネクターを奥まで入れると、 バッテリーロックレバーがパワーコネ クターに掛かり、パワーコネクターが ロックされます。



## 3 カメラのバッテリー室 カバーを閉じる

 パワーコネクターのコード がパワーコネクターカバー を開けた部分から出るよう
 に注意して、バッテリー室 カバーを閉じます。



### 4 パワーコネクターとACアダプター EH-5bを接続する

- 電源コードのACプラグを、ACアダプターのACプラグ差し込み口 に差し込みます(3)。
- パワーコネクターのDCプラグコネクターにACアダプターのDCプ ラグを差し込みます(④)。
- ・パワーコネクターとACアダプターの使用時には、画像モニター 上のバッテリー残量表示がー●に変わります。



© 2016 Nikon Corporation

株式会社 ニコン イメージング ジャパン

株式会社ニコン

SB8B03(10) 6MB34610-03